

No.194

せっけん運動

～水環境を守り育むために～

特集

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間
行政からのメッセージ2023

7月はシャボン玉月間

7月はシャボン玉月間



せっけん運動ネットワーク

●ポスターは全国の応募者から選ばれた、グリーンコープ生協くまもとの組合員ご家族の吉岡桃花さんの作品が選ばれました。
*キャッチコピーは、生協あいコープみやぎ組合員からご提案いただいたものを採用させていただきました。

発行：せっけん運動ネットワーク

代表幹事：高橋千佳

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3-4-17
(生協あいコープみやぎ組織運営室内)

TEL022-284-7241 Fax022-284-6973

URL: <https://sekkennet.org/>



せっけん運動ネットワーク(旧協石連)は、せっけん使用を入り口に、水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直そうと活動する漁協、農協、生協など全国50団体の協同組合によって構成される組織です。

北海道

厚岸町	5
石狩市	5
岩見沢市	5
恵庭市	5
江別市	6
小樽市	6
北広島市	6
釧路市	6
札幌市	7
当別町	7
南幌町	7

宮城県

宮城県	8
石巻市	8
岩沼市	8
大崎市	8
大郷町	9
大衡村	9
加美町	9
栗原市	9
塩竈市	10
七ヶ浜町	10
仙台市	10
多賀城市	10
富谷市	11
登米市	11
名取市	11
東松島市	11
松島町	12
美里町	12
山元町	12
利府町	12
涌谷町	13
亘理町	13

栃木県

足利市	13
宇都宮市	13
大田原市	14
小山市	14
上三川町	14
佐野市	14
塩谷町	15
下野市	15
高根沢町	15
栃木市	15
那須塩原市	16

日光市	16
益子町	16

茨城県

茨城県	17
茨城町	17
笠間市	17
つくばみらい市	17
利根町	18
那珂市	18
ひたちなか市	18
水戸市	18
守谷市	19

埼玉県

埼玉県	19
朝霞市	19
伊奈町	20
入間市	20
小鹿野町	20
小川町	20
桶川市	21
越生町	21
春日部市	21
加須市	21
川口市	22
北本市	22
行田市	22
久喜市	22
熊谷市	23
鴻巣市	23
越谷市	23
さいたま市	23
坂戸市	24
幸手市	24
狭山市	24
志木市	24
杉戸町	25
草加市	25
秩父市	25
鶴ヶ島市	25
ときがわ町	26
所沢市	26
長瀬町	26
滑川町	26
新座市	27
蓮田市	27
鳩山町	27
羽生市	27
飯能市	28

東松山市	28
日高市	28
深谷市	28
富士見市	29
ふじみ野市	29
松伏町	29
三郷市	29
皆野町	30
宮代町	30
三芳町	30
毛呂山町	30
八潮市	31
横瀬町	31
吉川市	31
吉見町	31
寄居町	32
嵐山町	32
和光市	32
蕨市	32

千葉県

千葉県	33
我孫子市	33
市川市	33
市原市	33
印西市	34
浦安市	34
御宿町	34
柏市	34
勝浦市	35
鎌ヶ谷市	35
木更津市	35
栄町	35
佐倉市	36
山武市	36
白井市	36
袖ヶ浦市	36
千葉市	37
流山市	37
成田市	37
野田市	37
船橋市	38
松戸市	38
陸沢町	38
八街市	38
八千代市	39
四街道市	39

東京都

昭島市	39
-----	----

あきる野市	39
足立区	40
荒川区	40
板橋区	40
稲城市	40
江戸川区	41
青梅市	41
大田区	41
葛飾区	41
北区	42
清瀬市	42
国立市	42
江東区	42
小金井市	43
国分寺市	43
小平市	43
狛江市	43
品川区	44
渋谷区	44
新宿区	44
杉並区	44
墨田区	45
世田谷区	45
台東区	45
立川市	45
多摩市	46
中央区	46
調布市	46
千代田区	47
豊島区	47
中野区	47
西東京市	47
練馬区	48
八王子市	48
羽村市	48
東久留米市	48
東村山市	49
東大和市	49
日野市	49
日の出町	49
檜原村	50
府中市	50
福生市	50
文京区	50
町田市	51
三鷹市	51
瑞穂町	51
港区	51
武蔵野市	52
目黒区	52

神奈川県

神奈川県	52
厚木市	52
伊勢原市	53
海老名市	53
大井町	53
大磯町	53
小田原市	54
開成町	54
川崎市	54
相模原市	54
座間市	55
寒川町	55
茅ヶ崎市	55
中井町	55
二宮町	56
平塚市	56
藤沢市	56
松田町	56
南足柄市	57
山北町	57
大和市	57

山梨県

上野原市	58
甲斐市	58
甲府市	58
昭和町	58
中央市	59
韮崎市	59
都留市	59
笛吹市	59
富士川町	60
富士河口湖町	60
富士吉田市	60
北杜市	60
南アルプス市	61
山梨市	61

愛知県

瀬戸市	61
知立市	61
東郷町	62
豊明市	62
豊田市	62
日進市	62
みよし市	63

滋賀県

滋賀県	63
近江八幡市	63
大津市	64
草津市	64
湖南市	64
東近江市	64
彦根市	65
日野町	65
守山市	65
野洲市	65
竜王町	66

大阪府

池田市	66
泉大津市	66
泉佐野市	67
茨木市	67
大阪狭山市	67
貝塚市	67
柏原市	68
交野市	68
門真市	68
河南町	68
河内長野市	69
岸和田市	69
熊取町	69
四條畷市	69
島本町	70
吹田市	70
摂津市	70
泉南市	70
太子町	71
大東市	71
高石市	71
田尻町	71
忠岡町	72
千早赤阪村	72
豊能町	72
富田林市	72
寝屋川市	73
能勢町	73
羽曳野市	73
阪南市	73
東大阪市	74
藤井寺市	74
枚方市	74
松原市	74
岬町	75
箕面市	75

守口市	75
八尾市	75

兵庫県

兵庫県	76
明石市	76
芦屋市	76
尼崎市	76
伊丹市	77
猪名川町	77
加古川市	77
川西市	77
神戸市	77
高砂市	78
宝塚市	78
西宮市	78
三木市	78

岡山県

赤磐市	79
浅口市	79
岡山市	79
鏡野町	79
笠岡市	80
吉備中央町	80
里庄町	80
瀬戸内市	80
総社市	81
津山市	81
備前市	81
真庭市	81
美咲町	81
美作市	82
和気町	82

広島県

大竹市	82
呉市	82
廿日市市	83
東広島市	83
広島市	83
府中町	83

山口県

岩国市	84
宇部市	84
下松市	84
山陽小野田市	84

下関市	85
周南市	85
周防大島町	85
田布施町	85
光市	86
平生町	86
防府市	86
柳井市	86
山口市	87
和木町	87

福岡県

赤村	87
朝倉市	87
芦屋町	88
飯塚市	88
糸島市	88
うきは市	88
宇美町	88
大川市	89
大木町	89
大任町	89
岡垣町	89
遠賀町	90
小郡市	90
大牟田市	90
大野城市	90
春日市	90
嘉麻市	91
川崎町	91
荏田町	91
北九州市	91
鞍手町	91
久留米市	92
桂川町	92
上毛町	92
古賀市	92
篠栗町	93
志免町	93
新宮町	93
添田町	93
田川市	93
太宰府市	94
大刀洗町	94
筑後市	94
筑紫野市	94
築上町	94
東峰村	95
那珂川市	95
中間市	95
直方市	95

久山町	95
広川町	96
福岡市	96
福智町	96
福津市	96
豊前市	97
水巻町	97
みやま市	97
宮若市	97
宗像市	98
柳川市	98
八女市	98
行橋市	98

長崎県

基山町	100
佐賀市	101
鳥栖市	101
大村市	101
佐世保市	101
島原市	102
時津町	102
長崎市	102
長与町	102
南島原市長	103

合志市	105
玉名市	106
長洲町	106
和水町	106
南関町	106
氷川町	107
益城町	107
美里町	107
南阿蘇村	107
南小国町	108
御船町	108
八代市	108
山鹿市	108
山都町	108

日出町	110
日田市	111
豊後大野市	111
豊後高田市	111
由布市	111

宮崎県

国富町	112
小林市	112
高原町	112
日南市	112
延岡市	113
三股町	113
都城市	113
宮崎市	113

鹿児島県

鹿児島県	99
伊佐市	99
大崎町	99
鹿児島市	99
南さつま市	100

熊本県

天草市	103
荒尾市	103
宇土市	104
大津町	104
上天草市	104
菊池市	104
菊陽町	105
玉東町	105
熊本市	105

大分県

宇佐市	109
臼杵市	109
大分市	109
杵築市	109
佐伯市	110
竹田市	110
津久見市	110
中津市	110

※首長名は2023年7月現在ですが、選挙の実施時期などにより一部入れ替わりがあります。ご了承ください。

佐賀県

嬉野市	100
-----	-----

シャボン玉月間の活動に取り組みました

せっけん運動ネットワーク代表幹事 高橋千佳

今年は、7月のシャボン玉月間に寄せて、23都道府県 436（昨年は413）自治体の首長の皆さまよりメッセージをいただきました。私たちの呼びかけに温かい励ましと共感のメッセージをお寄せくださった皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

私たちは、2023年のシャボン玉月間のテーマを「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」と掲げて活動を進めてきました。家庭と水環境への繋がりを自覚し、せっけんを使った日々の暮らし方を通して人にも地球にもやさしい生活を続けることが大切と考えます。

合成洗剤や柔軟剤、消臭除菌スプレーなどによる「香害」の問題も深刻になってきています。学校や職場に通えないほど症状が出てしまう化学物質過敏症の方にとって、切実な問題です。その他にシックハウス症候群、電磁波過敏症などにより苦しんでいる人がいることも事実です。このような環境過敏症は、誰もが発症する可能性があることをせっけん運動の中で伝える活動を進めて参ります。

さらに、環境ホルモンや脳神経をかく乱させる有害化学物質など子どもの発達・健康に関し、国内外の研究・対策の最前線を学びます。必要な規制等の対策を働きかけ、バイオモニタリング制度を確立させるためにも「環境安全基本法」への制定に向けても他団体と共に進めています。

全国から寄せていただいた各自治体のメッセージからは、ふるさとの水環境を大切にしている思いが伝わってきます。持続可能な環境を未来に残すために、地域ごとにさまざまな施策が進められていることに、大きな励ましをいただきました。これを機に各地の行政を担う皆さんには、事業者や生活者との協同による取り組みを行なっていただけることを期待いたします。

今後とも多くの皆さまのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

● 北海道

「シャボン玉月間」に寄せて

厚岸町長 若狭 靖

厚岸町は、厚岸湾・湖など水辺を中心に発展してきた自然豊かな町です。

本町の基幹産業である漁業や酪農は自然と密接な関わりを持つため、豊かな自然、良好な環境を保全し、継承していくことが、私たちの最大の使命であると考えます。

今年9月には「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」が本町で開催されます。この大会を通じ、豊かな海の恵みを守り、次世代につなげる環境保全の取組を全国に発信し、せっけんの利用促進や海洋プラスチックごみ対策をはじめとした環境保全活動をより一層進めてまいります。

水環境保全のため、「せっけん運動」に取り組まれてきた貴会に敬意を表するとともに、運動のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

石狩市長 加藤 龍幸

石狩市は、一級河川「石狩川」が日本海に注ぐ最下流域に位置し、清らかな水環境をはじめとするこの地の自然から多くの恩恵を受け発展してきました。

本市は、この豊かな自然環境を適切に保全し、将来の世代に継承することを目的に「石狩市環境基本計画」を策定し、大気環境や水環境の汚染がなく、誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまちを目指しています。また、本市は令和2年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和4年4月には「脱炭素先行地域」に選定されるなど、積極的に地球環境保全に対する取り組みを進めています。

そのような中、せっけんの普及活動を通じて、水環境保全に長年取り組まれている貴会に改めて敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がることを心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

岩見沢市長 松野 哲

岩見沢市は、広大な石狩平野に位置し、市内に利根別川や幾春別川などが流れる水と緑が共存した自然豊かな街です。その素晴らしい環境を守るために、「岩見沢における優れた環境と市民の生活を守り高める条例」が定められ、毎年、利根別川沿いのごみ拾いを行うクリーン・グリーン作戦や、サケの稚魚放流の環境保全活動が、市民団体を中心に活発に行われています。

豊かな自然環境を次世代に継承するためには、私たち一人ひとりが環境に関心を持ち継続的に行動することが重要です。

貴会の「せっけん運動」が、水環境保全への意識の醸成に向け取り組まれてきたことに心から敬意を表するとともに、今後のますますのご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

恵庭市長 原田 裕

恵庭市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、市域の西半分は恵庭岳とその裾野に広がる恵庭溪谷の有する緑の森林地帯に覆われ、ここを源とした漁川やラルマナイ川の清流など、多くの河川と豊かな自然に囲まれた住み良いまちです。

本市では、第3次恵庭市環境基本計画に基づき、本市の健全で恵み豊かな自然が、よりよく次世代のこども達に受け継がれ、市民ひとり一人が安全で安心してくらすことができるよう、環境保全等の活動に取り組んでおります。

こうした中で、貴会の環境にやさしい石けん使用を広める運動は、「水環境」を保全していくうえで大変意義深いものであり、長年にわたる貴会の運動に改めて敬意を表しますとともに、この運動の更なる発展を心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

江別市長 後藤 好人

江別市は石狩平野のほぼ中央に位置しており、市内に広がる「野幌森林公園」は、大都市近郊に残されている平地林としては世界的に珍しく、市民の憩いの場にもなっています。

また、北海道遺産に選定されている「石狩川」に囲まれた、緑と水に恵まれた豊かな街です。この豊かな環境という財産を将来の世代に引き継ぐため、「江別市環境管理計画」を策定し、市民・事業者・市が協働し、環境の保全及び創造に取り組んでいます。

長年にわたり、水環境の保全に尽力されている貴会の活動に敬意を表しますとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

小樽市長 迫 俊哉

小樽市は、青い海や緑豊かな山々などの恵まれた自然と、歴史的建造物や文化が織りなすレトロな雰囲気、環境が調和した詩情あふれる港まちです。

この豊かな自然と歴史や文化を後世に残していくためには、環境問題について真剣に向き合い、環境にやさしい生活を心がけることが必要であると考えます。

本市では「小樽市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・市が一体となって、自然と共生し快適に暮らすことのできる良好な環境づくりに取り組んでいます。

こうした中で、長年にわたり環境保全活動に取り組まれている貴会に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」により、環境問題に対する活動の輪が、今後ますます広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

北広島市長 上野 正三

北広島市は、石狩平野の南部に位置し、特別天然記念物「野幌原始林」をはじめとする緑豊かな自然に囲まれ、輪厚川等を中心とした親水空間は市民からも親しまれるなど、身近に触れ合える自然や心と和む景観が数多く残るまちです。

また、2023年は、北海道ボールパークFビレッジが開業し、まさに新時代を迎える年となりました。

本市では、総合計画において、まちづくりのテーマを「自然と創造の調和した豊かな都市」としており、環境と都市機能が調和した住みよいまちを維持し、次世代に引き継いでいけるよう、環境への負担が少ない社会の実現に向けた取り組みを進めているところです。

貴会が長年にわたり取り組まれている水環境を守る様々な活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

釧路市長 蝦名 大也

釧路市は、ラムサール条約に登録された多様な動植物が暮らす「釧路湿原」と、世界で唯一の大型球状マリモが生息する阿寒湖を有する「阿寒摩周」の二つの国立公園に抱かれた雄大な自然と水環境に恵まれたまちです。

釧路湿原から生み出される豊かな水と、多くの動植物が生息する自然環境を次世代に繋いでいくため、第2次釧路市環境基本計画において「人と自然がつながる、未来へつなげる環境都市くしろ」を本市の望ましい環境像として定め、環境保全の取り組みを推進しております。

同じく環境保全に取り組む皆さまの活動の輪が、益々広がりますことを心からご期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

札幌市長 秋元 克広

札幌市は、支笏洞爺国立公園に連なるみどり豊かな山地が市域の南西部に広がり、豊平川をはじめとした大小約 600 の河川が流れる自然環境に恵まれた都市です。

この豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくために、平成 30 年 3 月に「第 2 次札幌市環境基本計画」を策定し、環境問題の解決や将来に向けた環境政策のさらなる推進を図るため、市民や事業者、活動団体等の各主体がともに連携し、環境保全対策に関する取組を進めております。

貴会の水環境保全の活動により、1 人でも多くの方が環境への関心を持っていただくことで、次世代により良い水環境を残していくことに繋がりますよう、ご期待申し上げます。

「石けん！7月はシャボン玉月間」に寄せて

当別町長 後藤 正洋

当別町は、札幌市の都心部から約 15～25 km の距離に位置し、豊かな田園風景と緑輝く山々など、自然に恵まれたまちです。

また、治水、利水、河川環境の保全を目的として完成した当別ダムでは「当別ふくろう湖」が豊かな水を湛えており、その鏡のような水面に映える雄大な景色を一目見ようと多くの方々が訪れています。

こうした恵まれた水資源と緑を未来につないでいけるよう自然環境の保全の取り組みを続けてまいりたいと思います。

貴会の皆様におかれましては、かけがえのない自然環境を保護するため、長年にわたり水環境保全活動に取り組まれていますことに心から敬意を表します。

今後とも、皆様の活動の輪が広がり、「石けん運動」がますます広がっていきますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

南幌町長 大崎 貞二

南幌町は札幌市から東に 25km 圏域に位置し、千歳川・夕張川・旧夕張川の 3 つの川に囲まれた緑豊かな田園文化の町です。

本町では「地球温暖化対策実行計画」に基づき CO₂ の抑制に向けてエネルギー使用量の抑制目標を定め、ゴミの減量化やリサイクルの推進など環境保全活動に取り組んでいます。また、本年 3 月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050 年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。

その中で貴会が取り組まれている「せっけん運動」は身近な環境保全活動として大変意義深い活動であり、長きに亘る取り組みに対し、心より敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がることをご期待申し上げます。



● 宮 城 県

シャボン玉月間によせて

宮城県知事 村井 嘉浩

宮城県では、自然の水循環がもたらす恵みが現在から将来にわたって持続的に享受されるよう、「みんなでつなぐ命の水～守り、育て、未来へ～」を基本理念として、水循環保全基本計画を策定し、県民、事業者、民間団体等と協働・連携した取組を推進しているところです。

貴会の「せっけん運動」は、身近な生活排水対策の一つとして、より良い自然の水循環の確保に寄与しているだけでなく、新型コロナウイルス等の感染予防にも貢献しているものと評価しております。これまでの長きにわたる取組に敬意を表しますとともに、今後、運動の輪がますます広がることを祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

石巻市長 齋藤 正美

石巻市は、東北最大の河川である北上川の河口に位置しており、世界三大漁場の一つである金華山沖漁場を抱えるなど豊富な水環境に恵まれた自然豊かなまちです。

本市の豊かな自然を未来へ引き継いでいくため、市民・事業者・地域とともに環境保全活動に取り組み、「水と緑の大地 新たなふるさとに」を目指すべき環境像として、自然と調和したまちづくりを進めております。

貴会が長年にわたり取り組んでいる「せっけん運動」は、私たちが日常生活の中で取り組むことができる身近な環境保全として大変意義深いものであり、その活動に深く敬意を表しますとともに、この運動の輪がますます広がりますことを心より御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

岩沼市長 佐藤 淳一

岩沼市は東に貞山運河、南に那須連山に源を発する阿武隈川が流れる水環境に恵まれたまちです。

公共下水道等の整備や合併処理浄化槽の普及促進による生活排水処理対策をはじめ、水質事故の防止など、市民・事業者・関係団体等と連携して水質保全に努めております。

また、豊かな自然を守り、安心して住み続けられるまちを次世代に繋いでいくため、本市では、「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする取組も推進しております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が大きく広がりますよう、お祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

大崎市長 伊藤 康志

本市は、ラムサール条約湿地の蕪栗沼・周辺水田や化女沼をはじめとする豊富な自然環境に恵まれ、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に登録されております。「SDGs 未来都市」として世界農業遺産と連動した、持続可能な地域づくりの実現に向けた取組を市民協働で推進しているところです。

先人から受け継いだ豊かな大崎耕土の恵みを保全しながら、地球環境に優しい、人と自然が共生する地域として、次の世代へ継承していく必要があります。

貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」に、心から敬意を表しますとともに、この運動が消費者意識の変革と豊かな自然環境を未来へ継ぐ活動になりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大郷町長 田中 学

大郷町は、宮城県のほぼ中央「宮城のへそ」に位置し、町土の7割を森林と農地が占め、町中央部には一級河川吉田川が流れる自然に恵まれた町です。

豊かな広がりを見せる水田地帯には、春の田植え後の緑色から、収穫期の秋には黄金色のじゅうたんが夕焼けに映える田園風景を望むことができ、町の宝でもある豊かな自然を、守り育て、次の世代へ繋げていかなければならないと感じております。

本町では、「田園と丘陵の織りなす町土を慈しみその恵みを町の魅力や活力につなげるまち」を目指し、豊かな自然環境と共生したまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表し、今後益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」

大衡村長 小川 ひろみ

大衡村は、宮城県のほぼ中央に位置し、村内を流れる善川及び埋川沿いに広がる平坦部から構成されており、森林、原野、農地が広がっている自然豊かな村です。

この豊かな自然を守るためには、一人ひとりが環境について学ぶとともに、社会全体で課題を共有し、解決策を考えることが大切です。

本村では、廃食用油を回収し、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料のリサイクルに取り組んでおり、今後も様々な環境保全に努め、より良い環境を次世代に引き継ぐための取り組みを続けていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

加美町長 猪股 洋文

加美町は、宮城県の北西部に位置し、広大で緑豊かな森林と、国内でもめずらしいミズバショウが群生する湿原地や、国の天然記念物鉄魚が生息する魚取沼など、誇るべき自然の宝庫です。

こうした自然環境のもと、平成28年度から薬用作物の試験栽培を進め、現在ムラサキに特化して栽培しています。昨年度からは、東北医科薬科大学に委託し、ムラサキのエキス「アセチルシコニン」の抽出・分析・商品開発を行っており、抗菌、抗ウイルス、抗炎症作用が証明されたことから、エキスを使った石鹸の開発にも取り組んでいます。いよいよ、今年度商品化しますので、ご愛用いただければ幸いです。

皆様には、身近な感染症対策や生活排水対策の一つであるせっけん運動を通じて、より良い水環境の保全に取り組んでいただいていることに深く敬意を表しますとともに、取り組みの輪がなお一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」

栗原市長 佐藤 智

本市は、ラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼や、国定公園に指定された栗駒山をはじめとする豊富な自然環境に恵まれた地域です。

2008年に発生した岩手・宮城内陸地震での経験を次世代へ伝えるため、栗駒山麓の地形・景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用し、持続可能な地域づくりを目指し、2015年9月には日本ジオパークとしての認定を受けました。

豊かな自然環境から恩恵を受けながらも、避けられない災害と向き合い、共生していく社会の実現を目指し、官民協働で取り組んでおります。

貴会の活動に心から敬意を表し、明日を担う子どもたちに豊かな自然環境を引き継げるよう、いっそうこの取り組みが広がりますことを、御祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

塩竈市長 佐藤 光樹

塩竈市は、長い歴史と風光明媚な景観を誇る港町です。また丘陵と入り江の織りなす変化に富んだ風景に恵まれており、海に面しているため比較的温暖な気候で、住みやすい町でもあります。

近年、地球温暖化をはじめとした様々な環境問題が生じておりますが、本市では、持続可能な循環型社会の実現に向け、市民の皆様が海辺のまちでの暮らしを最大限に享受できるよう、貴重な自然景観や親水空間の保全に努めてまいります。また、この環境を後世に伝えていくため、子どもたちの環境教育の充実や、市民・事業者・地域と連携を図りながら環境保全活動に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年取り組まれている「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに今後の更なるご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

七ヶ浜町長 寺澤 薫

七ヶ浜町は三方を海に囲まれ、古くから海と密接に関わり生活が営まれてきた歴史があり、町の一部は県立自然公園や特別名勝「松島」の指定を受けるなど風光明媚な地域です。

七ヶ浜の美しい自然、景観は町民のかけがえのない財産であり、将来にわたり保護、保全し、次世代に引き継いでいかなければなりません。

そのためにも、町民の皆様、関係団体の皆様とともに、今後とも環境保全に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、貴会のこれまでの水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、石けん運動の輪が更に広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

仙台市長 郡 和子

仙台市は、東北の中核機能を有する都市でありながら、豊かな緑や広瀬川の清流に象徴される良好な自然環境に恵まれ「杜の都」の愛称とともに受け継がれてまいりました。このような環境は、市民の皆様が主体となって守り育んできた大切な資産であり、本市の目指す持続可能なまちの実現に向け、令和5年4月から全国に先駆けて製品プラスチックの一括回収・リサイクルを開始するなど、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策やプラスチック資源循環等に率先して取り組むとともに、市民・事業者・NPOなど多くの皆様の協力をいただきながら、環境保全に取り組んでまいります。

貴会の水環境保全活動に敬意を表しますとともに、さらなるご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

多賀城市長 深谷 晃祐

本市は、奈良時代初期に陸奥の国府が置かれ、令和6年には多賀城創建1300年を迎える、歴史のあるまちです。

市内北部には、特別史跡多賀城跡から続く加瀬沼公園、中心部には砂押川が流れ、自然豊かな環境を形成しております。また、北部を中心に、緑豊かな樹林地が貴重な史跡群と一体となり、本市ならではの歴史的風致を形成しています。

この自然豊かな環境を守り、持続可能で安心して暮らせるまちを将来の世代にわたって引き継いでいくため、子どもから大人まで幅広い世代に対して環境保全行動の「気づき」が得られるよう、啓発活動に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長きにわたる水環境保全の取組に敬意を表しますとともに、環境保全・改善への大きな推進力となりますことをご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

富谷市長 若生 裕俊

富谷市は、宮城県のほぼ中央に位置し、交通環境にも優れた立地特性があり、新興住宅地と緑豊かな地域が調和したまちです。

本市では、将来にわたり、安全・安心に暮らすことができる豊かな環境を未来に引き継いでいくため令和2年度に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、翌年度には「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」を策定しました。また、令和4年度には「世界気候エネルギー首長誓約」の趣旨に賛同し、「世界首長誓約/日本」に東北で最初に署名しております。

今後も、資源循環やエネルギーの地産地消などに取り組み、持続可能なまちづくりを行ってまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

登米市長 熊谷 盛廣

登米市は、市内を南北に流れる北上川や迫川をはじめ、ラムサール条約湿地に登録されている伊豆沼・内沼、国際A級コースの長沼ボート場など、「水の里」として豊かな自然環境に恵まれた地域であります。

本市では、多様性に富んだ自然環境を守り育てるとともに、環境と共生するための知識と経験を次世代に伝え、生活に潤いとやすらぎを創造する社会を目指してまいります。また、豊かで快適な暮らしを確保するため、湖沼等周辺の清掃や植樹活動、環境保全型農業の推進などに一層力を入れ取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表し、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

名取市長 山田 司郎

名取市は緑豊かな奥羽山脈より湧き出る名取川など12の河川、宮城県の自然環境保全地域に指定され多様な生物が生息する五社山、水平線が見渡せる美しい閑上海岸などを有し、水資源に恵まれたまちです。

また、ボランティアによる海岸清掃や学生たちによる廃プラスチック研究、各種自然観察会など自然環境の保護と環境保全に係る活動が盛んなまちでもあります。

水環境と生態系の保全に長年尽力されている貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、環境にやさしい「せっけん運動」を通じた今後の貴会の活動がますます発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

東松島市長 渥美 巖

東松島市は宮城県の東部太平洋に面しており、一級河川の鳴瀬川・吉田川、二級河川の定川が流れ、日本三景松島の一角を占める「奥松島」などの豊かな自然に恵まれており、人口約4万人の市です。

本市は平成30年6月に、全国29自治体の一つとして「SDGs未来都市」に、令和4年6月には環境省の「第1回脱炭素選考地域」に選定され、どちらも宮城県初であります。

平成29年3月に策定した「東松島市第2次環境基本計画」に基づき、「誰もが安心して暮らせる自然豊かな環境未来都市」を目指して、地球温暖化対策に取り組んでおります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

松島町長 櫻井 公一

松島町は、日本三景の一つとして世界に名高く、雄大な自然が生み出す美しい景観やそこに息づく人々の営み、豊富な農作物と海産物、国の特別名勝にも指定されている文化遺産や数多くの観光スポットなど、多くの魅力で溢れた町です。

本町では、松島町長期総合計画において「人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり」という目標を掲げ、循環型のまちづくりを推進し、海・島・松が形づくる自然造形美の保全・継承活動に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

山元町長 橋元 伸一

山元町は、宮城県の最東南端に位置し、東は太平洋に面し、西は阿武隈高地の北端をなす丘陵地が南北に連なる自然豊かなまちであり、県の「緑地環境保全地域」「自然環境保全地域」に指定されています。

本町では、令和元年に「第6次山元町総合計画」を策定し、現在、本計画に基づき、本町の貴重な宝である自然環境を次代へ継承するため、環境負荷の少ない、自然環境を活用したまちづくりを進めています。

貴会のせっけん運動は、自然を守る取り組みとして大変意義のあるものであり、深く敬意を表するとともに、今後、ますます運動の輪が広がりますよう、心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

美里町長 相澤 清一

美里町は、宮城県北に位置し、奥羽山脈から続く江合川と鳴瀬川が町の全域を流れ、この二本の清流に育まれた肥沃な大地により農業が発達した自然豊かなまちです。

美里町では、基幹産業である農業を通してこの豊かな水資源を守るため、地域における保全活動や環境保全型農業への取組を推進しております。引き続き、こうした取組を支援していくことで、農業振興と環境保全の両立を目指してまいります。

貴会の石けん運動への取組と、長年の水環境保全活動に対して敬意を表しますとともに、活動の輪が尚一層広がりますよう心から祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

利府町長 熊谷 大

利府町は、宮城県のほぼ中央部に位置しており、特別名勝松島、宮城県民の森などの豊かな自然に恵まれ、また、宮城総合運動公園や大型商業施設の立地など、都市と自然が調和・共生している町です。

本町では、地球温暖化対策や環境保全に対する関心を高めるため、環境イベントの開催や、子ども会等の資源回収活動の支援などを行っています。さらに、水環境保護につきましても、合併処理浄化槽設置費の一部補助など、町民の皆様と共に、環境保全事業に取り組んでいるところです。

今後も貴会が取り組まれている「せっけん運動」を通じて、水環境保全への理解が深まり、活動の輪がさらに広がりますことを心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

涌谷町長 遠藤 釈雄

涌谷町は、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土の伝統的水管理システム』」の世界農業遺産への登録や、宮城県の「自然環境保全地域」「緑地環境保全地域」の指定など、豊かな自然環境が残されている町です。

また、全町にわたる安全で安定した水の供給に向けて、水質の適正な管理を行うとともに、基幹施設の耐震化及び管路の適切な更新を行い、安定的な水道水供給を目指しながら、災害時や平常時の事故にも対応した応急対策を確立してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる石けん運動への取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

亘理町長 山田 周伸

亘理町は、宮城県の南東部に位置し、東に太平洋の大海原、西に阿武隈高地、北は阿武隈川に囲まれた、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

私たちは健康で快適な生活を営むために、良好な自然環境の豊かな恵みを受ける権利とそれを守り未来に引き継ぐ責務があり、普段から、一人ひとりが環境を意識し、行動をおこすことが大切であります。

本町では昨年の「ゼロカーボンシティ」宣言に伴い、クリーンエネルギー自動車購入補助金の創設や再生可能エネルギーへの切り替えを促進するなど一般家庭における脱炭素社会への意識醸成を図る取組を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、水環境を守る「せっけん運動」の輪が更に広がりますよう心からご期待申し上げます。

● 栃 木 県

「シャボン玉月間」に寄せて

足利市長 早川 尚秀

足利市は、栃木県の南西部、群馬県との県境に位置し、まちを東西にわたって流れる渡良瀬川の清流とその支流である多くの河川が流れる自然に恵まれたまちです。

このように先人たちから受け継がれてきた風光明媚な郷土足利の環境を守るとともに、市民の健康で快適な生活の確保と地球環境の保全のために、2022年に「第3次足利市環境基本計画」を策定し、「豊かな自然と人と歴史が調和する 環境にやさしいまち足利」を目指すべく、市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいます。

今後も、貴会の活動の輪がさらに広がり、将来にわたって守るべき水環境の保全意識の高揚につながることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

宇都宮市長 佐藤 栄一

宇都宮市は、日光連山に続く丘陵地や田園の緑に象徴される豊かな自然の恵みを受け発展してまいりました。

本市におきましては、この自然環境を次世代に継承していくため、脱炭素社会や「もったいない」の精神を柱とする循環型社会、環境・経済・社会のバランスが取れたまちの姿である「環境未来都市うつのみや」の実現に向け、行政・市民・事業者それぞれが環境に対する意識の向上を図り、互いに連携・協働して、水資源の確保や河川環境保全など各種施策の推進に努めております。

貴会の長きにわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後、皆様の活動の輪が一層広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大田原市長 相馬 憲一

「田や麦や 中にも夏の ほととぎす」これは、俳人松尾芭蕉が本市黒羽の地に滞在した際、詠んだとされる俳句です。大田原市内には、当時から受け継がれてきた水田、耕作地が広がっており、産業と自然が共存する環境は、市内を流れる那珂川や箒川、蛇尾川からもたらされる豊かな水資源に支えられています。

本市では、「かけがえのない環境を子どもたちに引き継ぐために」をテーマに、大田原市環境基本計画を制定しています。市民、市民団体、事業者と協働し、環境保全活動や環境学習に取り組み、循環型社会の構築を推進しています。

貴会の環境保全運動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の環が広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

小山市長 浅野 正富

小山市は、農業・商工業のバランスが良く、市街地の周辺に農地や平地林の田園環境が広がっており、中心部を流れる思川は、コウノトリが定着・繁殖し、貴重な動植物が生息するラムサール条約湿地の「渡良瀬遊水地」につながっています。

この自然環境豊かな「田園環境都市おやま」は、持続可能な社会のひとつのモデルであり、素晴らしい環境を未来につないでいくために、公共下水道や合併処理浄化槽による生活排水処理の推進、市民や事業者と連携・協働した環境保全活動等により、水環境の保全に努めてまいります。

今後も、皆様のご活動を通じて、多くの方が水環境問題に関心を持ち、取り組みの輪がますます広がっていくことをご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

上三川町長 星野 光利

上三川町は東に鬼怒川、中央に江川、やや西より田川が流れ、広々とした田園地帯を形成しており、河川や地下水の恩恵を受けた土地であります。

本町は、今年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指してまいります。

先人たちから引き継いできた水資源をはじめとした本町の地域資源を後の世代へ引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責務であり、本町では「上三川町環境保全条例」を制定し、水質の保全を図るとともに、町民の健康の保護を目指しております。

貴会が水環境保全のために取り組まれている「せっけん運動」に深い敬意を表するとともに、今後ますますの発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

佐野市長 金子 裕

佐野市は、古く万葉集に詠われた秀麗な三嵎山や、藤原秀郷公の伝承が残る唐沢山城跡、また出流原弁天池に代表される豊富な湧水など、緑豊かな森林や清流、数多くの文化遺産があります。

私たちは、この自然環境に恵まれ、歴史あるまちを、将来の世代に引き継いでいく責務があります。

現在、全世界的に持続可能な社会の実現に向けた動きが注目されている中、第2次佐野市環境基本計画（改訂版）を策定し、市民、事業者の皆様と一体となって、水環境の保全に努めております。今後も地域環境、地球環境の保全に向けた環境行政を推進してまいります。

貴会の活動の輪が、より一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

塩谷町長 見形 和久

塩谷町は、町のシンボルである高原山の中腹から湧き出る、全国名水百選「尚仁沢湧水群」をはじめ、町の南岸を流れる鬼怒川と東側を流れる荒川など、水の恵みにより栄えた自然豊かな町です。

当町では、豊かな自然環境と歴史や文化を次世代に継承していくため、「塩谷町環境基本計画」を策定し、「人と自然の息吹が豊かさを奏でるまち しおや」の実現に向けて、町民、事業者一体となって各種施策に取り組んでまいります。

貴会が水環境保全のため長年にわたり取り組まれてこられた「せっけん運動」に深く敬意を表するとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

下野市長 坂村 哲也

下野市は、温暖な気候と鬼怒川、田川、姿川の豊かな水の恵みを受けた肥沃な平野が広がる自然災害の少ないまちです。この恵まれた自然にはぐくまれた数多くの歴史文化遺産をはじめ、平地林や水辺がつくる美しい田園環境が大切に受け継がれてきました。

本市では、このかけがえのない自然環境を子々孫々へ引き継ぐため、市がめざす環境像「人と自然が調和し、歴史と文化のかおる心豊かな環境のまち しもつけ」の実現に向け、市民、事業者、行政の連携のもと、環境保全に関する取り組みを一層推進してまいります。

結びに、貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

高根沢町長 加藤 公博

高根沢町は、鬼怒川、五行川、井沼川が流れ、広大な水田地帯とそれらを取り巻く平地林や里山に加え、そこに生息する多様な生き物など、豊かな自然環境に恵まれております。

本町では、自然環境の保全や環境負荷の低減に向けた取り組みとして、今までの容器包装プラスチックに加えて、新たに製品プラスチックの分別回収を開始し、循環型社会の構築を進めています。

これからも限りある資源を有効的に活用し、地域の自然環境を存続させるべく持続可能な取り組みを推進してまいります。

貴会の推進する「せっけん運動」は、身近な水環境の保全活動として大変意義深い取り組みであり、長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますます環境保全活動の大きな推進力となりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

栃木市長 大川 秀子

私たちは地球上で共に生活しており、持続可能な未来は一人ひとりの責任にかかっています。環境への影響を減らすために、小さな取組から始めることが重要です。

私たちの日常生活での小さな取組が、世界を変える力を持っています。例えば省エネルギーの品を選ぶことや、3Rを実践することによって持続可能な未来を築くことができます。小さな努力が、大きな変化につながります。本市においても、環境に対しさまざまな取組を実践しております。

私たちの地球を守るために、持続可能な選択を日常生活に取り入れ、合成洗剤の使用を減らし、代わりに自然素材であるせっけんを活用してまいりましょう。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

那須塩原市長 渡辺 美知太郎

那須塩原市は、那須連山の一角を占める山々、那須野が原に育まれた平地林、那珂川や箒川、沼ッ原湿原といった優れた水辺環境など、豊かな自然環境に恵まれています。

この自然環境を次の世代に継承していくためには、行政はもちろん、市民、事業者それぞれが環境に対する意識の向上を図り、互いに連携・協働して持続可能な社会の実現に向けた取り組みを継続していくことが大切であると考えます。

貴会の「せっけん運動」による水環境を守る活動は大変意義深いものです。長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後、皆様の活動がより一層広がりますことを心からお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

日光市長 粉川 昭一

日光市は、栃木県の約4分の1を占め、全国で3番目に広い市域面積を有します。この広大な市域には、ラムサール条約に登録されている奥日光の湿原や鬼怒川水系の源流域等があり、おいしい水などの自然資源や優れた自然環境に恵まれています。

当市では、この豊かな自然環境を守り育むため、第2次日光市環境基本計画を定め、目指す環境像を「多彩な環境交流を楽しみ、育む 持続可能な都市・日光」として掲げています。この環境像を実現するため、ゴミの減量化・資源化、外来種の除去活動、水環境学習事業の推進等を関係機関と連携して自然と共生する環境にやさしいまちづくりを進めてまいります。

貴会が水環境保全のため取り組まれてきた活動に深く敬意を表するとともに、今後もより一層活動の輪が広がりますよう心から祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

益子町長 広田 茂十郎

益子町は栃木県の南東部に位置し、町の東側には八溝山地が連なり、西側には小貝川が南北に流れ、その流域には平地が広がっています。また、日本屈指の窯業地として知られ、茨城県笠間市とともに「かさましこ〜兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”」として令和2年6月19日に日本遺産に認定されました。

町では、このようなかけがえのない環境を次世代に継承していくため、本町の目標とする環境像「自然をいつくしみ、やすらぎはぐくむ、陶の里」の形成を目指して、様々な取り組みを町民、事業者と一体になって推進しております。

長年にわたり、水環境の保全に尽力されている貴会の活動に敬意を表するとともにこの活動の益々の発展をご期待申し上げます。



● 茨城県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」への寄稿文

茨城県知事 大井川 和彦

茨城県は、霞ヶ浦、利根川等の豊かな水環境や筑波山、八溝山等の緑の山野、約190キロメートルにおよぶ長い海岸線など多彩で美しい自然環境に恵まれています。

このかけがえのない自然環境を守り次世代に引き継いでいくことは、現代に生きる私たちの責務です。

特に、全国第2位の面積を有する霞ヶ浦をはじめとした湖沼の水質浄化対策について、本県では、湖沼水質保全計画等に基づき、森林湖沼環境税を活用しながら、高度処理型浄化槽の設置促進や小規模事業所の排水対策、湖上体験学習等による県民意識の醸成などを総合的に推進しています。

今後も更なる活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

茨城町長 小林 宣夫

茨城町は、茨城県のほぼ中央に位置し、ラムサール条約登録湿地「涸沼」をはじめとする水と緑と温暖な気候が織りなす豊かな自然環境に恵まれた田園都市です。

本町では、この貴重な地域資源を将来にわたって継承していくため、令和5年3月に茨城町第2次環境基本計画を策定して、「自然を愛し、人も生きものも安らげるまち、いばらき」を将来像として掲げ、その実現に向けて、行政はもとより、町民や団体、事業者が相互に協力連携する協働の取組を実施しているところです。

貴会の「せっけん運動」による水環境の保全は、身近で大変意義ある取組であり、長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」

笠間市長 山口 伸樹

笠間市は、北は八溝山系に属する鶏足山塊につつまれ、中央にはラムサール条約登録湿地「涸沼」に通ずる涸沼川が流れ、農地や平地林が広がる豊かな自然に恵まれた落ち着いたまちとして発展してきました。

この豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、第2次笠間市環境基本計画を策定し、望ましい環境像「豊かな自然との共生 水と緑の里 かさま」を実現するために、市民や各種団体、事業者と協働により様々な施策に取り組んでいるところです。

貴会の「せっけん運動」は水環境を守る活動として大変意義深いものであります。この長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の活動がより一層広がりますことを心からお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

つくばみらい市長 小田川 浩

つくばみらい市は、茨城県の南西部、東京都心から40km圏に位置し、鬼怒川、小貝川の2大河川が流れています。小貝川沿いは広大な水田地帯が広がり、丘陵部には畑地や住宅地等が形成されております。

本市では、この豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、環境に配慮した水とみどり豊かなまちづくりを目指し、市民の皆様とともに、河川美化・浄化意識の高揚を図る取り組みを積極的に進めております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動である「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

利根町長 佐々木 喜章

利根町は茨城県最南端、都心から約40km圏内に位置し、その名の通り「利根川」とともに生きてきた水辺の町です。町域はほとんど平坦で、低地部で農業用地が形成されています。

町の南側に利根川、中央に新利根川、北西部に小貝川が流れ、川沿いには桜並木が整備され、町民の散歩コースになっています。

豊かな田園風景と親水空間に恵まれた利根町では、水を守ることの重要性を認識し、河川の水質調査の実施やイベントでの意識啓発活動に努めています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境の保全に対する取り組みに敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

ひたちなか市長 大谷 明

ひたちなか市は、茨城県の中央部東側に位置し、美しい碧の海の広がる太平洋に面しています。

国営ひたち海浜公園内には多様な生物の宝庫の沢田湧水地、市中心部の中丸川河川敷には水と緑に親しめる親水性中央公園がある自然と身近にふれあえるまちです。

本市では、この豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため「ひたちなか市地域におけるきれいな水環境推進計画」に基づき、水環境の整備や持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪や、環境への意識・関心が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

那珂市長 先崎 光

那珂市は、西側に那珂川、北側には久慈川が流れ、市内に点在する大小さまざまな溜池には、越冬する白鳥や水鳥が毎年飛来しており、四季折々を身近に感じられる地域です。

本市では「豊かな自然と暮らしが調和したやさしいまち」を環境将来像にした第3次那珂市環境基本計画で、市民、市民自治組織、環境活動市民団体、事業者等の皆様と共に協働・連携し、環境教育学習と意識啓発の推進、脱炭素社会づくり、3R循環型社会づくり、自然と共生できるまちづくりなどに取り組んでおります。

貴会の長年に渡る「せっけん運動」を通じた水環境保全への取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

水戸市長 高橋 靖

水戸市は、那珂川や桜川等の大小様々な河川が流れ、その地名の由来のとおり水の豊かなまちです。市の中心部には、多くの市民の憩いの場となっている千波湖とその周辺の緑地、さらには梅の名所である偕楽園があり、自然の魅力や歴史的資源とまちとの調和が本市の大きな魅力です。

この豊かな自然環境を次世代に繋ぐため、「豊かな水と緑をみんなでつくる 未来へつなぐまち 水戸」を目標に掲げ、水質浄化や生活排水対策はもとより、市民との協働で河川、湖沼の清掃活動に積極的に取り組むなど、水環境の保全に努めているところです。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

守谷市長 松丸 修久

守谷市は、茨城県の南西端、東京都心から40km圏内に位置し、三方向を利根川、鬼怒川、小貝川に囲まれ、斜面林が市街地を取り囲むように連なる「水と緑に恵まれたまち」です。豊かな自然の保護と計画的な市街地開発の推進により、機能的で住みよい街並みが形成されています。

本市では、第三次守谷市総合計画において「水と緑のパワースポット もりや〜持続・創造・進化するまち〜」を将来像とし、施策である「環境にやさしい生活の創出」に基づき、SDGsの実現に向けた取組を市民との協働により進めています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますようご祈念申し上げます。



● 埼玉県

「シャボン玉月間」に寄せて

埼玉県知事 大野 元裕

埼玉県では、県土に占める河川面積割合が全国2位という特色を生かし、魅力のある水辺空間の創出など川の保全・共生に取り組んでいます。

豊かな環境を保全するためには、地域住民や企業が川を大切に活用することが重要です。そこで、既に活動している川の国広援団と県民、企業の3者の連携を県が支援し、活動を活性化させる「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」（通称リバサポ）を推進しています。リバサポでは、川でのイベント、清掃活動や環境学習など3者が連携した様々な取組が広がっています。

恵み豊かな自然を守り育み、安心・安全な環境を次世代に引き継いでいくために、これからも共に頑張っていきましょう。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

朝霞市長 富岡 勝則

朝霞市は、黒目川や新河岸川、越戸川が流れ、これらの河川に沿って斜面林や農地、湧き水が存在し、都市と自然が調和したまちです。

当市では、計画期間中である「第3次朝霞市環境基本計画」において、市の環境を特徴づける豊かな「水とみどり」を守り、将来にわたって持続可能な「環境にやさしい」まちが保たれるように、市と市民・市民団体、事業者のみなさんとの協働により「みんなでつくる 水とみどりが豊かな 環境にやさしいまち 朝霞」を合言葉に施策を推進しているところでございます。

貴会の「せっけん運動」に心から敬意を表しますとともに、この活動の輪が一層広がることを期待し、益々のご活躍と発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

伊奈町長 大島 清

伊奈町は、埼玉県の中南部、都心から40km圏内、大宮台地のほぼ中心に位置し、町名は、江戸時代にこの地の勧業治水に貢献した伊奈忠次公の功績にちなんでおり、昭和30年代までは農村地帯として発展してきました。

また、綾瀬川に面していることから綾瀬川の保全を目的としたクリーン大作戦や河川水質測定、合併処理浄化槽への転換補助による生活排水対策の推進を行い、水環境保全に努めています。

SDGsやゼロカーボンなど世界的な脱炭素化を目指して、人々の環境意識が高まっている現在、貴会の水環境保全への取り組みを通して、より多くの皆様が環境保全に関心を持ち、活動の輪が広がりますことを心から祈念いたします。

しゃぼん玉月間に寄せて

入間市長 杉島 理一郎

入間市は、加治丘陵と狭山丘陵に代表された豊かな緑と、一級河川の入間川や霞川、不老川の水環境にも恵まれていることから、「香り豊かな緑の文化都市」をまちづくりのビジョンとして掲げています。

本市においては、例年、多くの市民にご参加いただき、河川の清掃活動を行っているほか、子供たちにも、地域の水辺に対し関心を持ってもらうため「不老川・霞川における生き物調査」等の活動を継続して実施しています。

そのような折、貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、誰もが身近に取り組める水環境の保全活動として、当市が目指すSDGsの推進にも深く関係する大変意義深い活動と考えています。

今後も、貴会との連携協働を強固にすることで、水環境保全活動が、益々広がることを願っております。

結びに、貴会の長年にわたる取組に敬意を表しますとともに、益々のご発展を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小鹿野町長 森 真太郎

小鹿野町は、埼玉県の西北部に位置し、日本百名山の「両神山」、日本の滝百選の「丸神の滝」、平成の名水百選の「毘沙門水」など、多くの百選に選ばれる自然が豊かな山間の町です。両神山より流れ出る小森川にはゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交い、幽玄な光を放ってくれます。「ホタルが生息するまち」は、町の誇りです。

また、本町では下流域の小学生と、いのちの水の大切さや水源地域への意識を高めていくため、「上下流交流事業」を20年以上にわたり続けています。美しい自然環境を保ち、次世代へ伝えることは、私たちの重要な責務であります。

貴会が推進する「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深いものがあります。貴会の活動の輪がさらに広がりますことを心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

小川町長 島田 康弘

小川町には、笠山・堂平山に源を持つ槻川、市街地を貫流し槻川へ流入する兜川、八和田地区を流れる市野川の3つの主要な河川があり、この清らかで豊富な清流の恵みによって古くから紙漉きや酒造りなどの地場産業が栄えてきました。

令和3年2月に、町の豊かな自然を子どもたちやその先の世代へ引き継ぐため、「小川町ゼロカーボンシティ宣言」を宣言し、さらに令和5年5月には「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。町では、SDGsの取組や二酸化炭素の吸収源である森林の整備を行い、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す取組を進めています。

貴会の活動により、1人でも多くの方が環境への関心を持っていただくことで、より良い水環境を後世に残していくことに繋がりますよう、ご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

桶川市長 小野 克典

桶川市は、江戸時代後期、中山道6番目の宿場町として栄え、近代は首都近郊の住宅都市として発展してきました。

駅を中心とした市の中心部に住宅地が広がり、それを取り巻く郊外には荒川、石川、江川、芝川、綾瀬川、元荒川といった多くの河川と緑豊かな自然が広がっております。

本市では、SDGsの理念を踏まえ、豊かな自然環境を次世代に引き継ぎ、持続可能なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備や合併浄化槽の普及促進等、市民・事業者・行政が一体となって水環境の保全に力を入れて取り組んでおります。

結びに「せっけん運動」をはじめとする、貴会の活動の輪が、今後ますます広がりますことを、心よりお祈りいたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

越生町長 新井 康之

越生町は、越辺川の清流と四季折々の花と山々に囲まれた緑豊かな自然に恵まれたまちです。

そこで、本町では、森林の役割と重要性に着目し、近隣市町と連携・協働して、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を声明しました。この取り組みは、自然環境保全に積極的に取り組む貴会の「せっけん運動」に通じるものであり、地球温暖化対策と環境保全の一翼を担えるものと考えております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後も環境に優しい地道な活動が継続され、運動の輪がますます広がりますことを祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

春日部市長 岩谷 一弘

春日部市は、美しい水面を有する大落古利根川や江戸川など豊かな水辺環境に恵まれたまちです。本市では、「自然と人とが共生し 未来につなぐ環境を みんなで育てまもるまち・春日部」を環境像として掲げ、環境施策を推進しております。

また、水環境保全については、下水道供用開始区域における未接続世帯に対する個別訪問による普及促進や、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する啓発、小学生向け環境学習の実施などを通じて、水質汚濁防止に努めているところです。

今後も皆様の積極的な石けん運動から環境問題に対する取り組みの輪がさらに広がり、美しい環境が次世代に引き継がれていくことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

加須市長 角田 守良

加須市は、SDGsの理念のもと、市民・事業者・行政が協働で地球にやさしいまちづくりに取り組むため、令和5年3月に「加須市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。2050年までに、二酸化炭素排出量実質ゼロを実現することを目指しています。

また、本市は雄大な利根川やラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地、国土交通省水の郷百選に認定された浮野の里など、四季折々の豊かで美しい水辺環境に囲まれており、この大切な財産を次の世代へと継承するため、第2次加須市環境基本計画に望ましい環境像として掲げた「豊かな自然と快適な環境のまち」を目指して、環境の保全と創造にも取り組んでおります。

貴会の永年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後の更なる御発展を心から御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

川口市長 奥ノ木 信夫

川口市は、多様な産業が集積する一方、荒川、芝川などの水辺空間や、見沼田んぼなどの緑地空間があり、水と緑の豊かな資源を有したまちです。

本市は今年、市制施行90周年を迎えました。この記念すべき年をさらなる発展の契機と捉え、未来の希望が持てる魅力あるまちづくりへの新たな第1歩を踏み出し、本市が「住みやすいまち」を超えて、いつまでも住み続けたい「さらなる選ばれるまち」であり続けることを目指し、今後も自然保護の推進や環境に配慮したまちづくりを推進して参ります。

皆様の永年の活動に深く敬意を表しますと共に、これからも環境に優しい「せっけん運動」の発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

北本市長 三宮 幸雄

北本市は、首都圏45km圏内、都心まで45分という好立地にありながら、昔ながらの谷津や湧水、クヌギやコナラの雑木林などが残る緑豊かな住宅都市として発展してまいりました。

本市は、これらのかけがえのない環境を次の世代に残すため、令和4年1月に北本市ゼロカーボンシティ宣言を表明し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す取組を進めております。

また、令和5年7月から住宅用省エネルギー機器の設置や省エネ家電製品の買換え等に対し補助金を交付して、温室効果ガスの排出抑制に努めております。

結びに、貴会の取り組まれている環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

行田市長 行田 邦子

行田市は、秩父連峰を望む関東平野の中ほどに位置し、北に利根川、南に荒川が流れ、国の特別史跡に指定された埼玉古墳群が広がるなど、豊かな自然と由緒ある歴史が息づくまちです。

こうした豊かな自然環境を守り、次世代へと引き継いでいくため、本市では今年度、「第3次行田市環境基本計画」を策定し、引き続き市民・事業者・行政が一体となって、環境保全活動を推進してまいります。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、豊かな水環境を保全する活動として大変意義深いものであり、長年にわたる活動に深く敬意を表します。今後もこの活動の輪がより一層広がり、さらに発展していくことを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

久喜市長 梅田 修一

久喜市は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、「ゼロカーボンシティ」を宣言するなど、市民・事業者・行政が一体となった「オール久喜」で、持続可能で活力あるまちづくりを進めています。

また、今年3月には「第2次久喜市環境基本計画」を策定し、「水と緑と街が調和した豊かな環境を守り・育て、未来につなぐまち『久喜』」を望ましい環境像とし、さらなる環境保全活動に取り組んでいるところです。貴重な水環境を次世代に引き継げるよう、今後もより一層の環境保全活動に努めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん活動」に改めて敬意を表しますとともに、益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

熊谷市長 小林 哲也

熊谷市は、荒川、利根川という二大河川を有し、豊かな水環境や自然環境に恵まれています。

清流・元荒川には、希少魚の「ムサシトミヨ」が生息し、環境省「平成の名水百選」に選定されるなど本市の水辺環境のシンボルとなっています。

また、南部地域の清流では毎年数多くのゲンジボタルが舞い、私達を楽しませてくれています。

本市では、これらの水環境を後世に残していくために、様々な保全活動や啓発活動に努めています。

貴会の「せっけんを使おう」という活動は、身近な水環境の保全に大変意義深いものと考えています。長年にわたるその活動に心から敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が大きく広がりますことを

祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

越谷市長 福田 晃

越谷市では「水郷こしがや」と呼ばれる豊かな環境を次世代に引き継ぐため、越谷市環境管理計画において、本市の望ましい環境像を「みんなで創ろう 越谷の豊かな環境と未来」と定めています。また、本市の環境条例の前文には「全市民の英知と努力により真に豊かな環境を保全し、創造していかねばならない」と示されており、すべての市民・事業者の皆様と行政が協働・一体となって行動し、未来の越谷市民が住み続けられる環境を保全・創造することを目指しています。

そのような中、貴会の長年にわたる「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深いものであり、貴会の活動を通じて、人々の環境への意識がより高まることを期待しております。

シャボン玉月間に寄せて

鴻巣市長 並木 正年

鴻巣市は、首都圏50km圏内に位置し、荒川をはじめとする河川に囲まれ、豊かな自然環境に恵まれています。

本市では、市名の由来の一つであるコウノトリをシンボルとして、誰一人取り残されないまちづくりを進めており、令和5年5月には「SDGs 未来都市」に選定されました。今後もSDGsの理念のもと、「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」の実現を目指して、多くの生きもの、そしてコウノトリと共存できる環境に配慮したまちづくりを推進してまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、今後、ますます「せっけん運動」の取組の輪が広がりますことを心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

さいたま市長 清水 勇人

さいたま市は東日本と首都圏を結ぶ鉄道や高速道路などの広域的な交通網が充実した都市として発展してきました。一方で、見沼田んぼや荒川に代表される水と緑を有していることから、人と自然が共生した街づくりを目指しております。

本市では、「第2次さいたま市環境基本計画」を策定し、市民・団体・事業者といった多様な主体と連携することで、良好な水環境の保全と創造に取り組んでいます。石鹸の適量使用についても、水環境の負荷低減には非常に重要です。

貴会の長年にわたる「石けん運動」による水環境保全への取り組みに敬意を表するとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間に寄せて」

坂戸市長 石川 清

坂戸市は、武蔵野の緑と清流高麗川が織りなす恵み豊かな自然の恩恵を受け、今日まで発展してまいりました。

本市におきましては、この豊かな自然を未来に引き継ぐため、市民の皆様とともに、環境への負荷を軽減する取り組みを積極的に進めています。平成14年に開館した環境学館いずみでは、環境に関する様々な講座を実施しており、その一つとして学校給食の廃食油を利用したリサイクル石けん作りの講座を長きにわたり開催し、環境にやさしい石けんの普及を図っております。

貴会の長年にわたる『せっけん運動』への取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後ますます運動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

狭山市長 小谷野 剛

狭山市は、「環境との共生」をまちづくりの第一の基本理念として掲げ、入間川及び不老川をはじめとする豊かな自然環境を育みつつ、県内有数の工業都市・住宅都市として発展を遂げてきました。

本市では、自治会や団体と協力・連携して河川環境美化活動を行い、環境に関する意識の向上を図るとともに、河川の定期的な水質測定による経年変化の把握等の水環境保全に係る各種活動を積極的に実施しております。また、今年度には不老川緊急治水対策事業による工事が完了予定であり、市内親水空間の更なる改善が見込まれます。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、皆様の活動の輪が一層広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

幸手市長 木村 純夫

幸手市は、埼玉県北東部に位置し、江戸川・中川・倉松川など水辺環境に恵まれ、田園風景の広がる自然豊かなまちです。

本市では、「幸手市環境基本計画」を策定し、環境負荷の少ないまちづくりの実現に向け、補助制度を活用した合併処理浄化槽への転換促進を積極的に働きかけるとともに、市民の皆様と協力して河川の美化活動を行っております。また、市民・事業者・行政で連携し、河川の水質改善と環境保全に努め、今後とも自然環境に配慮した取組を推進してまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに敬意を表しますとともに、一人でも多くの方がご参加され、皆様の活動の輪が広がりますことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

志木市長 香川 武文

志木市は、令和4年7月に新庁舎が完成し、完成記念イベントでは地域の御輿が一堂に会して庁舎前を練り歩くなど、大いに盛り上がりを見せました。時期を同じくリニューアルオープンした「いろは親水公園」でも、これまで約34万人が足を運ぶなど、多くの市民の憩いの場所となっております。

そうした中、本市では、環境問題に関する学習として食品ロス対策等の出前授業の実施や、令和5年3月には「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、環境省が推奨する3Rに、「リフューズ」を加え「4Rの取り組みを通じた持続可能な資源循環型のまちづくり」に、積極的に取り組んでおります。

貴会の地道な環境活動による成果に心から敬意を表しますとともに、これからも「せっけん運動」への取組の輪が広がりますようご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

杉戸町長 窪田 裕之

杉戸町は、大落古利根川や中川などの河川や水路が流れ、これらの豊かな水によって形成された田園風景が広がるとともに、雑木林や屋敷林などの緑豊かな自然に囲まれています。

当町では第2次杉戸町環境基本計画において「水と緑豊かで安らぎを感じられるまち」を環境の将来像として定め、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及啓発等の施策を進めております。

こうした中、水環境を保全する貴会の取組は大変有意義であり、長年にわたる「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」の活動に敬意を表するとともに、この活動が一人でも多くの方の「水環境」に対する意識向上につながり、環境保全の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

草加市長 山川 百合子

草加市は埼玉県東南端に位置し、綾瀬川右岸沿いの草加松原は、国指定名勝「おくのほそ道の風景地草加松原」となっています。

本市は「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向け、第二次環境基本計画（第二版）に基づき環境問題に取り組んでいるところです。令和4年度は、市民団体との協働により、河川に不法投棄された自転車のサルベージ（引き上げ）活動を3年ぶりに実施しました。

綾瀬川はかつて水質汚濁が著しかったものの、下水道の普及等により近年は水質改善が進み、多くの魚が戻ってまいりました。これも貴会が推進する水環境を保全し、安全で健康な暮らしが営める環境づくりと軌を一にするものでございます。

貴会の皆様が長年取り組まれている水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後も皆様方の活動がさらに広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

秩父市長 北堀 篤

秩父市は埼玉県の北西部に位置し、地域の87%が森林に占められており、そのほとんどが秩父多摩甲斐国立公園や県立自然公園の区域に指定されている自然豊かな地域です。そして、山深い森は首都圏や周辺地域の水源域としての機能を担っており、この恵まれた環境をこれからも市民の皆さんとともに守り、次世代に引き継げるよう取り組んでまいります。あわせて、昨年度改訂された「ちちぶ環境基本計画」は秩父地域の環境保全の指針となるものですので、設定された目標を達成できるよう努めてまいります。

長年にわたる「せっけん使おう！」運動は、身近な環境保全の取組として意義深く、心から敬意を表するとともに、貴会のますますの御発展を心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

鶴ヶ島市では、令和4年度に第3期鶴ヶ島市環境基本計画を策定し、また、令和5年3月20日にゼロカーボンシティ宣言を行いました。

計画の環境像として「緑と水と生きものと 持続可能な社会を目指すまち」を掲げ、環境団体等と協働で、緑や水辺、多様な生物を保全する活動を推進しています。

今年度は、市民1000人でヘチマを育て、環境意識の啓発を行う「ヘチマ・プロジェクト」を実施しています。取組の一つとして、副産物であるヘチマたわしを活用し、マイクロプラスチックを削減して海（水）を守る取組を進めています。

貴会の長年にわたる水環境保全への取組に敬意を表しますとともに、今後も貴会のますますのご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

ときがわ町長 渡邊 一美

ときがわ町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、3本の一級河川と町の約7割の面積を占める山林を有する、水と緑に恵まれた自然豊かな町であり、「人と自然の優しさにふれるまち ときがわ」を将来像としています。

町では、川の汚れの原因とされる生活排水を改善するため、町設置型の浄化槽設置管理事業を町が主体となって実施しており、高度処理型の浄化槽を採用して、源流の町としてより良い水質確保、水質保全に取り組んでいます。

貴会が推進されている「せっけん運動」は誰もが日常生活の中で取り組むことができ、一人ひとりの行動の積み重ねの継続が、未来の世代への美しい自然の継承につながる意義深いものと考えます。

新型コロナウイルス感染防止対策でこまめな手洗いが励行されている中、体にも環境にも優しい「せっけん」の使用は環境負荷軽減に貢献するものです。

貴会が、環境保全活動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、更なるご活躍を心より祈念申し上げます。

自然な生き方でいこう！

所沢市長 藤本 正人

自分はもう石鹸で生活中だ。体を洗うのはもちろん、どっかい、頭も石鹸だ。そのほうが水切りもよい。しかし、世の中は、コロナで殺菌や除菌をうたった液体せっけんが主流になってしまった・・・。

コロナは人間に自然の深さ、自然との共生をこそ示唆し、私たちは自然からの警告を受けたはずなのに、日本では相変わらず人工的な殺菌、除菌、消臭、芳香・・・テレビの宣伝もこれに極まっている。

石鹸に戻ろう。遺伝子組み換えやゲノム編集も、表示の仕方も種子の支配も、人間による傲慢、慢心だと思ふ。とても不自然だ。

人間は自然の一部でしかなく、生物の多様性の中で調和しながら生かされている。

所沢市としては、自然との調和・共生を胸に、自然な生き方を模索するようにしていきたい。貴会の長年にわたる運動に敬意を表し、皆様の今後の活動がさらに広まって大きなうねりとなることを心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

長瀬町長 大澤 タキ江

長瀬町の中央部には荒川が流れ、町全域は埼玉県立長瀬玉淀自然公園に指定されています。特に、岩畳のある長瀬地区は、国の名勝・天然記念物「長瀬」に指定されています。

当町は水に関わるレジャー産業も活発で、水質は長瀬の生命線でもある重要な資源です。水質保全には、町が行う環境美化清掃事業のほかボランティア団体等による河川のごみ拾いなどの協力が不可欠であり、一層の呼びかけも必要と考えております。また、公共下水道を推進し、さらに合併処理浄化槽の普及啓発をおこなうことで、水質保全へ取り組んでまいります。

結びに、貴会の「石けん運動」の今後の更なる活動が広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

滑川町長 大塚 信一

滑川町は、埼玉県の中央部、首都60km圏内に位置し、町の中央を流れる滑川をはじめとする3つの一級河川と、国営武蔵丘陵森林公園や関東一といわれる約200か所の「ため池（沼）」が、谷津（やつ）という美しい景観を織りなす自然豊かな町です。

本町では、国の天然記念物ミヤコタナゴが棲める生息環境の回復に努めるとともに、2050年までに町内の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「滑川町ゼロカーボンタウン宣言」を表明しました。今後も、町に残る豊かな自然環境を次世代に継承するため取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

新座市長 並木 傑

新座市は、柳瀬川、黒目川及び野火止用水が流れ、武蔵野の面影を色濃く残す平林寺境内林などの雑木林が広がる、自然環境に恵まれた水と緑の豊かなまちです。

本市では、これらの貴重な自然環境を将来にわたって引き継いでいくため、『豊かな暮らしが自然と共生する持続可能なまち「にいざ」』を新座市環境基本計画における望ましい環境像に掲げるとともに、ゼロカーボンシティの実現を目指し、市民、事業者及び市の三者の協働によって各種環境施策を推進しています。

貴会の推進する「せっけん運動」は、水環境の保全活動として大変意義深い取組であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後の更なる御発展を心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

蓮田市長 山口 京子

蓮田市は、第2次環境基本計画において「都市・緑・水辺が調和し、生物が生き生きしているまち」として、市内を縦断する元荒川をはじめとした河川や黒浜沼等の水辺環境、周囲に広がる農地や市内に現存する雑木林や社寺林等の緑の保全が進み、それらを拠点とした緑のネットワークが形成されることで、多様な生物が生息・生育するまちを目指しています。

貴会の皆様が長年取り組まれている水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後も皆様方の活動がさらに広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

鳩山町長 小峰 孝雄

鳩山町は、埼玉県ほぼ中央に位置し、一級河川越辺川やその支流である鳩川が流れ、里山景観を残した豊かな自然環境と住宅団地や大学等の文教施設が調和した町です。

本年4月には、本町に整備された「クリーンセンターはとやま」が本稼働するなど、豊かな自然環境に加え次の世代へ引き継いでいくため、様々な環境行政の充実したまちづくりを進めてまいります。

また、本町では、町内を流れる河川の定期的な水質検査や公共下水道、町型合併処理浄化槽、農業集落排水等の生活基盤整備の普及促進など環境に配慮した施策を実施しております。

結びに、貴会の環境活動に心から敬意を表しますとともに、せっけん運動の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

羽生市長 河田 晃明

羽生市は、埼玉県の北端に位置し、利根川の豊かな水資源を利用した穀倉地帯で水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。この豊かな自然環境は、私たち羽生市民の誇りであり、将来世代に引き継いでいく責務があります。

本市では第3次羽生市環境基本計画を策定し、「水と緑を生かし、安心して暮らせる環境にやさしいまち」を目指すべき環境像に掲げ、市民や事業者との協働により、持続可能な社会の実現に向けて、清らかな水の保全と再生に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後もより多くの方々にこの活動の輪が広がりますことを心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

飯能市長 新井 重治

飯能市は、埼玉県南西部に位置し、都心から 50 km 圏内という首都近郊にありながら、豊かな森林と美しい清流に恵まれており、「水と緑の交流拠点 森林文化都市 はんのう」を将来都市像としています。

河川の上流域に位置する自治体として、このかけがえのない水源を守り次世代に引き継ぐために、埼玉県内でいち早く合併処理浄化槽組合を設立し、浄化槽の適正な維持管理を推進しています。本市は、今年度、市制施行 70 周年を迎えます。私といたしましても本市が誇る美しい清流を未来永劫に引き継いでいけるよう万全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

東松山市長 森田 光一

東松山市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、恵まれた立地条件と交通体系を背景に、比企丘陵の緑と清流の織りなす美しい自然に囲まれた都市として発展を遂げてきました。

当市では、まちづくりの柱の 1 つに「自然と調和する 環境未来・エコのまち」を掲げ、ホテルの里づくり事業をはじめとした地元住民と協働で取り組んでいる環境保全活動や、市内を流れる河川の水質調査等を通じて水辺空間の整備・保全に取り組むことで、環境にやさしいまちづくりを推進しております。

貴会におかれましては、長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますことを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

日高市長 谷ヶ崎 照雄

日高市は、市のシンボルである「日和田山」や曼殊沙華が咲き誇る「巾着田」、そして清流に代表される「高麗川」が市内中心部を流れ、豊かな自然を有しております。この豊かな自然環境を未来に残していくためには、一人ひとりの環境に対する関心や意識が大切です。

本市では、令和 3 年 3 月に、「豊かな自然を未来につなぐまち ひだか」を掲げ、第 2 次日高市環境基本計画を策定し、地球温暖化対策、自然環境の保全及び生活環境の保全など、それぞれ基本目標を定め積極的に取り組んでおります。

今後、ゼロカーボンシティの実現とともに環境保全への活動及び教育の推進に努めてまいります。

結びに、貴会の長きにわたる活動に対し深く敬意を表するとともに、今後の活躍とご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

深谷市長 小島 進

深谷市は埼玉県の北西部に位置し、市北部に利根川、南部に荒川が流れる豊かな水環境を有しています。

「深谷ねぎ」をはじめとした多くの農作物はこうした水環境の恩恵を受け育てられています。水環境を守ることは、将来に向けた重要な使命であり、自然環境の維持・改善には、行政はもちろん市民や事業者それぞれが進んで環境問題に取り組むことが求められます。

本市は、令和 5 年 5 月に内閣府の「SDGs 未来都市」に選定され、「渋沢栄一「論語と算盤」の教えを踏まえた深谷版 SDGs の実践」をテーマに持続可能なまちづくりや地域活性化の実現を目指してまいります。

また「深谷市環境基本計画」を見直し、市民・事業者及び行政がそれぞれの立場に応じて連携しながら良好な水環境の保全と創造に取り組んでまいります。

このような中で、長年取り組みを継続されている貴会に心から敬意を表するとともに、益々の御発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

富士見市長 星野 光弘

富士見市は、荒川、新河岸川、柳瀬川などの河川を有し、水田地帯として豊富な水を利用してきました。また、市民に潤い・安らぎ・癒しを与えてくれる湧水や緑地が存在し、都心から30km圏内という首都近郊にありながら、自然環境に恵まれたまちです。

令和5年3月には、理想の環境像を「湧水（みず）の恵みと育む緑 未来へつなぐ環境保全のまち」と定めた「第3次富士見市環境基本計画」を策定いたしました。今後も、貴重な自然や生活環境を後世に引き継いでいくため、様々な取組みを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が、大きく広がっていきますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

ふじみ野市長 高畑 博

ふじみ野市を流れる新河岸川の周辺では、湧水群や川沿いの斜面林など水と緑豊かな環境や水田が広がり自然の景観が継承されています。

当市では、市民の皆様へ、合成洗剤などの使用を控え、環境負荷の少ない石けんの使用を呼びかけ、環境保全に関心を持っていただくよう努めております。

当市の目指す環境像である、「みんなではぐくむ緑豊かな住みよいまち ふじみ野」を礎に、環境にやさしいまちづくりの推進など、今後も各種施策を展開してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、貴会がますますご発展されることを心より祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

松伏町長 鈴木 勝

松伏町は、埼玉県東部の東南部、都心から約30km圏に位置し、江戸川・中川・大落古利根川の3本の河川に囲まれた水と緑豊かな町です。

本町では、本年6月梅雨前線及び台風第2号による大雨により多数の被害に遭いました。被災された皆様に謹んで御見舞い申し上げますとともに、心温まるご支援をいただいた方々に心より御礼申し上げます。

私たちの生活にとって、なくてはならない「水」が、時には生命や生活・財産を脅かす存在になることを肌で実感しました。今後も、「水」と共存する上で、水環境を守り、持続可能な仕組みづくりに取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる環境活動への取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

三郷市長 木津 雅晟

三郷市は埼玉県東部の東南端に位置し、東に江戸川、西に中川が流れる豊かな河川環境に恵まれたとても暮らしやすいまちです。

鉄道や高速道路網など交通利便性が高く、秋頃には江戸川に建設中の「三郷流山橋」が開通し更なる地域の発展が見込まれており、10月7日には、橋の完成を記念した花火大会を開催いたします。

本市は、河川美化を推進するとともに、県東南部5市1町と共同で「ゼロカーボンシティ」を宣言しており、今年度は電気自動車の購入に係る補助を新設し、一般家庭における脱炭素への取り組みを後押ししております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

皆野町長 柴崎 勉

皆野町は、四方を山々に囲まれた秩父盆地の一角に位置し、町の中央を荒川が東流し、山林を渡る涼風、荒川清流の水辺など自然豊かな町です。

当町の幼稚園・各学校では、リサイクル石けんを使用し、地球に環境に優しいまちづくりを進めております。子どもたちや先生からは、「手が荒れなくてよい」という声も聞こえてきており、大変好評を得ています。

貴会の皆様におかれましては、かけがえのない自然環境を後世に残すため、長年にわたり、水環境保全活動に取り組まれておりますことに対して心から敬意を表します。

今後とも、皆様の「石けん運動」の輪がますます広がっていきますことを心よりご祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

三芳町長 林 伊佐雄

三芳町は、首都圏30kmという好条件に位置し、みどり豊かな武蔵野の雑木林や三富新田に代表される田園風景が広がる自然と都市機能が調和したまちです。

本町では、この豊かな自然を未来に引き継ぐため、環境問題に町を上げて取り組んでおります。

今年3月には「三芳町一般廃棄物処理基本計画」を見直し、その中にある「生活排水処理基本計画」では、河川の汚染を抑制するために、生活排水処理人口普及率を100%にする目標を掲げて、公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置の促進に努めています。

結びに貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、貴会の活動の輪がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

宮代町長 新井 康之

宮代町は、埼玉県北東部にあり、大落古利根川をはじめとする豊かな水辺環境と、さいたま緑のトラスト保全第5号地である山崎山の雑木林など、多くの緑が共存する自然に恵まれたまちです。

当町では、2050年の二酸化炭素排出ゼロを目指し地球温暖化対策を進めていくため、令和5年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会の実現を始めとした環境問題に取り組んでおります。

また、町民と力を合わせた環境保全活動や、水辺環境の保全に繋がる合併処理浄化槽の普及促進に努めております。

貴会が長年取り組まれている活動に敬意を表しますと共に、今後、活動の輪がますます広がることを、心からご祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

毛呂山町長 井上 健次

毛呂山町の西部は県立黒山自然公園に指定されています。美しい山並みが連なった恵まれた自然環境を、未来を担う次世代に引き継ぐため、昨年12月、本町と山並みで連なった町村とともに『山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言』を表明しました。

この宣言により3町1村が相互に協力連携し、ゼロカーボンシティに向けた協働の取組を行うことで、山林の環境保全や二酸化炭素を削減し、緑と水にやさしいまちづくりを目指してまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに敬意を表しますとともに、豊かな水環境を守り美しい自然を継承していくために、この運動の輪が広がっていくことを心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

八潮市長 大山 忍

八潮市は、埼玉県の南東部に位置し、中川、綾瀬川、大場川など豊かな水と緑が広がる、自然環境に恵まれたまちです。

本市では、市民にとって最も身近な自然として親しめる水辺空間の創出を図るため、「水と緑にふれあえる、環境にやさしいまち八潮」の実現を目指し、河川浄化対策や生活排水対策を推進するなど、豊かな水辺環境の保全に努めておりますが、今後も、環境負荷の軽減や自然環境の維持・保全に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、より多くの皆様に活動の輪が広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

横瀬町長 富田 能成

横瀬町は、埼玉県の西部、秩父地方の南東部に位置し、町のほぼ中央を東西に横瀬川が流れ、埼玉県内最大級の寺坂棚田が広がる緑と水の自然に恵まれた住みよいまちです。

本町は、都心から簡単にアクセスできる70km圏内にあります。美しい景観のなかに多様な幸せが花開く「カラフルタウン」を掲げ、豊かで美しい自然環境を育み、ここで育った子どもたちや訪れた人々がまた帰ってきたいくなるまちづくりに積極的にチャレンジしています。

貴会が長年取り組まれている石けん運動は、環境保全にとって大変意義深いものです。長年の活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がるよう心からご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

吉川市長 中原 恵人

吉川市は、東に江戸川、西に中川が流れ、古くから水の恵みを享受してまいりました。昔から「吉川に来て、なまず、うなぎ食わずなかれ」といわれ、市内の料亭では川魚料理が堪能でき、近年では地域の飲食店にもその広がりをみせています。

このような「川の郷」を次世代へ受け継いでいくため、公共下水道への接続や浄化槽の維持管理の啓発、合併処理浄化槽への転換促進により水質の保全を図っており、健全な水環境の保全に向けて引き続き取り組んでまいります。

最後に貴会の長年にわたる活動に敬意を表し、「せっけん運動」を通じて、ますます活動の輪が広がりますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間 町長メッセージ

吉見町長 宮崎 善雄

吉見町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東部に荒川、南西部に市野川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。この豊富な水資源は、多くの恵みをこの地にもたらし、私たちに豊かな生活と潤いを与えてくれています。

本町では、豊かな自然や水資源を未来につなげるため、2050年までに町内の二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「吉見町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。今後も地域一体となり、人と自然が共生する環境に配慮したまちづくりに取り組んでまいります。

「せっけん運動」を通じて、水質保全活動に取り組まれている貴会に心から敬意を表しますとともに、今後、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

寄居町長 峯岸 克明

鮎が踊る『荒川』、清らかな『風布川（ふうつぶがわ）』、神秘の名水といわれる『日本水（やまとみず）』、そして、関東一の水祭りといわれる『寄居玉淀水天宮祭』。『水』の話を抜きに寄居町を語ることはできません。

現在、町では、第6次総合振興計画基本構想の将来像『可能性∞（むげんだい）笑顔満タン よりいまち』の実現に向けて、さまざまな事業に取り組んでいます。町の宝である美しい水と緑を保全し、この環境を後世に受け継ぐとともに、恵まれた自然と、活力となる産業が共生する町を目指しています。

貴会の長年にわたる取組は水環境を守る有意義なものであり、心から敬意を表しますとともに、今後のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」

嵐山町長 佐久間 孝光

本町は、埼玉県ほぼ中央部に位置し、美しい緑と清流に囲まれ、国蝶オオムラサキが生息する自然豊かな町です。都心から約1時間、アクセスも良く、「蝶の里らんざん」として多くの方に親しまれています。当町ではこの環境を守るため、生活排水処理基本計画に基づき、平成元年より流域関連公共下水道、そして平成24年より県内唯一のPFI方式による、町管理型浄化槽整備推進事業を進めています。また、今年度はゼロカーボンシティ実現に向け、嵐山町環境基本計画の見直しを進めているところです。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに敬意を表しますとともに、活動の輪が広がりますことをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

和光市長 柴崎 光子

和光市は、埼玉県の南端にあり、東京都に隣接しながらも、荒川沿いの農地、斜面林や湧き水など豊かな自然に恵まれた土地です。また、鉄道3路線が乗り入れる和光市駅や東京外環道の2つのインターチェンジを擁する、利便性の高い住宅都市として発展を続けています。

当市では、「第3次和光市環境基本計画」を策定し、市民との協働による自然環境保全活動や地球温暖化対策実行計画を推進する等、様々な環境施策を実施しています。

また、市とNPO法人が協働し作成しました「和光市自然環境マップ」は、市内散策や環境学習に利用されています。

貴会の長年にわたる活動により、多くの方が環境への意識を高め、より良い水環境を将来世代に残していくことに繋がりますよう、ご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

蕨市長 頼高 英雄

蕨市では、日本一小さく、コミュニティが豊かな特性を活かし、市民の皆様とともに、ふるさと蕨の住みよい環境づくりと環境にやさしい社会の実現に向けた取り組みを進めています。

今年度よりスタートした第3次となる蕨市環境基本計画のもと、SDGsの目標でもある「安全な水」を守る活動に力を注ぎながら、地球温暖化対策や脱炭素社会の実現に向けた取り組みを意欲的に進め、日本一のエコシティ蕨の実現を目指しているところです。

「せっけん運動」は、一人ひとりが環境問題について考える契機になるとともに、水環境保全のために日常で取り組める有意義なものです。この活動の輪がますます広がりますことを心からご祈念申し上げます。

● 千葉県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

千葉県知事 熊谷 俊人

千葉県は、美しい海岸線、緑豊かな房総丘陵、様々な生物が生息・生育する里山や里海など、豊かな自然環境に恵まれており、将来世代がこの恵みを享受できるようにしていくことは、私たちの重要な責務です。

河川・湖沼・海域は、県民の憩いの場や漁場として県民に豊かな恵みをもたらしており、多様な生物が生息・生育できる水環境の保全が必要です。

このため、千葉県では、印旛沼及び手賀沼の第8期湖沼水質保全計画や東京湾の第9次総量削減計画を策定し、生活排水対策や事業場排水対策などの取組を総合的に推進しています。

「せっけん運動」を通じて水環境を守ろうとする皆様の活動が充実したものになりますよう、心からお祈り申し上げます。

2023 年度「シャボン玉月間」によせて

我孫子市長 星野 順一郎

我孫子市は、手賀沼と利根川の水系に抱かれた水と緑の自然豊かな住宅都市として発展してきました。

市ではこれまで、市民の健康や良好な水環境を守るため、石けんの利用を推進してきました。家庭や学校、事業所などから排出される廃食油を回収し、NPO団体が石けんにリサイクルする資源循環に取り組み、学校や保育園での食器洗浄等に石けんを使用しています。イベントなどで石けんの使い方や環境との関わりについての啓発にも努めています。

市のシンボルである手賀沼を守り、きれいな水と豊かな自然環境を将来に継承していくために、環境に負荷を与えない暮らしを推進してまいります。

市といたしましても、令和5年度から12年間の環境基本計画を策定し、社会情勢の変化に伴う新たな目標や課題に対応するため、引き続き市民・事業者・市が連携して環境保全への取り組みが必要と考えますので、市政へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

市川市長 田中 甲

市川市は、江戸川をはじめとした水辺や多くの緑地など、自然環境に恵まれた文教都市として発展してまいりました。この貴重な自然環境をいつまでも大切に守っていかなければならないと考えております。

本市では、令和5年3月に策定した第四次市川市生活排水対策推進計画に基づき、市民との協働のもと、生活排水対策を進め、良好な水環境の確保に努めています。

また、豊かな地球環境、そして市民の安心安全な暮らしや健康等を守るため、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを積極的に推進しております。

貴会の長きにわたる活動に対し、深く敬意を表しますとともに、今後、活動の輪がより一層広まることを心より願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

市原市長 小出 譲治

市原市は、千葉県の中央に位置し、養老川や豊かな里山が広がり、臨海部には国内有数のコンビナートを擁する自然と産業が調和したまちとして、今年、市制施行60周年を迎えました。

「SDGs 未来都市」に選定されている本市では、公民連携によるサーキュラーエコノミーの市原モデルを実現し、「SDGsのシンボルとなるまち」を目指し、環境と経済の調和を図り、経済の持続的発展と、人々の幸せを未来へつなぐ取組を進めてまいります。

結びに、「石けん運動」を通じた水環境を守り育む貴会の活動が一層充実したものになりますよう、心から御祈念申し上げます。

『シャボン玉月間』によせて

印西市長 板倉 正直

印西市は、利根川・印旛沼・手賀沼などの水辺や斜面林・谷津で構成される里山、そこで育まれた多様な生態系など、自然環境が豊かな地域であるとともに、都市機能が計画的に整備された千葉ニュータウンを有し、自然環境と都市環境が調和したまちです。

市では、令和4年度よりスタートした第3次印西市環境基本計画における将来環境像「みんなでつくる自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち」の実現に向けて各種環境施策を推進しており、水環境の保全においては、高度処理型合併処理浄化槽の普及促進や市民参加による印旛沼・手賀沼周辺の水辺の清掃活動などに取り組んでおります。

今後も、豊かな自然環境を保全していくため、市民・事業者・行政の三者協働により、自然と暮らしが調和した社会の構築を目指してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境の保全活動に心から敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

2023 年度「シャボン玉月間」によせて

浦安市長 内田 悦嗣

本市では新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、令和3年12月に「手洗い条例」を制定し、正しい手洗いの知識を身に付け実践することを通じて感染症予防を推進しているところです。

また、三方を海と川に囲まれた本市にとって、水辺は貴重な自然資源であり、市民の大きな財産です。その水質を保全するには、本市だけの対策にとどまらず、広域な連携が重要であると考えています。

こうした状況において、人体及び環境にやさしいせっけんを使うことを推進する貴会の「せっけん運動」は、日本全国で行われている取組であり、大変意義深い活動と捉えております。

貴会の活動に敬意を表し、今後も活動の輪が広がりますことを心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

御宿町長 石田 義廣

当町においては、公共下水道施設が整備されていない現状にあり、公共用水域の水質改善については重要なテーマと位置付けています。

そのような中、水質の保全管理の基本方針として、合併処理浄化槽の設置促進や既設浄化槽の維持管理の徹底など、千葉県や各関係機関のご協力をいただきながら、事業を進めているところです。

水質環境の保全是、第一次産業をはじめ観光産業などあらゆる産業の振興発展の源であります。水質改善の手段については、研究検討を深め町民の皆様のご協力をいただきながら一丸となって進めてまいります。

廃食用油の回収や“せっけん”の使用普及について皆様とともに運動を展開していきたいと考えています。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

柏市長 太田 和美

柏市は、都心から近距離であるという立地特性から、都心近郊のベッドタウンとして柏駅周辺や柏の葉キャンパス駅周辺の開発が進むなど、生活拠点として地位を確立してまいりました。

一方で、都心に一番近い天然湖沼である手賀沼を中心に自然の豊かさや優しさを感じる場所が多数あり、人々の憩いの場としても人々に親しまれております。

しかしながら、手賀沼は以前から生活排水などによる水質悪化が問題となっており、各関係機関と水質浄化対策に取り組んでいるのが現状であります。

本市としては、このような貴重な水辺を次世代に引き継ぐためにも、引き続き、関係機関や団体などと連携・協働し、市民の意識向上と環境保全のための取り組みに努めてまいります。

最後になりますが、貴会の長年にわたる活動に敬意を表すとともに、今後ますますご発展されますことを心から御祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

勝浦市長 照川 由美子

勝浦市は、千葉県の南東部に位置し、海域公園と海岸部は南房総国定公園に指定され、海水浴場百選、日本の水浴場 88 選、日本の渚百選に選定されている守谷海水浴場などがあり、今年は、国内では 7 例目、県内では 2 例目となるビーチの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した興津海水浴場があります。

また、太平洋を流れる黒潮の恩恵から、年間を通し温暖な気候に恵まれ、移住・定住を進めておりますが、水環境の維持保全は、観光業をはじめ、漁業・農業などの産業振興の基盤となるものです。

貴会の活動が、多くの方々の環境意識を高め、貴重な水環境の維持保全につながることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

鎌ケ谷市長 芝田 裕美

鎌ケ谷市は、千葉県の北西部に位置し、丘陵の起伏をもつ北総台地に広がる総面積 21.08 平方キロメートル、人口は令和 5 年 4 月 1 日現在で、109,464 人（住民基本台帳人口）の都市です。

本市の河川は、手賀沼に注ぐもの（手賀沼流域）、印旛沼に注ぐもの（印旛沼流域）、東京湾に注ぐもの（真間川流域、海老川流域）とそれぞれの水源をなしており、水質浄化対策は大変重要なものとなっております。

このため、市では家庭雑排水処理施設による水質浄化、公共用水域の水質調査を実施し、引き続き水環境の保全に努めてまいります。

最後になりますが、貴会の環境保全に対する取り組みに敬意を表するとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

木更津市長 渡辺 芳邦

木更津市は、東京湾アクアラインを通じて都心に近接しながら、東京湾唯一かつ国内最大級の自然干潟もあり、里山・里海に囲まれた自然豊かなまちです。

2016年に施行した「オーガニックなまちづくり条例」の一環として、環境省の「つなげよう、支えよう、森里川海」プロジェクトに賛同し、「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」、「一人一人が森里川海の恵を支える社会を創ること」を目指しています。

貴会のプロジェクト活動に対し、心から敬意を表しますとともに、「せっけん運動」を通じて水環境を守る活動が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

栄町長 橋本 浩

栄町は、利根川・印旛沼・長門川・将監川に囲まれた水辺豊かな自然環境に恵まれたまちです。

町では公共下水道の適正な管理や合併処理浄化槽の普及・促進に努め、生活雑排水の浄化を図り、公共水域の水質汚濁防止に努めています。

人間が生きていく上で最も重要な「きれいな水」を次世代の子どもたちに引き継いでいくために、行政のみならず、地域住民・事業者等と同じ意識のもとに、協力しながら水環境を守る取り組みを推進する必要がある、今後とも引き続き公共水域の水質汚濁防止、水質改善に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

結びに、貴会の日頃の活動に対し深く敬意を表しますとともに、今後益々、「せっけん運動」の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

佐倉市長 西田 三十五

私たちのまち佐倉は、印旛沼や谷津、樹林地など、豊かな恵みをもたらす自然を享受しながら、都市と農村が共存する緑豊かな田園都市として発展してきました。

本市では、この豊かな恵みをもたらす自然環境を保全するための取り組みのひとつとして、印旛沼の水質汚濁の改善につなげるため、印旛沼周辺の清掃活動などを行っております。

今後も引き続き、水環境の改善に向けた取り組みと併せて「持続可能なまち・佐倉」を目指して、「ゼロカーボンシティ宣言」による脱炭素社会の実現に向け『オール佐倉』で取り組みを推進してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表するとともに、今後のご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

山武市長 松下 浩明

山武市は千葉県の東部に位置し、日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央にあり、砂浜と松林が連なる海岸部、田園風景が広がる平野部、サンプスギが生い茂る丘陵部により構成され、良好な自然景観を形成しています。

本市では、これからのまちづくりを進めるに当たり、「豊かな自然環境を活かしたまちづくり」を基本構想の一つの柱に据え、自然環境にやさしいまちの実現に向けて、環境負荷の少ない生活の実践を目指しています。

水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直す活動に取り組まれている貴会に敬意を表するとともに、今後の更なるご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

白井市長 笠井 喜久雄

白井市は、千葉県北西部の首都近郊に位置しながら、樹林地や谷津、里山等の豊かな自然環境があり、神崎川、下手賀沼等の水環境も豊かなまちでもあります。

水環境を含む自然環境の保全は、動植物の生息のみならず、良好な景観形成、水循環等多面的な機能を有していることから、行政としても重要な責務であると考えております。

令和4年3月に策定した白井市第3次環境基本計画に掲げた環境の将来像である「良好な環境を未来につなぐ 持続可能なまち」を目指し、引き続き市民・事業者・行政が一体となって取り組みます。

貴会の長年の水環境を保全する活動に敬意を申し上げますとともに、益々活動の輪が広まるよう御祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩

袖ヶ浦市は、工業地域と田園風景が広がる、産業と自然が交わった豊かなまちです。

本市では、令和2年3月に「第2次袖ヶ浦市環境基本計画」を策定し、目指す環境像である「みんなでつくる 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち そでがうら」を実現するため、水質保全の取り組みについては、市民生活の中で生じる環境への負荷を軽減するべく、廃食用油や食べ残しの直接排水、洗濯洗剤の過剰使用による影響等について普及啓発を行っているところです。

貴会が長年にわたり行っている「せっけん運動」は、水環境の保全において意義深いものであり、今後も活動の輪が、ますます広がることを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

千葉市長 神谷 俊一

千葉市は、特別史跡の加曽利貝塚に代表されるように、縄文の古来より水辺と深く関わりながら生活が営まれてきた地域であり、現在では首都圏の一翼を担う都市機能と、多様な生態系を有する谷津田や日本最長の人工海浜など豊かな緑と水辺の環境を併せ持つ立地条件の良さを活かしたまちづくりを進めています。

この豊かな水環境と生物多様性を守り育むため、令和5年3月に「千葉市水環境・生物多様性保全計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

貴会の活動は、水環境だけでなく生物多様性保全の観点からも有意義なものであり、長年の活動に心から感謝申し上げますとともに、この取組みが今後さらに広がり、発展されることを祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

流山市長 井崎 義治

流山市は千葉県の北西部に位置し、昭和42年1月に千葉県で20番目の市として誕生し、今年4月には、人口が21万人を超える都市となりました。

この間、江戸川や利根運河、坂川といった河川に恵まれた水辺環境と緑豊かな住宅都市として発展してきました。近年は、都市のイメージを「都心から一番近い森のまち」として、水辺と緑豊かな住環境を維持しながら「住みたい、住み続けたい」街づくりをこれからも進めてまいります。

貴会の「せっけん運動ネットワーク」の地域環境保全に向けた積極的な活動に敬意を表します。

また、日頃からの取組に心から感謝を申し上げますとともに、貴会のますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

成田市長 小泉 一成

緑豊かな成田市は、古くから印旛沼や利根川などから水の恩恵を受けてまいりました。

現在当市では「環境基本計画」の中間見直しを進めております。将来環境像として掲げている「地球にやさしい環境交流都市」を目指し、見直し後の計画に沿って、引き続き市民・事業者・行政との協働で、水環境をはじめとする様々な環境保全施策に取り組んでまいります。

貴会が身近な生活排水対策であるせっけん運動を通して、水環境の保全に取り組み続けてこられましたことに敬意を表しますとともに、今後益々、活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

野田市長 鈴木 有

野田市は、千葉県の北西部に位置し、東を利根川、西を江戸川、南を利根運河が流れる三方を河川に囲まれた、水と緑にあふれる自然豊かなまちです。

当市では本年4月1日に「夢のある住みよいまち」「元気で明るい家庭を築けるまち」を目指し「健康スポーツ文化都市」を宣言しました。

また、コウノトリをシンボルとした人もコウノトリも暮らしやすい「自然と共生する地域づくり」も進めるとともに、今後も、江戸川クリーン大作戦をはじめとした、市民の皆さまとの共同による取組により、豊かな水環境をつないでいきます。

最後に、貴会の長年にわたる水質保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

船橋市長 松戸 徹

船橋市は、64万人が賑わう都市のなかに東京湾三番瀬や海老川、谷津田などの自然が織り成しています。

本市では、令和4年3月に生物多様性の保全と持続可能な利用を目指し「生物多様性ふなばし戦略」を改定したほか、同年7月には、市域からの温室効果ガス排出量を2030年度までに46%削減することを目指し「船橋市地球温暖化対策実行計画」を見直しました。また、日本大学生産工学部と連携し、海洋プラスチックごみの調査や対策の検討を続けるなど、未来を見据え都市と自然環境の良好な両立・共生を目指して様々な取り組みを行っています。

豊かな自然環境を守り育て、次世代へとつなぐ貴会の長年の取組みに敬意を表するとともに、より多くの方の環境に対する意識の高揚につながることを祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

睦沢町長 田中 憲一

睦沢町は、房総半島の中央部よりわずか東南に位置し、町のほぼ中央部を瑞沢川・長楽寺川・埴生川・一宮川が緩やかに流れ、水環境に恵まれた自然豊かな町であり、この環境を生かした肥沃な農地が展開し、上総地区屈指の穀倉地帯となっています。

町では、この豊かな水環境の保全のための生活排水対策として、町事業で個人住宅に合併処理浄化槽を設置・維持管理を行う『特定地域合併処理浄化槽整備事業』を推進し、公共用水域の水質汚濁防止に努めているところです。

今後も良好な水環境を確保するため、継続的な生活排水対策を進めてまいります。

貴会の長年にわたる環境活動に敬意を表するとともに、この活動の輪がより一層広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

松戸市長 本郷谷 健次

松戸市は千葉県の北西部に位置し、また東京都と埼玉県に隣接する、人口49万人を超える首都圏の住宅都市として発展を続けております。

その一方で、一級河川である江戸川をはじめ数多くの中小河川が流れる、恵まれた自然環境が多く残るまちです。

本市では、令和4年に策定した「松戸市環境基本計画」に基づき、人と生き物が共存しているまち、健康的な日々を過ごすための環境が整ったまち、地球の環境にやさしいまちを「めざすまちの姿」と位置づけ、総合的な環境行政を推進しております。

長年にわたり貴会が取り組まれている環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動により多くの方々の水環境への関心が高まることをご期待いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

八街市長 北村 新司

八街市は、千葉県のほぼ中心に位置し、北総台地の肥沃な土壌環境を生かした農業が盛んであるとともに、多種多様な生物が生息する水辺や里山など緑豊かな自然を有しています。

本市では、この豊かな自然を次世代に引き継いでいくため、令和元年に新たに策定した「八街市循環型社会形成推進地域計画」に基づき、経年劣化した焼却施設の延命化を図ると共に、公害防止関連設備の性能向上、更には地球温暖化防止のため、温室効果ガスの排出抑制を積極的に推進しています。また、公共下水道未整備地区における公共水位域の水質保全のため、合併浄化槽の推進、特に高度処理型合併処理浄化槽の普及促進を図ってまいります。

結びに、水環境保全に長年尽力されている貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後益々の発展をご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

八千代市長 服部 友則

八千代市は、首都30キロ圏内に位置するベッドタウンとして発展してきた、人口20万人の住宅都市です。市の南北には印旛沼へ流入している新川が流れ、北部にはホテルの里や里山等の緑豊かな自然があります。

本市では、印旛沼の水質浄化や自然環境保全のため、千葉県や印旛沼流域市町村と協力し印旛沼の水質浄化の取組みに参加するとともに、高度処理型合併浄化槽への転換補助事業や河川水質調査等の水質対策をおこなっています。

豊かな自然に囲まれた環境を維持するためには、継続した水質対策による環境負荷の低減を継続する必要があります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表し、今後の益々のご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

四街道市長 鈴木 陽介

四街道市は都心からのアクセスが快適であり、自然環境に恵まれた住宅都市として発展してきました。

市域において、3本の河が印旛沼へ流入する本市では、印旛沼の水質改善を目的とした河川水質調査や生活保全及び公衆衛生の向上を目的とした単独処理浄化槽から高度処理型浄化槽への転換補助制度などの各種事業を実施しております。

より美しい自然環境を子どもたちに残すため、私たち一人ひとりが環境保全への意識を高めていくことが重要であると考えております。

貴会の活動により、多くの方々の環境保全への関心が高まることを期待しております。

東京都

シャボン玉月間によせて

昭島市長 臼井 伸介

昭島市は、北に玉川上水、南には多摩川が流れ、豊かな水と緑に恵まれたまちで、東京都内で唯一、深層地下水100%の水道水を飲むことができます。

本市は、「環境との共生」を普遍のまちづくりの理念として、また、「気候危機を乗り越え、美しい水と緑を将来の世代に」を望ましい環境像としてそれぞれ掲げ、持続可能な社会の実現を目指し、地球環境に最大限配慮したまちづくりを進めております。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」を合言葉に、それぞれの地域で自然環境の輪が広がっていくことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

あきる野市長 中嶋 博幸

あきる野市は、季節ごとに景色を変える山々を有し、秋川渓谷が美しい自然を楽しませてくれる、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

全国区で行われている「清流めぐり利き鮎会」では、昨年度、秋川の鮎が3度目の準グランプリを獲得しました。

本市では、豊かな自然や清流の保持、生物多様性の保全のため、「第2次あきる野市総合計画」において、「豊かな自然と調和したまち」をテーマとして各種施策を展開するとともに、地域の協力のもと、清流や生態系の更なる保全に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、次世代への豊かな自然の継承に繋がりますよう、心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

足立区長 近藤 やよい

四方を川に囲まれた水と緑が豊かなまち、足立区。この恵まれた自然環境は私たちの暮らしを彩る貴重な財産です。そして、こうした財産を次の世代へと受け継いでいくため「水辺生きもの調査隊」や「荒川ボートクルーズ」など、子ども達が区内の自然の豊かさや生き物に親しんでもらう取り組みも好評のうちに実施しています。

そんな足立区も過去には綾瀬川の水質が全国ワースト1という影がさしていたこともありましたが、しかし区民の方々と流域自治体と連携して国や東京都、埼玉県への浄化施設の設置等を働きかける共に、区民一人ひとりが水質改善のために行動し続けた結果、現在の綾瀬川の水質は魚が住めるまでに改善されています。

継続は力なり。長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますと共に、石けん運動のさらなる発展をお祈りいたします。

シャボン玉月間によせて

荒川区長 西川 太一郎

荒川区では、区境を流れる隅田川の水質浄化に向けて様々な啓発活動を行ってきました。また区内には、日本で最初の近代的な下水処理施設である「三河島水再生センター」があり、生活環境と自然との調和を図る取組も進められてきました。

安全な水の確保はSDGsにも掲げられた世界共通の目標となっています。

現在当区においても、この目標の達成に寄与するため、区民が川や水、水源となる森の大切さを学ぶ機会を設け、交流都市等とも連携を図りながら、その拡充に取り組んでいます。

貴会の活動がますます発展し、これらの区の実践やせっけん運動等を通じて今後も水環境が持続的に守られていくことを御期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

板橋区長 坂本 健

板橋区は東京23区の北西部に位置し、人口約57万人を擁する生活都市です。

新型コロナウイルスも終息に向かい、対面による環境フェア等も再開し活気が戻ってきました。

2022年度は、いたばし環境アクションポイント事業などが評価され、内閣府のSDGs未来都市に選定されました。また、DX戦略では、手続きのペーパーレス・オンライン化やデジタル地域通貨のいたばしPayの普及促進などCO₂削減を推進しました。これらを発展させ、人と緑を未来へつなぐスマートシティへの取り組みをさらに進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に対し敬意を表しますとともに、取り組みの輪がますます広がりますことを祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

稲城市長 高橋 勝浩

稲城市は、多摩川の清流や300年以上の歴史を誇る大丸用水の水辺と多摩丘陵の緑に囲まれた豊かな自然を魅力とするまちです。

春は三沢川の桜、夏は上谷戸親水公園のホタルに大丸用水のあじさい、秋には特産品である梨・ぶどうの実りの季節を迎え、市内では一年を通して自然に親しみ、そして、生物多様性の恩恵を受けています。

市では、暮らしに潤いとやすらぎを与えてくれる、この豊かな環境を守り育て、将来へと引き継いでいくために、毎年、多摩川や三沢川沿い等、市内の清掃活動を市民の皆さんと行っております。今後も、市民と行政が協力し、やすらぎのあるまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が今後も大きく広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

2023 年「せっけん運動」に寄せて

江戸川区長 斉藤 猛

本区ではかつて高度経済成長とともに都市公害が問題となった時代がありましたが、環境をよくする運動など区民の皆さんと区が一体となって取組み、水とみどり豊かで快適な環境を取り戻してまいりました。こうした活動が実を結び 2018 年に葛西海浜公園が「ラムサール条約湿地」に登録され今年で 5 年目を迎え、世界に誇るべき豊かな自然環境と評価されています。今後とも、SDGs の理念のもと区民の皆さんと一丸となって、次の世代に大切な「水環境」を守ってまいります。

長年にわたる貴会の取組みに心から敬意を表するとともに「せっけん運動」の活動の輪が広がり、ますます発展されますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

青梅市長 浜中 啓一

青梅市は、市の総面積の約 6 割が森林です。この一部の森林を水源とする風光明媚な御岳渓谷を有する多摩川が、市の中央部に流れています。

また、北部には荒川水系の支流も多くあり、毎年、親子参加の親水事業を多摩川、霞川で実施しています。

市では、令和 5 年度から、次期環境基本計画等の策定を進めており、恵まれた自然環境を未来に引き継ぐため、河川の水質保全を始めとした施策も推進しています。

昨今、コロナ禍における手洗いが励行され、環境にやさしい「せっけん運動」の機運が更に醸成されると確信しております。

貴会の長きにわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後も、この活動の輪が一層広がりますよう心より御祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

大田区長 鈴木 晶雅

大田区には、多摩川・呑川といった河川や洗足池・六郷用水・東京湾などの豊かな水辺があり、絶滅が危惧されているトビハゼやコアジサシといった貴重な生物が生息する空間となっています。

今年度、大田区は「SDGs 未来都市」に選定されるとともに、その中でも特に優れた先導的な取組を行う「自治体 SDGs モデル事業」にも選定されました。

2030 年のあるべき姿の実現に向け、17 ゴール達成のための取組を着実に推進し、環境と産業が調和した持続可能なまちの実現に向けて取り組んで参ります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

葛飾区長 青木 克徳

葛飾区では、区の特性である河川や緑豊かな環境を活かしながら美しい都市環境を創造するとともに、地球温暖化やそれに伴う気候変動に対応し、環境負荷の少ない、自然にやさしいまちをつくるため取組を進めています。

今年は、新潟県五泉市及び秋田県鹿角市と「森林整備の実施に関する協定」を締結しました。両市の森林整備に区が協力することで、二酸化炭素の吸収や水の浄化など森林が持つ機能の発揮につなげ、また、これまで培った両市とのパートナーシップの一層の強化につなげていきます。

皆さんの運動と同様、私も引き続き、「きれいな水」に囲まれた葛飾の自然を守る取組を進めていきますので、今年も一緒に頑張ってまいりましょう！

シャボン玉月間によせて

北区長 山田 加奈子

北区には、由緒ある桜の名所の飛鳥山や、荒川をはじめとした4つの河川の水辺、子どもたちが元気に遊べる公園など、緑豊かなやすらぎの空間が多くあります。

区では、地球環境をめぐる社会情勢の大きな変化が生じているこの機を捉え、2022年度末に「北区環境基本計画2023」を策定し、持続可能な環境共創都市の実現を目指すことといたしました。これまでに引き続き「北区環境基本計画2023」のもと、豊かで質の高い緑・水辺の保全に向けて、取り組んでまいります。

貴団体における長年にわたる活動に対しましては、深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がっていくことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

清瀬市長 澁谷 桂司

清瀬市は、都心へのアクセスが約20分と高い交通利便性を持ちつつも、実り豊かに広がる農地、季節毎に魅了する美しい木々、そして柳瀬川と空堀川が流れる、自然豊かな温かい都市です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止していた、広大な農地を利用したひまわりフェスティバル、また、環境川まつりの開催を予定しております。このような催事を開催できるのは、市内一斉清掃を始めとする環境保護活動を市民の皆さんが中心となって日頃から実践し、豊かな自然環境が保たれているためです。「せっけん運動」は、自然保全を大切にする当市にとっても大変意義深いことであります。

結びに、貴会のますますのご発展と、活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

国立市長 永見 理夫

国立市には、多摩川から崖線樹林地にかけて、古くからの自然に近い環境が田畑や用水路とともにあり、後世に伝えるべき貴重な原風景として身近に残されています。また、「ママ下湧水群」、「常磐の清水」など、美しい透明度を誇る湧水群が、豊かな水環境を市民に提供しています。

市では、こういった水環境の保全に向けて、雨水のかん養や水質の向上等の総合的な水環境保全施策を行っているほか、国立市役所で洗剤を使用する際は、水生生物や河川環境に及ぼす影響を考慮し、合成洗剤ではなく石鹸の使用を推奨しております。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪が今後も大きく広がることをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

江東区長 木村 弥生

隅田川と荒川、東京湾に面する江東区は、「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」を目標とする環境基本計画の中で、環境保全に係る様々な施策を実施しております。

また、「ゼロカーボンシティ江東区」を表明し、再生可能エネルギーへの転換や区の特色を活かした木材利用の促進など、環境先進都市として、すべての区民や事業者と一丸となって、2050年までに区内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする取り組みを全力で推進してまいります。

貴会におかれましても、長年にわたる「せっけん運動」を通して地球にやさしい水環境の保全に貢献されており、これまでの活動に敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」

小金井市長 白井 亨

小金井市の地名の由来は、「黄金に値する豊富な水が出る」ことから、黄金井（こがねい）が小金井になったとも言われています。野川や国分寺崖線沿いの湧水は、市内に多く残る農地や屋敷林、広大な小金井公園や公共緑地などの豊かな自然環境とともに、世界でも有数の設置率を誇る雨水浸透施設により保全されており、これらのすばらしい住環境を将来世代に引き継ぐことが、私どもの使命と考えております。

「せっけん運動」は、誰もが気軽に取り組むことができる環境保全活動です。この様な活動に長年にわたり取組まれる貴会に敬意を表しますとともに、この運動の輪が、ますます広がっていくことを期待しております。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

国分寺市長 井澤 邦夫

国分寺市は、国分寺崖線に代表する緑やお鷹の道・真姿の池水群等の武蔵野の面影が残る緑豊かな住宅都市です。

本市では、豊かな環境を未来の子どもたちに引き継ぐため、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を表明し、脱炭素社会に向けて地球温暖化防止行動計画（市域版）の策定に取り組んでいます。

また、環境配慮の取組の一つとして、公共施設での合成洗剤の使用を控え、純石けんの使用を推進しています。今後も市民及び事業者の皆様と連携しながら、環境施策の推進に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後一層の活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小平市長 小林 洋子

小平市には、玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道を軸とし、緑に囲まれた「小平グリーンロード」があり、市民の憩いの場としてたいへん親しまれております。

この多様で豊かな自然環境を将来に繋いでいくため、本市では令和4年2月に、2050年二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

ゼロカーボンシティの実現を目指して、環境をめぐる社会情勢の大きな変化の中で、私たち一人ひとりが改めて環境との関わりを見直し、環境に配慮した行動へと変容するため、新たな小平市民版環境配慮指針を作成し、市民・事業者と協力・連携しながら、取組を進めてまいります。

最後に、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も更なるご活躍とご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

狛江市市長 松原 俊雄

狛江市は、比較的都心にアクセスしやすい「住宅都市」でありながら、多摩川や野川などの豊かな自然環境を有しています。

これらの自然環境を活かし、守るために、市の将来都市像として「ともに創る文化育むまち～水と緑の狛江～」を掲げるとともに、深刻さを増す気候変動への対策として、2021年4月に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに取り組む「狛江市ゼロカーボンシティ」宣言を行うなど、環境保全を市政における重要課題と捉え、その推進に市民や事業者とともに取り組んでいます。

市の環境保全を図る上では、良好な水環境の維持改善も大切な課題です。良好な環境を次世代

に残し、持続的な社会構築に貢献するため、今後とも水環境を含めた環境保全の取組を進め、自然豊かでいつまでも愛されるまちを目指してまいります。

結びに、長年にわたる貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍とご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

品川区長 森澤 恭子

品川区では、令和5年6月に2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティしながわ宣言」を行い、脱炭素社会の実現や、自然環境の保全等の取り組みを推進しています。

ゼロカーボンシティの実現を目指すうえでも、水環境の保全は重要な取り組みのひとつで、せっけんの使用は水環境を次世代に引き継ぐため、誰もが取り組める身近な行動のひとつです。一人ひとりが環境との関わりを見直し、環境に配慮した行動となるよう、区民・事業者と協力しながら、取り組みを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますようご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

渋谷区長 長谷部 健

渋谷区では、温室効果ガスを削減し、持続可能な社会を実現するため、令和5年4月に「渋谷区環境基本計画2023」を策定しました。本区の「みどり・生きもの」の分野では、緑道、渋谷川等のみどりを管理し、区民等と協力して、身近な樹木、樹林地の保全や小さな緑地の管理等を進め、水辺と緑地で形成される景観を活かした「緑と水のネットワーク」を創出することとしています。

本区は、みどりの創出、保全等を進めるとともに、公園内の池の水質を改善するなど生息する生きものの保全を図り、「質の高いみどり」を育成していきます。

結びに、貴会の長年のご活動に敬意を表しますとともに、今後の皆様の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

新宿区長 吉住 健一

皆様の、長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表します。

本区では、令和5年2月に改定した「新宿区第三次環境基本計画」において、「水やみどりに親しめる環境づくり」を目標の一つに掲げており、引き続き、神田川親水テラスの一般開放をはじめ、区内の貴重な水辺を活用した取組を通じて、水環境保全に関する普及啓発をより一層推進していきます。

23区における河川や水辺空間は、人々にうるおいとやすらぎをもたらす、かけがえのない財産です。

こうした水環境を守り育むためにも、皆様方の「せっけん運動」を通じた水環境保全の活動が23区をはじめ社会全体においてますます発展し、次世代へ続いていくことをご期待申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

杉並区長 岸本 聡子

杉並区では「気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち」を区の将来像の一つとして掲げ、環境基本計画や令和5年4月に策定した地球温暖化対策実行計画等に基づき、自然環境の保全や「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めています。

なかでも、区内を流れる神田川、善福寺川、妙正寺川の水辺環境の保全に関する取組として、自然環境及び河川生物の実態調査、水辺等生き物の生息場所の保全、生物多様性の観点からの水辺環境の再生・創出、水質汚濁防止対策などに取り組んでいます。

長年にわたる貴会の水環境保全の取組に敬意を表するとともに、今後も更なるご活躍とご発展を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

墨田区長 山本 亨

墨田区は、隅田川や荒川などの豊かな水辺に恵まれた環境にあり、“水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる”まちづくりを進めています。

「第二次すみだ環境の共創プラン」では、将来像を“みんなで作る環境にやさしい持続可能な「すみだ」”と位置付けて、“水と緑が暮らしに寄り添うまち”を目標の一つに掲げています。その達成に向けた取組みとして、すみだと世界の水循環の大切さについて考える体験型学習「水の循環講座」を実施するなど、普及啓発に努めています。

かけがえのない地球を子どもたちに引き継いでいくため、貴会の水環境保全活動の輪が一層広がり、発展していくことを心より御期待申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

世田谷区長 保坂 展人

世田谷区は、多摩川をはじめ野川や仙川など大小の河川が流れ、また、樹林や湧水の豊かな自然環境が残る国分寺崖線や東京23区唯一の等々力渓谷が存在している水や緑が多い住宅都市です。

本区では、河川の水質や水生生物の調査を実施し、水質汚濁の状況や河川環境の実態を把握することで水環境の保全に努めています。子どもたちが水辺で楽しく遊び学べる環境を未来に向けて守っていくためには、一人ひとりが考えて行動することが大切です。

皆様が長年取り組まれている水環境の保全をはじめとした様々な活動に敬意を表しますとともに、今後もせっけんを広げる活動が広がり一人でも多くの方の意識が高まり活動の輪が広がっていくことを祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて～さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ～

台東区長 服部 征夫

台東区は伝統行事や名所旧跡が数多く残り、まちや暮らしの中に江戸の文化が息づいています。隣接する隅田川は江戸時代より水運の大動脈として活用されるときともに、花火大会の開催など、江戸の人々に親しまれてきました。

現在の隅田川は、「隅田川テラス」として、遊歩道や植栽を備えた親水空間、カフェやアート作品が設置されるなど、多くの方の憩い場として親しまれています。

台東区では貴重な水辺空間を未来に継承していくため、水辺に親しめるイベントや水質調査を通じて、水辺環境の向上と水質浄化に対する意識啓発に取り組んでいます。

結びに、貴会の長年の取組に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

立川市長 清水 庄平

立川市は、多摩川の清流と玉川上水の分水によって開拓された農地、武蔵野の雑木林など豊かな自然に恵まれています。この自然を次の世代に引き継いでいくためには皆さん一人ひとりの取組はもちろん、地域、事業者等との連携・協働した取組の推進が欠かせません。

立川市第2次環境基本計画では、目指すべき環境像を「人と自然を育み 住みやすさを創るまち」と定めています。「人」と「自然」が互いに良い影響を与えながら成長し、「住みやすさ」を市民や事業者、市が一体となって、英知を出し合い創る「まち」を目指します。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表すとともに、今後ますます発展されることを心よりご期待申し上げます。

「2023シャボン玉月間」によせて

多摩市長 阿部 裕行

多摩市では、令和2年6月に多摩市議会と共同で気候非常事態宣言を行い、今年で丸3年が経ちました。

2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを実現するためには、私たち一人ひとりが気候の問題を自分事として捉えて、できるところから環境配慮行動に切り替えていくことが大切と考えています。

そこで本市では、昨年度から、多摩清掃工場の発電余剰電力を活用した「電力地産地消事業」を始め、市が直接管理する公共施設で使用する電力は、全て二酸化炭素排出実質ゼロのものに切り替えました。

また、ペットボトルをはじめとする使い捨てプラスチックごみの削減等に向けて、市内公共施設にマイボトル用給水機を設置する取組も開始しました。

このほかにも、昨年12月に第1回目の「TAMAサステナブル・アワード」を開催し、地域や学校、企業などですでに実践されている「環境にやさしい取り組み」について表彰し、広く市民に周知する取組も始めました。

今年度はさらに、無作為抽出で選ばれた市民による、気候市民会議を5月より5回シリーズで開催し、高校生はじめ若い皆さんの積極的な提案が会議をリードしています。

このように、脱炭素社会の実現や地球環境の保全のためには、資源やエネルギーの使用を削減する取組と、市民一人ひとりの行動変容を両輪で進めていくことが必要です。また、その取組は楽しみながらポジティブに継続して頂くことが重要と考えています。

今回の寄稿テーマである「せっけん」を積極的に使っていくことも、化学合成洗剤を必要以上に使わない、プラスチック容器の削減などにつながるため、日常生活で誰もが取り組める行動変容の一つになると考えます。

こうした、一つひとつの環境配慮行動を積み重ねていくことが、気候変動の問題の解決につながって行くものと考えています。

改めて、貴会の長年にわたる取り組みに敬意を表し、今後も一層の成果が得られますよう、心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

中央区長 山本 泰人

中央区では、今年3月に基本計画を改定しました。この中で政策横断的に取り組むべき施策について4つのリーディングプロジェクトに整理し、その1つに水とみどりプロジェクトを掲げたところです。

これは、水辺環境の整備や緑化の促進などにより水とみどりのネットワークを形成し、水とみどりあふれる安らぎと憩いのまちを目指す取組です。

親水性の向上を図るためには水質の改善が重要であることから、今後も環境調査を定期的を実施するとともに、関係機関と連携し広域的な取組を推進してまいります。

長年にわたる貴会のせっけん運動を通じた水環境の保全への取組に敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

調布市長 長友 貴樹

調布市は都心に近い交通至便な地域でありながら、深大寺周辺及び崖線の湧水や多摩川、野川など豊かな水と緑に恵まれたまちです。

市は、今年度からスタートした新たな基本計画において、重点プロジェクトの1つに「人と自然がおりなすうまいあるまちをつくる」ことを位置付け、良好な環境を次世代に残すため、地球温暖化対策の推進による脱炭素・循環型社会の形成や豊かな水と緑を大切に守り生かすための各種事業に取り組んでおります。

貴団体による水環境の保全活動は、持続可能な社会に繋がる重要な取組であり、長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後もその輪が更に広がりますことを心からご期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

千代田区長 樋口 高顕

千代田区は、日本の経済の中心でありながら、皇居から広がる緑のネットワークや神田川、日本橋川、外濠等の水環境を有する自然に恵まれた街です。豊かな水辺環境を活かすため、東京都と連携して閉鎖性水域である外濠のアオコ対策、玉川上水の導水整備など水質浄化に取り組んでいます。

世界では依然として生物多様性の損失が進む中、区では自然環境を維持し、ネイチャーポジティブの実現に向け、緑と水辺がつながる良質な空間をつくり、自然との共生を目指しています。

貴会の「石けん運動」を通じた水環境の保全活動は未来へ繋がるサステナブルな社会を築く重要な取り組みです。今後もこの活動の輪が益々広がり、発展されますことを祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

中野区長 酒井 直人

新型コロナウイルスの感染拡大以来、私たちは毎日こまめに手を洗い、手指や身のまわりの物を消毒・除菌するようになりました。40年以上前から「環境に優しい暮らし方」を求めて「せっけん運動」に取り組んでこられた貴会の活動に、あらためて敬意を表します。

近年注目を集めるSDGsは、私たちが地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために定められました。中野区は、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行うとともに、環境負荷の少ない持続可能な「ごみゼロ都市」を目指しています。

美しい自然環境を未来世代に受け継いでいくためにも、貴会の活動の更なる発展に期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

豊島区長 高際 みゆき

SDGs 未来都市である豊島区は、2050年に向けた温室効果ガス削減への方向性を定め、本区の環境政策をさらに加速させていくため、昨年7月に「2050としまゼロカーボン戦略」を策定しました。また、本年4月には、脱炭素社会の実現を目指し、区と事業者と区民が協働して取り組みを行わなければならないことなどを盛り込んだ改正豊島区環境基本条例が施行され、ゼロカーボンシティ実現に向け、着実に歩みを進めているところです。

本区は、人口密度が高く、緑や公園の少ない都市ですが、「グリーンとしま」再生プロジェクトや駒込発祥のソメイヨシノプロジェクトなど、都市と自然が調和したまちづくりに取り組んでおります。そして地球環境の未来を担う子どもたちに対しても、積極的に環境教育を行い、意識と行動変容につながるよう様々な取り組みを展開しています。

貴会の「せっけん運動」を通じた環境問題への意欲的な活動に敬意を表するとともに、この活動が区民の行動変容につながり、さらに大きく発展されますことを期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

西東京市長 池澤 隆史

武蔵野の景観の中に農地や屋敷林、雑木林があり、日常生活の中で自然と触れ合える良好な環境を次世代に引き継いでいくため、本市では幼少期からの環境学習に力を入れています。

市内小学生向けの副読本「西東京市の環境」を作成し、地域の緑、川や池、水辺の環境、ごみの減量やリサイクル、空気の汚染やエネルギーの問題など、いま地球で起きている環境の変化や問題を知り、ゼロカーボンシティの実現に向けて身近なことから始められる取組を学んでいます。

今後も地域の皆様とともに持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成・協働の仕組みづくりや環境施策の推進に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がりますよう心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

練馬区長 前川 耀男

練馬区は、都心近くに立地し、大都市東京の魅力を享受しながら、公園や農地、樹林地など、豊かなみどりを楽しめる住宅都市です。

脱炭素社会の実現に向け、2030年度までに区内のCO₂排出量を2013年度比46%削減することを目標とする「環境基本計画2023」を、9月に策定する予定です。また、区の財産であるみどりを未来につなぐため、みどりのネットワークの形成、みどりを育むムーブメントの輪を広げる取組を進めています。

引き続き、区民・事業者の皆様と力を合わせて、みどりの風吹くまち練馬の実現に全力を尽くしてまいります。

せっけん運動を通じた皆様の活動が、水環境を守り、練馬区のみどりの保全に繋がっていくことを期待しています。

シャボン玉月間によせて

羽村市長 橋本 弘山

羽村市は四季を通じて、清らかで美しい多摩川をはじめとする水と緑に恵まれたまちです。

市内には玉川上水や羽村の堰など、水との繋がりが深く息づいています。市では、人々が自然と触れ合うことの楽しさや自然を守ることの大切さを学ぶ機会の提供に取り組んでいます。

また、緑豊かな自然環境や貴重な水源を守るためには、水や緑などの保全が不可欠であり、これらの限られた資源を次世代に継承していくため、市民の皆さんと協力して環境保全に努めています。

一人一人が環境に配慮することで、より豊かな自然と調和した未来を築いていけると信じています。

石けん運動を通して、水環境を保全する活動をされている皆様のますますの御活躍を心から御期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

八王子市長 石森 孝志

八王子市は、緑豊かな高尾山や陣馬山から清らかに流れる浅川など、16の一級河川の源流を有し、水と緑が織りなす自然を持った魅力あふれるまちです。

本市では、この豊富にある水辺をまちづくりに活用する仕組みづくりを目指し「八王子水辺活動チャレンジ」、通称「ミズカツ」に取り組んでいます。

市民・事業者・行政が一体となり、本市の特徴を生かしたまちづくりを進めることで水と緑を守り、美しい自然環境を次世代へと引き継いでいきます。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表すとともに、「石けん運動」の輪が広がることを、心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東久留米市長 富田 竜馬

子どもたちが川遊びをする水、人々がのどを潤す水、多くの人々が癒しを求める水。水は東久留米市と切っても切れない関係にあります。

東久留米市では平成23年に「湧水・清流保全都市宣言」を行い、市民・事業者・行政が力を合わせて、まちを潤す湧水と清流の保全に取り組み、市内の清らかな河川の流れは、様々な生き物を育み、現在では東久留米市のシンボルともいえるものとなっています。

こうした知識の普及啓発に取り組んでこられた貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東村山市長 渡部 尚

東村山市は、都心からも近い里山の八国山緑地、花菖蒲や曼珠沙華といった季節の花を楽しめる北山公園、人権の森構想の実現に向けた活動が進められている国立療養所多磨全生園など、豊かな緑に恵まれたまちです。

当市では、「第3次東村山市環境基本計画」に基づき、「みんなで環境をまもり、豊かなところを未来につなぐまち」を目指すとともに、本市のあらゆる事務事業に対し、率先して地球環境の継続改善のための行動を遂行することを目的とした「エコオフィスプラン東村山」において、「環境配慮物品の購入やその他環境への配慮」を掲げるほか、庁舎内にて石けんの使用を推奨するなど、さまざまな環境施策に取り組んでいます。

結びに、長きにわたる貴会の活動に敬意を表するとともに、活動の輪が一層広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東大和市長 和地 仁美

東大和市は、北部に多摩湖を包含する緑豊かな狭山丘陵が広がり、南部には野火止用水のせせらぎがあるなど、私たちの心を潤わせてくれる水辺と多くの自然があるまちです。

当市では、「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」を将来の都市像に掲げ、自然環境を保全するための、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

そのような中、貴会の「石けん運動」は、日々の生活を通じた環境保全に資する活動として大変意義深く、会員の皆様の長年にわたる取組に対し、改めて心から敬意を表するものであります。

今後も、皆様の活動の輪が広がり、一人ひとりの環境保全に対する意識の高揚につながることを期待しております。

シャボン玉月間によせて

日野市長 大坪 冬彦

日野市は、多摩川や浅川などの豊かな水の恩恵を受け、発展してきました。清らかな水は市民にとって、なくてはならないものです。そうした中、貴会の長年にわたる活動は、日野市の環境を守ることに大きく貢献していただいております、心からの感謝を申し上げます。

日野市は都内初の「SDGs 未来都市」に選定され、持続可能な社会の実現のために様々な取り組みを始めており、また、昨年度には、「気候非常事態宣言」を発出し、強い危機意識のもとで、地球環境を守る対策に着手します。

今後も貴会との連携・協働を深め、豊かな自然環境を次世代に受け継げるように尽力してまいります。

結びに、貴会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

日の出町長 田村 みさ子

日の出町は、都心から50km圏内に位置し、町の西側に町名の由来となった日の出山がそびえ、源流として平井川が町を中心に西から東へ流れている緑豊かな自然あふれる町です。

町内には、三多摩約420万人の生活ごみの最終処分場があり、場内ではトウキョウサンショウウオや国蝶オオムラサキが生息する環境が保持されており、また年4回平井川13地点の水質検査を行い水環境の保全に最大限務めております。

今後も、水環境をはじめとする環境問題に一層取り組んでまいり所存です。

結びに、貴会の環境に優しい暮らし方を求め、身近なところから水質を改善していく「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう心から期待するとともに、ますますご活躍をお祈りいたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

檜原村長 吉本 昂二

檜原村は、東京都の西端に位置し島嶼部を除き都内唯一の村で、有史以来、分村も合併も行われたことの無い全国でも珍しい村です。

村の大部分の地域が秩父多摩甲斐国立公園に指定され、東京の奥座敷、都民の憩いの場として、清流秋川を中心とする豊かな自然が残り、四季折々の魅力的な自然風景が楽しめる村であります。これからも檜原村は、美しい自然環境を未来永劫守り続けます。

結びに、長年にわたる貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

府中市長 高野 律雄

府中市は、四季を通じて国指定天然記念物の馬場大門のケヤキ並木が、春先には浅間山に咲くムサシノキスゲが市民や来訪者の心を和ませ、夏には多摩川で子どもたちが自然の大切さや楽しさを学ぶことができる自然豊かなまちです。

本市は、今年度より、第3次環境基本計画がスタートし、目指す姿として「地域から地球へ みんなで創る 持続可能なまち 府中」を掲げ、各種保全事業や脱炭素の取組、水環境をはじめとした環境問題により一層取り組んでまいります。

貴会が長きにわたり水環境保全のため取り組んでこられた「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますようお願い申し上げます。



「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

福生市長 加藤 育男

福生市内を流れる多摩川には、かつては礫河原の象徴であったカワラノギクが生育しており、市民、研究者、河川管理者と地元自治体の福生市が連携し、季節に応じた環境の整備や生育状況の観察等を通じて、水環境の保全に取り組んでおります。

また、同じく多摩川をフィールドに活動を行う「福生水辺の楽校」では、水生生物の観察や手作りのいかだによる川下りなど、年間を通じた自然体験プログラムを計画し、水に親しむ機会を積極的に創出しております。

今後も保全と親水の両輪で、美しい多摩川を次の世代へと適切に引き継いでまいります。

結びに、石けん運動を通じて、水環境を守られている貴会の取組に敬意を表するとともに、ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

文京区長 成澤 廣修

文京区は、都心にありながら由緒ある庭園や名所・旧跡等が多くある歴史と文化と緑に育まれたまちです。

本区を流れる神田川流域には、肥後細川庭園や湯島聖堂など区民に親しまれる歴史的資源が点在し、それを取りまく一帯の緑は、風致地区として自然的景観を維持し、緑の保全を図っています。

今後とも、本区の行政計画である「文（ふみ）の京（みやこ）」総合戦略のもと、二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すなかで、さまざまな主体の連携・協働による取組が積極的に進められ、みんなが一丸となって環境を保全し、育てる街を実現させてまいります。

長年にわたる貴会の水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後の活動がより良好な環境の創出につながることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

町田市長 石阪 丈一

町田市は、東京都の南端に位置しており、そのほぼ全域が多摩丘陵に含まれます。市内を流れる境川、鶴見川、恩田川の源流を有しており、自然豊かな地域と都市部が共存しているまちです。

本市では、豊かな自然環境を保全・活用し、次世代に引き継いでいくため、環境施策を総合的に推進する計画に基づき、市民の皆様や事業者・団体の方々とともに、様々な取り組みを進めています。環境にやさしいせっけんや洗剤の使用に努めることも、その取り組みの1つになっています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、未来の子どもたちに良好な環境を残そうという活動の輪が、更に広がり、発展していくことを心よりご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三鷹市長 河村 孝

三鷹市は、野川、仙川、神田川が流れ、武蔵野の面影が残る雑木林や屋敷林、地場産野菜や果物を育む都市農地、ほたる舞う国分寺崖線など、豊かな自然に恵まれたまちです。

これら豊かな自然を貴重な財産として引き継いでいくためには、環境・経済・社会が統合的に向上する持続可能な社会を実現しなければなりません。

本市は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。脱炭素社会の実現とともに、水環境をはじめとする環境問題にも一層取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が広がり、益々ご発展されることを心よりお祈りいたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

瑞穂町長 杉浦 裕之

瑞穂町は町内に2本の河川を有し、狭山丘陵の西端に位置する水と緑に恵まれた環境にあります。町の中心部には多くの野鳥が観察される狭山池公園があり、この池を源流とした残堀川が東に流れています。今年の5月には毎年恒例の「残堀川ふれあいイベント」と「ふれあいウォーキング」が行われ、子どもから大人まで多くの参加者で賑わいました。こうした事業は町民の水環境への関心を高める良い機会となっています。

貴会が長年にわたり取り組んでいる「せっけん運動」は、一人ひとりが水環境について考えるきっかけとなる有意義なものであり、その活動に改めて敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が広がっていくことを心よりご祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

港区長 武井 雅昭

港区は、企業や商業施設など都市機能が集積し、国内外から多くの人々が訪れる活気あふれる都市である一方で、豊かな緑やお台場の海、河川、運河などの多様な水環境を有する自然豊かなまちでもあります。

多様な暮らしや経済活動が営まれる中でも、歴史ある豊かな自然を大切にしながら、誰もが安全に安心して暮らすことのできる環境負荷の少ないまちづくりを進めています。

また、地域住民・企業との協働による海浜清掃やお台場での海苔づくり体験、区内の大学と連携した運河学習など、水環境に対する区民の意識を高める取組を実施するとともに、水辺再生に努めています。

今後も皆様の活動がますます発展されることを期待しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

武蔵野市長 松下 玲子

武蔵野市では、次世代に持続可能なまちを引き継ぐため、令和3年2月に「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言し、日々変化する環境問題への取組みを進めています。

また、市民が気候変動問題の当事者としての「気づき」や「行動変容」を広げていくため、昨年7月に自治体主催初となる「気候市民会議」を開催しました。環境負荷を低減した持続可能な社会を形成するためには、良好な環境を保全するとともに、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上が必要不可欠と考えます。

貴会の長年にわたる水環境保全への取組みは、市民が環境問題へ関心を高める活動として大変意義深く、心より敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

目黒区長 青木 英二

目黒区には、桜の景勝地として有名な目黒川があり、その沿川は、四季を通して区民の憩いや潤いの場として大変親しまれております。

区では地域と地球の環境を守りはぐくむまちを目指し、本年3月に目黒区環境基本計画を改定いたしました。計画には、目黒川や区内各河川のさらなる良好な水環境の実現を位置づけ、より桜の彩にふさわしい環境となるよう、区民や事業者、学校等との連携、協働による取組を推進してまいります。

人にも環境にも優しい石けんの利用を長年推進し続けてきた「せっけん運動」は、地域と地球環境を守る姿勢の当区にとっても大変意義深い活動であると捉えております。今後も皆様の活動の輪が広がることをご期待申し上げます。

● 神奈川県

「シャボン玉月間」に寄せて

神奈川県知事 黒岩 祐治

神奈川県は、箱根や丹沢の美しい山なみ、相模川や酒匂川の清らかな流れ、人と自然が調和した里地里山、美しい湘南の海岸線など、豊かな自然に恵まれた地域です。

このような環境に囲まれて暮らす県民の皆様に向け、将来にわたり良質な水を確保するため、本県では工場の排水規制や森林整備、生活排水対策などを通じて水源環境の保全・再生を進めています。

また、近年、PFOS等の有機フッ素化合物による水質汚染への関心が高まる中、県民の皆様健康を守るため、河川や地下水の水質を監視し、適切な情報発信に努めてきました。

こうした取組や、貴会による「せっけん運動」により、良好な水環境が維持され、また水環境保全に対する意識・関心が一層高まっていくことを期待しています。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

厚木市長 山口 貴裕

厚木市は、市街地の東に相模川の清流を、西に大山をはじめとした緑豊かな丹沢山麓を望み、都会と自然が共存している都市として、先人のたゆまぬ努力により発展してまいりました。

せっけんの使用を通して水の環境を守る「せっけん運動」の理念は、「花や緑を愛し、きれいなまちをつくる」と市民憲章に謳い、「環境にやさしく、自然と共生するまち」を環境基本計画における望ましい環境像として掲げる本市の理念にも共通するものです。

この運動が、環境に対する市民の意識を高めるために有意義な活動であると認識しており、長い期間にわたって取り組まれている貴会に敬意を表します。

今後も貴会がますます発展し、この運動の輪が大きく広がることをお祈り申し上げます。

せっけん運動ネットワーク「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

伊勢原市長 高山 松太郎

伊勢原市は、秀峰大山の麓や日向溪谷などに代表される、恵まれた自然豊かなまちで、こうした自然環境は本市の貴重な資源となっています。

本市では、令和5年3月に「第3次伊勢原市環境基本計画」を新たに策定し、河川の水質維持を図るため、水質汚濁の原因となる合成洗剤の使用抑制や石けんの使用促進等の啓発を計画の取組事項として位置づけております。

引き続き、環境にやさしい石けんの普及啓発を行うとともに、本市の豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいけるよう、市民・事業者・行政が連携し、環境保全に取り組んでまいります。

貴会の長年の活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

海老名市長 内野 優

海老名市は、鉄道駅を中心とした社会基盤整備によりコンパクトなまちづくりを進めています。一方で、多面的な機能を有する農地が多く残されており、都市と田舎が共存した魅力あふれるまちです。

市では、昨年「海老名市ゼロカーボンシティ宣言」を表明するなど、脱炭素社会に向けた取り組みを加速させるとともに、緑地や水質の保全、ごみ減量化など、人と自然が調和したまちづくりを市民とともに進めているところです。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、環境負荷の軽減や市民の環境配慮意識の向上に大変有意義な活動であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後も実り多いものとなりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大井町長 小田 眞一

大井町は、丘陵部の山林や里山の豊かな緑、足柄平野に恵みをもたらす酒匂川の清流、平坦部に広がる田園風景を有する、水と緑が調和した豊かな自然環境にあります。

当町の環境基本計画では、「豊かな環境の中で生き生き暮らす カーボンニュートラルなまち おおい」を望ましい環境像と定め、5つの大きな基本目標を掲げています。これらの実現に向けて、酒匂川統一美化キャンペーンをはじめとした、町民・事業者・町が一体化した環境配慮活動が展開されるための仕組みづくりを推進しています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「誰もが気軽に参加できる」この活動の輪がますます広がることを心よりご期待申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大磯町長 池田 東一郎

大磯町は、緑豊かな高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しいなぎさなど、豊かで美しい自然があり、多くの歴史的文化遺産も有しています。

当町では、今年の3月に「大磯町環境基本計画」を改定し、「みんなでつくる 人と自然が共生した持続可能なまち 大磯」を目指すべき将来像として掲げ、次代を担う子どもたちに健やかな地球環境を引き継ぐため、町民、事業者、行政が一体となって環境負荷を減らしていくことに取組んでおります。

貴会の長年に渡る活動は、この基本計画とも方向性を同じくしており、改めて敬意を表しますとともに、貴会の活動が益々発展されますことを御祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

小田原市長 守屋 輝彦

小田原市は、神奈川県西部に位置し、森里川海がひとつとなりとなった豊かな自然環境を有しています。昨年策定した「第3次環境基本計画」では、「森里川海の恵みを未来へ継承する持続可能な環境共生都市」を望ましい環境像としています。

環境というと、我慢や義務感などネガティブな面が強調されますが、環境への行動が、私たちの生活をより豊かにすること、経済や社会の利益に繋がることが何よりも大切です。また、環境の取組においては、民間と行政が積極的に「公民連携」することも重要です。

貴会におかれましては、「せっけん使用」を入口に長年環境活動をされており、改めて敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展をご祈念いたします。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

開成町長 山神 裕

開成町は町内の至る所に水路があり、初夏にはホタルが飛び交う姿を見ることができます。また、町の北部地域では約5,000株のあじさいが咲き誇っており、6月に開催される「開成町あじさいまつり」は多くの方を楽しませております。

この恵まれた自然環境を次世代へ引き継ぐため、水路への小水力発電の設置を起点に、これまでゼロカーボンシティ表明、日本初のZEB認証による庁舎整備など、環境に配慮したまちづくりを推し進めてきました。

貴会の活動は水環境の保全活動として大変意義深いものであり、長年に渡る活動に敬意を表すとともに、更に活動の輪が広がり発展していくことを心より願っております。

シャボン玉月間によせて

川崎市長 福田 紀彦

川崎市は、多摩川や多摩丘陵等の自然環境に恵まれています。古くから産業都市として発展しましたが、市民・事業者・行政それぞれが環境改善に取り組み、多摩川にアユが遡上するまでになりました。

本市では、川崎市大気・水環境計画に基づき、今の大気や水などの環境を維持しつつ、更なる環境負荷の低減を図るため、環境配慮意識の向上や多様な主体との協働・連携、事業者の自主的取組の促進、環境影響の未然防止に向けた取組を、市民・事業者の皆様と共に進めています。

貴会の「シャボン玉月間」の取組は、身近な環境保全活動として大変有意義であり、改めて敬意を表しますとともに、貴会の活動がますます御発展されることを御期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

相模原市長 本村 賢太郎

相模原市では、「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を目指し、未来へつなぐ持続可能なまちづくりを進めております。

「都市と自然のベストミックス」を一番の魅力とする本市は、県内需要の6割以上をまかなう豊かな水源地域でもあります。神奈川県民の「水がめ」として欠かせない5つの湖や森林をはじめとする恵まれた自然を守るため、森林の保全に取り組むとともに、間伐した木材を「津久井産材」として活用するなど、森林環境の改善と資源の有効利用を図っております。

こうした取組は、貴会の目指す水環境保全活動にも大きく重なるものがあると存じます。貴会の長きにわたる活動に深く敬意を表しますとともに、先人から受け継いだ自然環境を次代に引き継げるよう、この保全活動の輪がより一層広がることを祈念申し上げます。

「石鹸使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

座間市長 佐藤 弥斗

座間市は、広大な相模原台地の南部に位置し、大地に降った雨が、良質な地下水となり、人々の生活を潤し、市内に数多くある湧水地は、水と緑の憩いの場として親しまれています。

本市は、令和4年2月に「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を目指す「座間市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

地球温暖化という課題にこれまで以上に向き合い、豊富な地下水に代表される本市のかけがいのない自然を後世に受け継ぐため、持続可能な社会の実現に向けた取組を進めてまいりますので、引き続き、御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の日頃からの環境保全活動に敬意を表しますと共に、さらなる御発展を祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

茅ヶ崎市長 佐藤 光

茅ヶ崎市は、北に緑豊かな風景が広がり、南には潮風薫る美しい海に面した豊かな自然に恵まれたまちです。

本市では、豊かな環境を次世代に引き継ぐ守るべき資産であると捉え、「持続可能な開発目標（SDGs）」を考慮し、市民・事業者・行政が一体となり、環境を意識した様々な取り組みが行われているところです。

本市においても様々な感染症や食中毒予防の為、手洗いの必要性を実感している中、環境に優しいといわれる石けんの重要性を再認識しております。

人や環境に寄り添った貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がり、環境に優しい暮らし方が浸透していくことを心よりご祈念いたします。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

寒川町長 木村 俊雄

寒川町は、県の中央を流れる相模川やその支流の目久尻川、小出川の3つの河川が流れており、越の山のみどりなどに育まれた自然豊かな町です。

町では多様化する環境問題に対応していくため「環境と人が共生し、次世代まで良好な環境が受け継がれ”新化”するまち さむかわ」を望ましい環境像として環境基本計画を策定し、相模川美化キャンペーンを実施するなど、水環境の保全に向けた取り組みを進めています。

貴会の長年にわたる環境保全への活動に敬意を表しますとともに、シャボン玉月間を機に環境保全への理解や、「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう、心より祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

中井町長 戸村 裕司

中井町は、神奈川県南西部に位置し、県内でも稀な湧水による厳島湿生公園、丘陵地に樹林地や農地、公園などが町全体に広がっており、水と緑に囲まれた自然が豊かな町で、水道水は、100%地下水を水源としています。

本町では、こうした自然豊かな環境を将来にわたって引継ぐため、町環境基本計画で「一人ひとりが主役となり 未来へつなぐ環境づくり ～今 私たちにできること～」を基本目標に、地下水保全やプラごみゼロを目指した取り組みなどの事業を実施し、町民の一人ひとりが自ら行動し、より良い環境を未来へ繋いで行くことを目指しております。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

二宮町長 村田 邦子

二宮町は、菜の花を代表とする四季折々の花が楽しめる吾妻山公園や、町の中心部を南北に流れる葛川を有する緑と水に包まれた自然の豊かな町です。

当町では、今年3月に豊かな自然を次世代に引き継ぎ、持続可能な町づくりを推進するため、第3次二宮町環境基本計画を策定し、5月には町民・事業者・行政が一丸となって気候変動問題に取り組んでいくため、二宮町気候非常事態宣言を発出するなど、自然環境の保全に向けた取り組みを進めております。

水環境の改善の重要性を深く認識され、人の健康や自然環境にやさしいせっけんの利用を呼びかける取り組みに尽力される貴会に、心より敬意を表すとともに、更に活動の輪が広がり発展していくことをご祈念いたします。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

平塚市長 落合 克宏

平塚市は、令和4年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指しています。そのためには、市民・事業者・行政がそれぞれの立場に応じた取り組みを進める必要があります。そこで重要なのは、市民一人一人が日常的に環境に配慮した生活を心がけ、それを行動へと移すことです。

貴会の「シャボン玉月間」は、石けんの利用促進という環境に配慮した行動を促すものであり、日々の実践につなげていく活動です。これが環境配慮行動に対する意識付けの契機となり、地球温暖化対策の進展を後押しするよう願います。

今後も、貴会によるせっけん運動の輪が広がっていくことを祈念いたします。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

藤沢市長 鈴木 恒夫

藤沢の海岸は、江の島をはじめ、伊豆大島や富士山の雄姿を望めるなど、古くから浮世絵にも描かれる観光地として親しまれてきました。毎年7月1日には海開きが行われ、多くの海水浴客が訪れますが、7月は「シャボン玉月間」でもあります。自然の大切さや感謝の思いを新たに、この恵まれた資源を後世に引き継ぐことは我々の使命であり、様々な主体とのマルチパートナーシップにより、郷土愛溢れる取組みを進めてまいります。

一人ひとりがほんの少し日常生活を見直すだけでも、集まれば大きな効果が得られるものです。この「シャボン玉月間」も皆さまの活動の輪が益々広がり、着実な積み重ねで地球を守る大きな成果となることを期待しています。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

松田町長 本山 博幸

松田町は、神奈川県西部に位置し、町域の多くを森林が占めており、酒匂川や川音川、中津川など、丹沢山系を源とする清らかな川が流れる自然豊かな町です。

この自然を守るため、町では近年コロナ禍で中止していた、「酒匂川統一美化キャンペーン」や、「丹沢大山クリーンキャンペーン」といった河川の清掃活動を町民・事業者・行政など協働して実施しました。

また、地域団体や住民の日々の努力によって、寄地区では川や水源をきれいな状態に保つことができ、多くのホテルを目にすることが出来ます。

酒匂川水系は県民の主要な水源となっていることから、自然豊かな町を守るだけでなく、オール神奈川にて県民の生活を支えている意識を持ち、これからも環境保全に向け、全ての主体と共に協働して取り組んで参ります。

結びに、貴会がこれまで継続されてきた環境保全に向けたご活動に敬意を表しますと共に、今後ますますご発展されますことを心からご祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

南足柄市長 加藤 修平

天与の自然に恵まれた南足柄市の発展の源は「森林と水源」です。豊かで良質な水は、幾多の先祖、先人の皆様が森林を守り、水資源の保全に、今日まで力を尽くしてこられたお陰です。

当市は、本年3月に策定した「第三次南足柄市環境基本計画」において「豊かな森と水の継承」を基本目標に掲げました。市民や事業者の皆様に、生活排水の適正処理など様々な取り組みにご協力をいただき、きれいな水を未来へ引き継ぐことで、魅力あるまちづくりを進めていきます。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に改めて敬意を表します。シャボン玉月間の活動を通じ、環境問題への関心が一層高まり、皆様の活動の輪が益々広がることを、心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大和市長 古谷田 カ

大和市は神奈川県ほぼ中央部に位置する、都市と自然が調和したまちです。令和4年4月1日に「大和市気候非常事態宣言」を行うなど、生命あふれる地球と大和を未来へつないでいくために、人にも環境にも優しい持続可能なまちづくりに取り組み続けております。

市の東西に境川と引地川が流れる本市では、水環境の保全のため、環境負荷の少ない石けんの普及に努めています。学校など市施設で石けんを使用するとともに、市民や事業者にも広報誌を通じて石けんの使用を呼びかけています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に心から敬意を表するとともに、今後ますます活動の輪が広がりますよう、祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

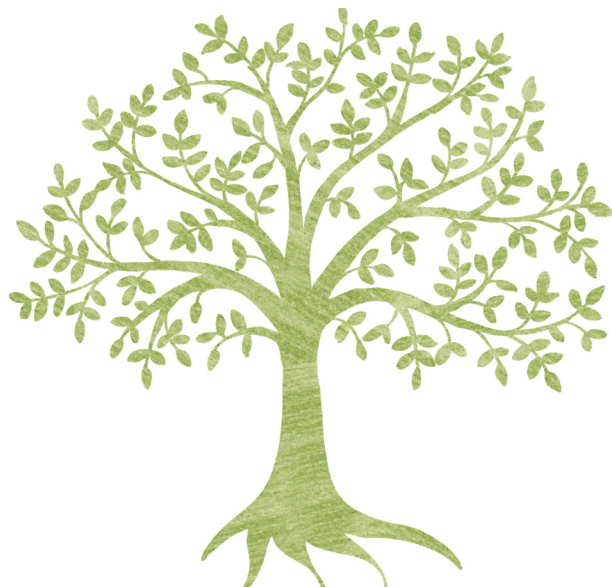
山北町長 湯川 裕司

山北町は県内で3番目の面積を誇り、大部分が雄大な山々を含む森林地域で、希少な動植物が数多く生息する自然豊かな町です。

これらの自然を将来に渡り守っていくため、町は「人と自然が共に生きるまちづくり」をテーマとして環境基本計画を策定しています。

地球温暖化の進行に対する脱炭素社会の実現等、社会情勢の変化は目まぐるしく、本町も時代に沿った計画への見直しを図ると共に、環境にやさしいまちづくりを推進しています。

その中で、貴会の取組は水環境保全のため大変意義深いものです。貴会の活動に敬意を表するとともに、多くの方にこの活動の輪が広がることを心からご期待申し上げます。



● 山 梨 県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

上野原市長 村上 信行

都心部から電車や自動車ですら約1時間の距離にある上野原市では、地域の発展と地域の宝である豊かな自然との調和を図りつつ、「将来に希望の持てるまち」をつくっていくため、様々な施策に取り組んでいます。

市内には、桂川（相模川）をはじめとした多くの河川が流れています。その水質を健全に保つことは、上野原市民のみならず下流域の住民の皆様のためにも大切なことと強く認識し、各種の水質検査でその状況を把握するとともに、水源林の保全なども計画的に実施しています。

貴会が長年にわたり取り組まれる「せっけん運動」が、更に大きなうねりとなり、水環境の向上、そして「人にやさしい環境」の実現に繋がることを、心よりお祈りいたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

甲斐市長 保坂 武

甲斐市は、一部が秩父多摩甲斐国立公園に含まれるなど、北部に森林資源の豊富な山岳や丘陵地帯が広がっており、平野部においても、釜無川や荒川などをはじめ、豊かな自然に恵まれたまちです。

本市では、近年の社会情勢や環境が大きく変化する中、第2次甲斐市環境基本計画を策定し、望ましい環境像を「自然と生活が調和した環境を築くまち」と決めました。その実現のため、市・市民・事業者がそれぞれの特性を活かしながら協働し、環境保全への取組をさらに充実させていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がることを祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

甲府市長 樋口 雄一

甲府市は、富士山をはじめ、八ヶ岳、南アルプス連邦の山々に囲まれた盆地にあり、金峰山や国師ヶ岳から流れる清流、御岳昇仙峡の溪谷美など、山と川が織りなす自然豊かな都市であります。

本市では、この美しい自然環境を守り、育み、そして次世代へ引き継いでいくため、市民や事業者の皆様と連携・協力のもと、植樹活動や水源環境の保全活動など、様々な環境保全事業に取り組んでいるところであります。

こうした中、貴会が長年にわたり取り組んでおられる「せっけん運動」をきっかけに、より多くの方が自然環境へ関心を持ち、環境保全の意識が高まっていくことを期待しております。

今後、環境保全活動の輪が益々広がり、美しい自然環境が守られることを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

昭和町長 塩澤 浩

昭和町は、甲府盆地のほぼ中央に位置し、南に富士山、北に八ヶ岳連峰、西には南アルプスの山々を仰ぎ見ることができる、面積9.08km²の山梨県内で「一番小さな町」であり、また県内で唯一「山が無い」市町村であります。

都市化の進んだ昭和町も、昭和時代中期にかけては、国の天然記念物に指定されるほど源氏ホテルが多く発生し、暗闇を乱舞する本町のホテルは甲府盆地の初夏の風物詩と言われるほどでした。

昭和町では、自然環境の維持とホテルの復活を願い、河川清掃活動による水質保全や関係団体によるホテル自生への取り組みも行われております。

貴会の「せっけん運動」の取り組みがさらに広がりを見せ、身近な河川をきれいにしようとする気持ちの醸成と、美しい地域づくりの推進に繋がるよう心から祈念いたします。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

中央市長 望月 智

中央市は、市名のとおりに山梨県のほぼ中心に位置します。

平地部に広がる田園風景や山間地域の果樹畑など豊かな緑と四季折々の美しい自然環境に恵まれています。

本市では、第2次中央市環境基本計画において「快適で健やかに暮らせる生活文化都市」を市のあるべき環境像として定め、市民、事業者、市がともに連携・協力しながら環境保全対策に関する取り組みを進めています。

貴会が長年にわたり取り組んできた「せっけん運動」は、水環境の保全において大変意義深いものであり、その活動に改めて敬意を表するとともに、今後も活動の輪がより一層広がり、大きく発展することをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

韮崎市長 内藤 久夫

韮崎市は、南アルプスユネスコエコパークに登録されている鳳凰三山など壮大な山々と、富士川水系の釜無川と塩川が南北を縦断し、その間に七里岩が台地を形成する変化に富んだ地形の恩恵を受けた豊かな自然環境にあります。

本市では、「自然と共生する持続可能な美しいふるさと」を目指して、その実現のため、釜無川や塩川沿いなどで河川清掃活動を市民の皆さんと行い、環境保全に対する意識を高め、次世代につながる環境保全を「チーム韮崎」一丸となって取り組んでいます。

貴会が長年にわたり取り組んできた「せっけん運動」の活動の輪がさらに広がり、市民の環境保護への意識の向上へと繋がることを心よりご期待申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

都留市長 堀内 富久

都留市は、山梨県の東部に位置し、緑豊かな山々に囲まれ、富士山の豊富で清冽な湧水に恵まれた自然豊かなまちです。

古くから城下町として栄え、今もその面影が息づいており、桂川を始めとした多くの河川が流れ、水に慣れ親しむ生活が浸透しております。

この自然豊かな水環境の保全のため、河川のごみを取り除く、除塵機を市内三箇所に設置し、長期総合計画で策定されている「繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち」の実現に向けて取り組んでいます。

貴会の取り組まれている「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深いものであり、長年にわたる活動に改めて敬意を表しますとともに、更なるご発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

笛吹市長 山下 政樹

笛吹市は、豊かで美しい自然、春の市内一面に広がる桃源郷の景色、夏の艶よく甘く実った桃やぶどう、夜の涼風を感じながら見る花火や鵜飼、秋の爽やかな香り感じるワインの新酒や川中島合戦国絵巻、体の芯まで温まる豊富な温泉など観光を主幹産業として発展してきました。

本市は、観光施策を具体的かつ強力に推し進めていくために、令和5年度から「第3次笛吹市観光振興計画」を策定し、市が目指す新しい観光地像「ここにしかない出会いがあります笛吹市」の実現に向け取り組みを進めています。

貴会が長年にわたり取り組んできた「せっけん運動」におかれましては、SDGsに関わる大変意義深いものであり、その活動に敬意を表するとともに、活動の輪がより一層広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富士川町長 望月 利樹

富士川町は、山梨県の南西部に位置し、町名の由来でもある一級河川富士川に沿って集落が発達してきました。楯形山や源氏山などの2,000 m級の山々がそびえ、それらを源とする戸川や大柳川などが町内を横断し、人々の生活を潤してきました。

町では、この豊かな自然環境を、次世代へ引き継いでいくため「暮らしと自然が輝く交流のまち」をまちづくりのビジョンとして、ごみの減量化、再資源化による循環型社会の構築、より快適な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富士河口湖町長 渡辺 喜久男

富士河口湖町は、富士山の麓、4つの湖と、青木ヶ原樹海を有する自然豊かな町です。

本町は今年、町制施行20周年を迎えます。また、富士山世界文化遺産登録10周年の年でもあります。世界に誇る豊かな自然環境を守り育むため、毎年5月に「一万人の清掃活動」の日を設け、地域・事業者等と連携した湖畔環境保全活動を実施しております。また、プラスチックゴミなどの資源循環の高度化に向けた環境整備として、毎月一日を、リサイクルの日と定め、「プラスチック資源循環の促進法」の周知とともに3R運動の普及促進を図っております。

今後も、かけがえのない豊かな自然環境を次世代へと引き継いでいくため、引き続き環境保全に取り組んでまいります。

結びに、毎年7月をシャボン玉月間とし、長年にわたり水環境保全に取り組まれている貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がよりいっそう広がっていきますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富士吉田市長 堀内 茂

富士吉田市は、日本一の標高を誇る富士山の北麓に位置する高原都市です。今年は富士山世界文化遺産登録から10年を迎える記念すべき年であり、コロナの制限が撤廃された今、本市からの富士山の景観を楽しむに、すでに多くの観光客にご来訪いただいております。その富士山をはじめとする豊かな自然が育んだ地下水は、飲み水などとして私たちの生活に欠かせないものとなっております。富士吉田市では、恵まれた水資源をより良い形で次世代に引き継ぐため、継続的に地下水や河川の水質検査、河川清掃等の取り組みを行い、保全に取り組んでおります。

貴会の長年の活動に深く敬意を表しますとともに、今後も環境保全への取り組みの輪が一層広がってまいりますことをご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

北杜市長 上村 英司

北杜市は、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、茅ヶ岳、瑞牆山など、世界に誇る山々に囲まれ、その山の麓から湧き出る水は、名水百選に選ばれております。この清らかな水と美しい山岳景観、豊かな自然環境を、希望に満ちた子どもたちの未来へ引き継ぐため、北杜市といたしましても環境教育や水環境保全に積極的に取り組んでおります。

「せっけん運動」は、環境保護意識を高めるだけでなく、地域の絆を深める素晴らしい活動であります。貴会の長年にわたるこの活動に敬意を表しますとともに、多くの皆様に本活動が広がり、持続可能な社会への大きな成果へと繋がりますことを期待しております。



「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

南アルプス市長 金丸 一元

南アルプス山麓に位置する本市は、豊かで美しい自然環境に囲まれた地域です。山々から流れ来る御勅使川などの河川は、私達の生活にうるおいを与え、また、その恩恵を受け、果樹栽培は盛んとなりました。この豊かな水環境を大切に守り、後世へと繋いでいくことは、現代を生きる私たちの重要な使命であると認識しております。

本市では、「南アルプス環境基本計画」に則し、河川への不法投棄の防止や適切な家庭生活排水処理の実施の呼びかけなど、SDGsに考慮した施策を市民、事業者とともに力を合わせて取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に心から敬意を表し、この活動の輪が益々広がりますことをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

山梨市長 高木 晴雄

山梨市は、甲府盆地の東部に位置し、市の一部が秩父多摩甲斐国立公園に含まれている自然豊かなまちです。清流を誇る本市の河川においてはホタルが発生するなど、多様な生き物が息づいています。

本市では第2次山梨市環境基本計画を策定し、「豊かな自然をみんなで未来へ継承する快適環境都市山梨市」を目標に、河川清掃や環境問題への啓発活動などの取り組みを進めております。

今後も恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべく、官民一体となって環境保全活動に努めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに心から敬意を表しますとともに、この運動がより一層多くの方々に広がりますことを心より願っております。

● 愛知県

「シャボン玉月間」によせて

瀬戸市長 川本 雅之

瀬戸市は名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を小高い山々に囲まれた気候も温暖なまちです。良質で豊富な陶土に恵まれたこの地は古くからやきもののまちとして知られ、「せともの（瀬戸物）」という言葉がやきものの代名詞として広く知られています。やきものの産業を支えてきたのは、もちろん陶土だけではありません。豊かな水や森がなければ当市の発展はありませんでした。特に市内にはいくつもの川が流れており、当市では瀬戸理科教育研究会とともに50年以上にわたり水生生物調査を行っているなど、重要な環境資源です。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後も活動がひろがり、また市民の環境意識啓発の寄与にお礼申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

知立市長 林 郁夫

知立市は、愛知県の中央に位置し、東海道の宿場町として古くから賑わい、交通の要衝として発展してきました。“人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり”を基本理念に取り組み、内閣府より「SDGs未来都市」に選定されました。また、持続可能な社会、誰一人取り残さない社会をつくるため、再生可能エネルギーの導入・支援や省エネ活動の推進をし、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、今後も良好な環境の維持に努めてまいります。

貴会の「せっけん運動」の活動に心から敬意を表し、この活動の輪がさらに広がり市民の環境保護への意識の向上へと繋がることをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東郷町長 井俣 憲治

東郷町は、愛知池や境川等の豊かな水資源に恵まれ、夏には町内の各所でヒメボタルを見ることができるなど、水と緑のあふれた自然豊かなまちです。

本町では、河川水質の測定、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する啓発、小学生を対象とした水生生物調査など水環境の保全に取り組んでまいりました。

また、公共下水道の整備を進め、下水道の普及率は82.94%（令和4年度末）に達し、かつては水質に汚濁の見られた境川においても、近年では水質の改善が見られます。

これも、せっけんを入りに環境保全を考える貴会の活動と軌を一にするものと考えており、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表するとともに、今後ますます活動の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊明市長 小浮 正典

豊明市は、愛知県のほぼ中央部、名古屋市南東部に隣接する住宅都市です。名古屋市近郊といえども、緑豊かな自然環境が残り、特に市北部の二村山近くにある大狭間湿地では、8月にはサギソウやハッチョウトンボ、9月にはシラタマホシクサが見ごろを迎えます。さらに県の天然記念物であり、夏に小さな赤い花を咲かせる食虫植物ナガバノイシモチソウが自生しており、学名は「ドロセラ・トヨアケシス・エム・ワタナベ」です。湿地もナガバノイシモチソウもきれいな水が環境保全に欠かせません。

貴会の長年にわたる水質保全に向けた活動に深く感謝と敬意を表しますとともに、「せっけん運動」がSDGsへの市民の意識向上につながることを期待しております。この先もますます貴会の活動の輪が広まりますことを祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊田市長 太田 稔彦

豊田市は市域の約7割を森林が占め、中心部には矢作川が流れる豊かな自然に恵まれたまちです。

この自然を守るために本市では様々な取組を行っており、その一つに川の魅力を知る「身近な水辺の環境意識向上プロジェクト」があります。水のおいしさや川底の感触、水質などを市民の五感で調べ、地域の水辺環境の状態を把握するものです。これらによって身近な水辺への環境意識の向上を図るとともに、持続可能な社会に向けた市民一人ひとりの積極的かつ日常的な環境配慮行動につなげていきます。

貴会の活動は、水環境保全や市民の環境意識向上に寄与するもので、長年の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

日進市長 近藤 裕貴

日進市は、大都市近郊に位置しながら、まちの中心部を流れる天白川流域には緑が広がる、自然と住環境が調和した住宅都市です。

本市では日進市環境基本計画に基づき、環境まちづくりに関する様々な取組を行っており、自然観察会や水生生物調査を実施しています。また、友好自治体である長野県木祖村において、水源の森林を守り育てるために、市民参加による育樹作業等を実施し、森林保全等への市民意識向上に取り組んでいます。

今後も様々な事業を通して水環境も含めた、環境負荷の少ない地域社会の形成に取り組んでまいります。

貴団体の長年にわたる環境保全の取組に敬意を表しますとともに、益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

みよし市長 小山 祐

みよし市は、三好池、保田ヶ池、境川に代表される水辺環境や緑豊かな自然環境に恵まれています。こうした良好な自然環境を大切に保全し、次世代に継承していくため、毎年、地域で生活排水路の清掃を実施し、良質な水環境の保全に向けた取り組みを重要な課題と捉え、住民一人ひとりが環境への関心を高めていくための取り組みを行っています。

また、自然観察会や水生生物調査を実施し、市民一人ひとりが環境への関心を高めていくための取組も推進しています。

貴会の活動は、多くの皆様に水環境への関心を深めていただく大変有意義なものであり、さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。



● 滋 賀 県

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

滋賀県知事 三日月 大造

滋賀県では、高度成長期に琵琶湖で淡水赤潮が発生し、これを機に県民が主体となってリンを含む合成洗剤の使用をやめて粉石けんを使おうという「石けん運動」が展開され、琵琶湖の水質改善につながりました。

こうした県民の環境保全の意識を継承するため、長年、地域の特性を生かした環境学習に取り組み、その代表的な取組である学習船「うみのこ」による湖上での体験学習は、今年度で40周年を迎えます。滋賀県が誇る森・川・里・湖の貴重な資源を次世代につないでいけるよう、引き続き取組を推進してまいります。

貴団体の長年にわたる活動は、環境保全に寄与するものであり、敬意を表しますとともに、益々の御発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

近江八幡市長 小西 理

近江八幡市は、琵琶湖唯一の有人島で最大の島でもある沖島、滋賀県最大の内湖である西の湖や、その周辺にヨシ群落地域を含む水郷地帯を有するとともに、琵琶湖沿岸から市内一円に広大な田園風景が広がり、豊かな自然に恵まれています。

当市では令和4年3月に「近江八幡市第2次環境基本計画」を策定し、その中で『～自然との共生、歴史と文化を次世代につなぐ～ 近江八幡市 持続可能な「水・緑・暮らし」』という目指すべき環境像を掲げており、創意工夫をしながら、行政、市民及び事業者の三者が一体となって、環境保全の取組を進めています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取組に心から敬意を表し、環境保全への関心が高まり、保全活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大津市長 佐藤 健司

大津市は、琵琶湖に面し、比良、比叡、音羽、田上などの山並みに包まれる自然豊かなまちです。本市では、持続可能な開発目標「SDGs」や「カーボンニュートラル」をはじめとした国内外の動向やこれまでの取組の成果を踏まえ、令和4年4月より「大津市環境基本計画（第3次）」を施行しました。河川の美化活動や琵琶湖の保全活動などへの支援等を行い、本市のかげがえのない財産をより良質なものにすることを目指し、市民、市民団体、事業者、行政が一体となって環境保全活動の施策に取り組んでおります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後環境保全への取組の輪が一層広がることを御祈念申し上げます。

【石けん使おう！7月はシャボン玉月間】に寄せて

草津市長 橋川 渉

草津市は、滋賀県の南部に位置し、琵琶湖に面した都市で湖辺一帯にはのどかな田園風景が広がり、この風景と琵琶湖の対岸に臨む比良・比叡の山並みが調和し、四季折々の美しい景観を楽しむことができます。

豊かな自然環境を未来へ引き継ぐため、本市では令和3年3月に「第3次草津市環境基本計画」を策定し、「人とひと 人と自然が織りなす 琵琶湖に開かれた環境文化都市 くさつ」を目指す環境像と掲げ、環境分野の取組の側面から経済・社会の課題についても取り組み、持続可能なまちづくりの実現に向けた取組を進めています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますよう御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

湖南市長 生田 邦夫

湖南市は、南の阿星山系と北の岩根山系を望む緑豊かな丘陵地に広がり、市の中央には野洲川が流れる、水と緑に囲まれた自然環境に恵まれた地域です。

本市では、第二次湖南市環境基本計画に掲げる環境未来像「野洲川の清流 山々の景色 歴史が育む うつくし湖南」の実現に向けて、環境を取り巻く諸問題に市民・事業者・市が協働しながら取り組んでいます。その一つとして、廃食用油については拠点回収をすすめており、石鹼などへのリサイクルに取り組んでいる他、小学生を対象とした環境学習などにもつなげています。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、多くの方々の環境保全への関心が高まり、保全活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

東近江市市長 小椋 正清

東近江市は、鈴鹿の山々から琵琶湖まで、山地からなだらかな丘陵地や平野へと広がり、森・里・川・湖といった多様な姿を見せる自然豊かなまちで、これらの資源を持続的かつ有効に活用することにより豊かな生活と多様な歴史、文化、伝統が育まれてきました。

当市では、きれいな水、森林、農地、生物、輝く太陽などの自然資本をベースに、環境・経済・社会を統合されたひとつの地域課題として捉え、「市民が豊かさを感じる循環共生型社会」の構築に取り組んでおります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の取組を通じて環境保全への関心と活動の輪が大きく広がっていくことを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

彦根市長 和田 裕行

彦根市は琵琶湖東北部に位置し、西は琵琶湖、東には鈴鹿山脈を望み、鈴鹿山脈に流れを発する芹川、犬上川、宇曽川等が市内を横断する水環境豊かなまちです。

本市には名水百選「十王村の水」があり、多くの方に親しまれていますが、水質測定を市が実施し、清掃活動は地元の方々に行っていただくなど、地域と連携した保全活動を行っております。

また、市と市民団体が連携してホタルの生息状況の調査を実施しており、ホタルマップを作成・公表することで、ホタルの住む身近な水環境に目を向けていただくきっかけ作りを行っております。

貴団体の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、取組の輪が一層広がりますよう祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

日野町長 堀江 和博

日野町は、霊峰綿向山を東に望み、町花である「ほんしゃくなげ」によって彩られる、自然環境に恵まれた町です。

本町では令和3年度に「第6次日野町総合計画」を策定し、環境共生分野として「一人ひとりが環境保全や美化意識をもち、豊かな自然に囲まれ、快適な生活ができるまち」をめざす姿と位置付け、美しい自然を次世代へ継承するため、環境保全や自然共生の意識を高めると共に、子どもをはじめ幅広い年代へ向けて環境学習を推進し、生物多様性への理解や環境保全の意識高揚に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる環境保全活動の取り組みに敬意を表しますとともに、この運動の取り組みの輪が一層ひろがることをご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

守山市長 森中 高史

守山市は、古くから琵琶湖と野洲川の恵みに支えられるとともに、美しい田園風景の広がる、水と緑のあふれる自然豊かなまちです。

平成29年10月には「守山市環境学習都市宣言」を制定し、本市の恵まれた環境を未来へつなぐため、市民が共に学び、考え、行動していくことを目指し、様々な環境施策を推進してまいりました。

とりわけ本市では、かねてから積極的な市民・環境団体等の活動により、ホタルの復活や赤野井湾の再生に向けた取組みなどが行われており、そうした取組みと相互に連携し、協力し合って取り組んでいるところです。

最後に、長年にわたる貴団体の水環境への取り組みに敬意を表しますとともに、多くの方々の環境保全への関心がますます高まることを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

野洲市長 栢木 進

野洲市は、北に琵琶湖、南に三上山を臨み、家棟川を代表とした河川がそれらをつなぐ、緑豊かな里山と琵琶湖がつながる自然豊かなまちです。

本市では、「第2次野洲市環境基本計画」に基づき、先人から受け継いだ自然環境を次世代に引き継ぐため、『里山から琵琶湖へ、豊かな自然とくらしが調和するまち やす』を目指すべき環境像として掲げ、その実現に向けて持続可能な開発目標であるSDGsを取り入れ、市民、市民団体、事業者、行政が協働しながら、様々な環境課題に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、この活動で水環境保全への関心が高まり、取組の輪が一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

竜王町長 西田 秀治

竜王町は日野川、祖父川、善光寺川等の豊かな水源に支えられ、美しい田園風景の広がる町です。

当町では、回収した廃食油を石けんに再利用する資源循環の取組みや環境保全に関する環境学習、また環境に配慮した農業などに企業、団体、町民とともに尽力しております。

また今年度は「竜王町第二次環境基本計画」を策定し、次世代に美しい竜王町の自然環境を残すため、事業者や住民との連携を図りながら、今後さらに環境保全や循環型社会の実現に向けた取り組みをすすめてまいります。

貴会の「せっけん運動」への長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後環境保全活動のムーブメントが広がっていくことを心より祈念いたします。



● 大阪府

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

池田市長 瀧澤 智子

池田市は、大阪府の北西部に位置しており、市内には猪名川、余野川、箕面川などの河川が流れています。

このような本市を流れている河川の保全のほか、総合的に環境問題の解決に向けた施策を展開するべく、池田市環境基本計画を策定し、市民、事業者、行政がそれぞれ環境問題を我が事と捉えながら、あらゆる環境問題の解決に一丸となって取り組んでいるところであります。

貴会、せっけん運動ネットワークの水環境保全活動もまた、環境問題の解決に貢献するものであり、敬意を表しますとともに、益々のご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

泉大津市長 南出 賢一

泉大津市は、大阪府の南部に位置し、市の西北部は茅渚（ちぬ）の海（うみ）大阪湾に面し、南部には和泉山脈に源を発する大津川が流れ、古くから市民の憩いの場として親しまれてきました。

本市では水環境の保全対策として下水道整備や河川敷緑地整備に取り組むことはもちろんですが、市民一人ひとりが生活様式を見直し、水と緑を守ろうとする意識を持つことが大変重要と考えます。

このようなことから、市として、地元小学生を対象とした水辺の学校の環境啓発事業の実施やアドボカシーの環境ボランティア活動に対して支援を行うなど、環境コミュニティの構築に力を注いでいるところです。

一人ひとりの努力は小さなものでも、お互いに連携・協働しあうことで大きな力を生み出します。

貴会が取り組んでおられる長年にわたる「石けん運動」に敬意を表すとともに、今後も活動の輪がさらに大きく広がり、一人でも多くの方の環境への関心が高まることを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

泉佐野市長 千代松 大耕

泉佐野市は大阪南部の泉州地域に位置し、市の南東部は金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁しており、和歌山県と接しています。本市は「泉佐野市環境美化推進条例」を施行して、生活環境の保全や都市環境の美化に取り組んできました。また、令和3年に「泉佐野市生活排水処理基本計画」を改定し、生活排水の適正処理の向上に努めています。ついては、今後も水環境の保全に丸となって取り組み、限りある資源を大切に参ります。

長年にわたり「せっけん運動」により水環境の保全に取り組んでこられた貴会の活動に敬意を表しますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

茨木市長 福岡 洋一

茨木市は、大阪府の北部に位置し、緑豊かな山並みと水系を有するまちであり、市内には、動植物の豊かな生息・生育環境が育まれています。

本市は令和3年3月に『茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）』を策定するとともに、令和4年3月にゼロカーボンシティ表明を行い、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めているところであります。また、気候変動問題を乗り越えるためには、生物多様性の保全や自然との共生が不可欠と言われている中、市では、市民団体と協働して水生生物や自然に親しむ講座を開催するなど、自然との触れ合いや河川環境の保全を推進し、市民の水環境への意識向上にも努めております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後とも、貴会の活動の輪がさらに広がりますことを願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大阪狭山市長 古川 照人

大阪狭山市には、狭山池をはじめ、3つの河川や113カ所ものため池など、多くの水資源が存在し、これらの一部は狭山池クリーンアクションや三津屋川アドプトリバーをはじめとする市民の皆様が主体となる清掃活動によって、環境保全、景観維持がなされています。

市としても、これら活動の支援はもとより、市が有する豊かな水資源の健全な水循環の実現のため、令和5年3月に策定しました「大阪狭山市水循環計画」に基づき、より安全安心な水環境づくりと、魅力ある水辺空間の創出にこれまで以上に取り組んでまいり所存です。

貴団体におかれましては、運動の輪がより一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

貝塚市長 酒井 了

貝塚市は、大阪府の南部に位置し、ブナ林を有する和泉葛城山を源流に市の中心部に近木川が流れ、日本の白砂青松百選にも選ばれた二色の浜がある水と緑に恵まれた自然豊かなまちです。

本市は、本年5月1日に市制80周年の節目を迎え、今後も豊かな自然を未来に引き継いでいくため、令和元年に宣言した「かいづかプラスチックごみゼロ宣言」に基づき、水環境を守る為プラスチックごみの削減に取り組んでいます。

今後も大切な水環境を守る為貴会が取り組まれている活動に敬意を表するとともに、ますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

柏原市長 富宅 正浩

本市は、西部が大阪平野、東部が信貴生駒山系があり、市域の約65パーセントが山地で占められ、平地は35パーセントとなっており、緑と水豊かな街であります。

この水資源を継承していくために、水生生物の観察会や市民との協働による清掃活動を実施し、水環境や環境美化に対する市民の意識向上を図る取り組みを実施しております。

このような中、貴会の長年にわたる水環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

交野市長 山本 景

交野市は、大阪の北東部に位置し、市域の約半分は山地で自然に恵まれたまちです。市の中心部を流れる河川「天野川」や星にまつわる地名があります。

本市では令和4年3月に第2次交野市環境基本計画を作成し、あわせて温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。

この計画は「脱炭素社会」「資源循環」「自然共生」「生活環境」の4つのビジョンを掲げ、自然豊かな“かたの”を次世代に引き継ぎ、未来への基盤をつくることとしています。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

門真市長 宮本 一孝

本市は大阪府の北東部に位置し、かつては水路が張り巡らされ、門真れんこんが特産の穀倉地帯でありました。都市化が進んだ現在も、市の南部に位置する砂子水路は桜の名所として親しまれております。

近年、プラスチックごみによる海洋汚染が、問題となる中、本市は、海洋ごみの回収・発生抑制対策として、環境省が推進する「ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業」を実施し、企業等が持つ先進的な技術や創意工夫を活かし、本市と企業等の協働によるプラスチックごみの使用量削減、流出防止、清掃・回収に関する取り組みや情報の収集・発信・共有等を積極的に行っております。

長年にわたり環境にやさしい石けんの使用運動を展開しておられる貴会のご活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

河南町長 森田 昌吾

河南町は、金剛・葛城の山並みと水越川や梅川などの清らかな流れに育まれた、田園風景が広がる自然あふれるまちです。

本町では、これまで「美しい河南町基本条例」「美しい河南町環境条例」などを制定し、住民や事業者の方々と共に、緑豊かな山々や田園の景観、清らかな水辺環境など多様に富んだ良好な環境にあり、今後も自然環境の保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、貴会のさらなるご発展とより多くの方々の環境保全への関心が高まることを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

河内長野市長 島田 智明

河内長野市は、市域の約7割を森林が占める自然豊かなまちであり、水源地としてのきれいな水と澄んだ空気は、本市の最大の魅力です。

この豊かな自然環境を守るためには、一人ひとりが環境について学ぶとともに、社会全体で課題を認識し、解決策を考え実行することが大切です。

そのため本市では、「河川一斉清掃」や「親と子のふれあい自然学習会」の実施、廃食用油の回収及びそれらを用いた「石けん・キャンドル作り教室」の開催等により、環境保全と環境教育に努め、豊かな自然を次世代に引き継ぐための取り組みを続けていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

岸和田市長 永野 耕平

岸和田市は大阪府の南部に位置し、古くから城下町として栄え、海あり、山あり、川ありと豊かな自然に恵まれた伝統ある美しいまちです。

本市では、環境の大切さについて知っていただくための「きしわだ環境フェア」を開催するなど、啓発活動に取り組んでいます。また、市民の皆さまと協働で、川をきれいにするための清掃美化活動、川や海を豊かにするための里山再生にも積極的に取り組んでおります。

今後も、水環境の改善のため、市民活動の支援や啓発活動を充実させてまいりたいと考えています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、運動の輪がさらに広がり、発展されますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

熊取町長 藤原 敏司

近年、地球温暖化やプラスチックによる海洋汚染など地球規模による環境問題が深刻さを増しており、これまでのライフスタイルの見直しや人々の意識改革、行動変容などSDGsの目指す持続可能な社会構造への転換の機運が益々高まっています。

熊取町では、『くまとりプラスチックごみゼロ宣言』及び『熊取町気候非常事態宣言』を発出、『熊取町エコプロジェクト』を策定し、河川や海洋のプラスチックごみの削減や国が推進する3Rに「Refuse〔リフーズ〕：レジ袋などを断る」を加えた4Rの推進に注力しております。また、使い捨てペットボトルの削減を図るため町内公共施設にマイボトル用給水機を設置するなど、海と陸の豊かさを守る取り組みを進めております。

貴会の取組に敬意を表するとともに、人と環境にやさしい『せっけん運動』が、子ども達の未来を守るために、一人ひとりが今できることについて考えるきっかけとなることをご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

四條畷市長 東 修平

四條畷市は大阪府の北東部、奈良県との県境に位置し、北生駒山系の豊かな緑と青く澄んだ室池の豊かな水源にも恵まれた自然豊かなまちです。

この豊かな自然を後世に引き継ぐため、「四條畷市環境基本計画」に基づき、「3Rの推進」をはじめとする、市民、事業者、行政の協働による環境保全の取組みと水環境への意識向上に努めております。

また、貴会が取り組まれている「香害」問題については、市ホームページに掲載するほか、市内小中学校においてもポスターを掲出するなど、周知啓発をしております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

島本町長 山田 紘平

島本町は大阪府内で唯一、環境庁（現環境省）認定「名水百選」に選ばれた地下水「離宮の水」や、和歌にも詠まれた清流「水無瀬川」など、水に恵まれた自然豊かなまちです。

本町は、この豊かな環境を後世に繋ぎ、持続可能な社会を実現するため、住民・事業者・行政の協働により環境保全活動を進めています。令和4年度末に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、令和5年4月に気候非常事態を宣言、5月よりペットボトルの水平リサイクルを開始するなど、持続可能社会実現への取組を進めています。

貴会の活動及び「シャボン玉月間」の取組を通して地球環境への関心が高まり、環境保全活動がより広がっていくことを祈念いたします。

令和5年度「シャボン玉月間」に寄せて

摂津市長 森山 一正

摂津市には淀川をはじめ多くの一級河川が流れ、水辺がつくり出す豊かで上質な景観が憩いの空間となるなど、今も昔も河川から恩恵を受け、歴史を重ねてきました。

この自然豊かな水景を守るため本市では、家庭から出された廃食油を回収し、粉石鹼を作るという資源リサイクルに取り組んでいます。環境にやさしい行動に「せつつエコポイント」を付与し、獲得ポイントに応じた記念品と交換できる等、環境に係る様々な啓発活動を行っております。今後も環境や水質保全に対する市民の意識を高める取り組みを続け、より良い地球環境の保全に寄与するまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の今後益々のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

吹田市長 後藤 圭二

大阪府の北部に位置する吹田市は、北部に北摂山系を背景としたなだらかな千里丘陵と、南部に一級河川である安威川、神崎川や淀川から生み出された低地から形成される自然と住環境が調和したまちです。

本市では、今ある環境をより良いものとして後世に引き継ぎ、持続可能なまちづくりを進めるため、吹田市第3次環境基本計画に基づき、快適な都市環境の創造、みどり・自然との共生、健康で快適な暮らしを支える身近な水環境の保全等の取組を進めています。

結びに、貴会の長年にわたる水環境を保全する取組に敬意を表しますとともに、より一層環境保全への関心が広がりますよう祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

泉南市長 山本 優真

泉南市は、大阪南部に位置し、世界の玄関口となる関西国際空港の対岸にあり、和泉山脈から連なる山々を擁し、清らかな清流が残る自然豊かな環境にあります。

本市では脱炭素社会に向けた施策の拡充および「泉南市地球温暖化対策実行計画」に基づき、全庁的に温室効果ガスの排出要因である、電気及び燃料の使用量削減に重点的に取り組んでいます。

一人でも多くの方が自らの生活を振り返り、環境問題について関心を持つきっかけとなることを願っております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々この運動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

太子町長 田中 祐二

太子町は、大阪府の東南部に位置し、二上山など金剛生駒紀泉国定公園となる山々や、梅鉢御陵と呼ばれる敏達・用明・推古・孝徳天皇陵と聖徳太子御廟を有する豊かな自然と歴史に織り成されたまちです。

近年、国内でも気候変動の影響が顕著化しておりますが、本町では、この豊かな自然環境を守り育ていくために、令和3年7月に「太子町ゼロカーボンシティ宣言」、令和5年2月に「太子町脱炭素ロードマップ」の策定を行いました。今後も自然環境の保全に対する取組みを住民の皆様と手を携えながら進めてまいりたいと考えております。

結びに、貴会の長年にわたる取組みに敬意を表しますとともに今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大東市長 東坂 浩一

大東市は大阪府の東部に位置し、飯盛山と生駒山につながる金剛生駒山系、寝屋川・恩智川などの多くの河川があり、自然あふれる地域です。

市の財産である豊かな自然を未来の子どもたちに残すため、本市では地域住民や大学と連携し、GPSを活用した河川でのごみの流れの調査、市所有のボートによる河川での清掃活動等を行い、水環境の保全に取り組んでいます。

結びに、貴会の永年にわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、貴会の益々のご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

高石市長 畑中 政昭

高石市は、大阪府南部に位置し、面積は11.30平方キロメートルとコンパクトで閑静なベッドタウンです。本市では、環境保全のため、定期的に河川や工場排水の水質を測定しており、市内の水環境の保全に努めております。また、持続可能な社会の実現に向けて、今ある環境を次世代に引き継ぐため、小学生には夏休みを利用して環境に関するポスター作り等の環境教育を実施しております。

水環境保全に対する貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も貴会の活動が広がり、一人でも多くの方が環境への意識を高めるきっかけとなることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

田尻町長 栗山 美政

田尻町は大阪府の南部に位置し、降水量が少なく温暖な人口約8,600人の町です。

市街化区域内の汚水下水道整備がすべて完了し、現在は、汚水をできるだけ河川には流すことのないように、水洗化の更なる促進を図り、水質の保全に努めています。

また、町立中学校においては、生徒達がSDGsの学習に取り組み、町内を流れる田尻川の清掃活動を自主的に提起し、それを住民と行政が一体となって実施するという次世代の美しい環境への取組みが芽生えるなど、美しく快適な居住環境づくりが進んでいます。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取組みに敬意を表しますとともに、豊かな水環境を守り美しい自然を継承していくために、この運動の輪が広がっていくことを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

忠岡町長 杉原 健士

繊維産業の町として栄えてきた忠岡町は、平成の大合併により現在は「日本一小さな町」になりました。

新型コロナウイルスの感染拡大による行事の見送りや、産業・経済活動の自粛などから、徐々に元の生活に戻り始めている中、せっけんでの手洗いの重要性が改めて見直されているところであります。

また、当町では「打ち水」「みどりのカーテン」など省エネ意識の啓発を行っており、人の営みの拡大と自然環境の保護の両立は、子どもたちの世代に住みよい町を残していくために必要なことであり、未来への大きな課題となっています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、未来へつながる環境運動の輪がより一層発展されますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

千早赤阪村長 南本 斎

千早赤阪村は、大阪府内最高点の金剛山に抱かれ、豊かな自然に恵まれた大阪府唯一の村です。

千早赤阪村の美しい自然を次世代に引き継ぐために、村では村民と一体となって様々な対策を講じています。例えば、金剛山を中心とした環境を守る「金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例」を制定し、環境に配慮した取組みを推進しています。

43年という長きにわたって活動されている貴会のせっけん運動ネットワークもまた、環境保護に貢献するものであり、活動に敬意を表しますとともに今後ますますのご発展を祈念いたします。

「シャボン玉月間」によせて

豊能町長 上浦 登

豊能町は、大阪府内にあって町域の7割が山林で、清らかな河川に恵まれた自然豊かなまちです。本町でも豊能町総合まちづくり計画を策定し、『自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの』を将来像として、環境に優しいまちづくり、豊かな自然を大切にすまちづくりに取り組んでいるところです。

一人ひとりの小さな配慮や行動の積み重ねの継続が、次の世代、その次の世代のために水環境を守っていくことにつながると考えます。貴会が続けられている「せっけん運動」を通して、全国的に水環境保全への意識が高まり、水環境保全活動の輪が広がっていくことをご期待申し上げますとともに、貴会の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富田林市長 吉村 善美

富田林市は、南河内の中心部として古くから発展してきたことから、市内には多くの文化財や市の中心部を流れる石川など、自然豊かな環境に恵まれた美しい景観を誇る街並みであります。

本市では、新型コロナの感染拡大防止の観点から中止しておりました「石川大清掃」を4年振りに開催し、地域住民や企業の皆様と協力し、石川の環境美化に努めると共に、「SDGs未来都市」としての取り組みをより一層進めることができたところです。

貴会の、長年にわたる「せっけん運動」を通じた水質保全活動に敬意を表しますと共に、ますますのご発展と、美しい水辺や豊かな自然環境を守り育てる活動への理解が広まりますことを心から祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

寝屋川市長 広瀬 慶輔

「寝屋川市」は、全国でも大変珍しく一級河川の名称が市の名前になっています。

その一級河川寝屋川を始めとする水辺が人々の憩いの場となるよう、市民ボランティアの方々が毎年春と秋の2回、「クリーンリバー作戦」と題打って、河川清掃、ごみ拾いなどを行っています。今後も、市民の皆様と協働して水環境の整備・保全に取り組み、環境に配慮した自然豊かなまちづくりを行ってまいります。

結びになりましたが、貴会が長年にわたり、水環境を守る様々な取組を展開していただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表しますとともに、せっけん運動ネットワーク及び生活クラブ生活協同組合大阪の今後ますますの御発展を御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

能勢町長 上森 一成

大阪の最北端に位置する能勢町は、府内でも有数の自然に囲まれた地域で、美しい「里山景観」が創られています。

本町では、2050年までにエネルギー資源のCO2排出量ゼロを実現し、能勢町の持つ豊かな森林資源を保全・活用することで、ゼロカーボンタウンの形成を目標としています。

そのためには、再生可能エネルギーを創り出すだけでなく再生可能エネルギーを使う観点が重要です。同様に、環境保全におきましても環境負荷が少ない製品を使用する観点が重要と認識しています。

貴会の石けん運動を通じた日頃からの地道な活動が、大きな環境保全につながることを期待申し上げますとともに、今後ますますのご発展とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

羽曳野市長 山入端 創

羽曳野市は大阪府の南東部に位置し、世界遺産（古市古墳群）と日本遺産（竹内街道）があるまちです。

また、生駒山系の山並みや石川・飛鳥川の水辺など豊かな自然に恵まれ、これらを活かして栽培しているブドウやイチジクは今旬を迎える市の名産品となっています。

本市では、今年4年ぶりに「やすらぎとふれあいの水辺『石川』の自然を守ろう！」をテーマに、市民の皆様と共に第36回石川クリーン作戦を実施しました。清掃活動を通して自然環境の保全と美化意識の高揚を図っています。

貴会が長年にわたり「せっけん運動」に取り組んでこられたことに敬意を表しますとともに、皆様の活動が今後益々進展されますことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

阪南市長 水野 謙二

阪南市は、海水浴や潮干狩り、ビーチバレーなど様々なイベントが行われる美しい砂浜、ホテルが飛び交う山沿いの河川など豊かな自然に恵まれており、大阪で唯一生産を行う海苔など、海や大地の恵みを受けた産品も多数あります。

また、全国初の官民共創による伊丹市、森林保有自治体 飯南町、海洋保有自治体 阪南市、(株)ソーシャル・エックスは、連携協定を締結し、資源循環・環境保全活動等の交流を通じ、社会課題解決によりソーシャルクレジット創出の取り組みを進めております。

その他にも阪南市と関西エアポート株式会社は、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創チャレンジとして、より豊かな海洋環境の創造に共同で取り組み、豊かな藻場造成による大阪湾の価値向上を目的とし、海藻移植を実施するなど、SDGsの理念のもとこれからも環境保全活動に努め、地球も輝く未来へともに取り組んでまいりましょう。

結びに、本年で43年目を迎えられた貴会の長年の取組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東大阪市長 野田 義和

モノづくりのまち東大阪は、北部に淀川水系のひとつである寝屋川が流れ、恩智川、第二寝屋川、長瀬川などの緩流河川が流れており、工場排水規制や下水道整備を進め、水質向上に取り組んでまいりました。

また、本市では、令和3年3月に第3次環境基本計画を策定し、豊かな水環境を創造し、次世代に引き継ぐための取り組みを進めております。

結びにあたり、地球環境保全に関する活動の先駆けとも言える、貴会の長年にわたる「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展を心よりお祈りいたします。

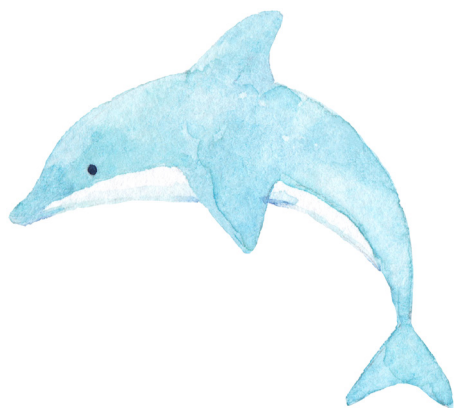
「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

藤井寺市長 岡田 一樹

藤井寺市は大阪府の南東部に位置する全国で5番目に小さい市です。市域には大和川や石川が流れ、世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群をはじめ、神社仏閣など歴史遺産に恵まれた魅力あるまちです。

本市では、6月20日に藤井寺市議会定例会におきまして、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「藤井寺市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。安全安心に暮らせる環境を次世代に引き継いでいくためにも、脱炭素化を目指し、環境に優しいまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会のせっけん運動をはじめとする環境保全活動への長きに渡る取り組みに、敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。



「シャボン玉月間」によせて

枚方市長 伏見 隆

枚方市は大阪、京都、奈良の中間に位置し、西には豊かな水の流れを持つ淀川が流れ、東には生駒山系に繋がる緑に溢れた里山が広がるなど、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

本市では、この美しい自然を次世代に継承していくため、第三次枚方市環境計画に基づき、「地域から地球へ、みんなでつなぐ豊かな環境～住み続けたいまち 枚方～」をテーマに掲げ、市民、市民団体、事業者、行政が連携協力し、様々な環境保全活動に取り組んでまいります。

「せっけん運動」を通した、貴会の長年にわたる取り組みに対し深く敬意を表しますとともに、この運動をきっかけに環境保全への関心がより一層高まることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」寄稿文

松原市長 澤井 宏文

松原市では、大阪初のセーフコミュニティ国際認証都市として、地域の安心・安全のため様々な取組を進めています。

災害対策につきましては、市民の皆様との協働での取り組みで、「自助」「共助」による地域の防災力を高める施策を進めております。

特に災害時において、水は「命をつなぐ生命線」として重要なものであり、水環境の保全は欠かせないものです。

また本市では、SDGsの理念を踏まえ、令和4年9月に「松原市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、子どもから大人まで一人ひとりが環境にやさしい行動を起こせるよう、環境教育や啓発活動に取り組んでおります。

今後も本市が、未来にわたり安心・安全なまちであり続けられるよう、環境保全活動に取り組んでまいります。

結びに、貴会が長年にわたり取り組んでおられる「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、さらに活動の輪が広がりますことを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

岬町長 田代 堯

大阪府の最南端に位置する岬町は、夕日百選の海と緑眩しい山々の豊かな自然に恵まれた美しい町です。

本年も「環境美化行動の日」を実施し、全町住民が一斉に身近な環境の清掃活動を行いました。また、昨年3月「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、環境負荷の軽減に取り組んでいます。本町の宝である美しい海をはじめとする豊かな自然環境を守るため、地域住民をはじめ多くの方が清掃活動に精励されています。今後とも「輝くまち」を創造し、住民協働による地域活性の取組みを推進してまいります。

本年度43年目を迎えられた貴会の水環境保全活動に敬意を表しますとともに、美しい自然を未来に引き継ぐための活動が、今後益々発展されますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

箕面市長 上島 一彦

箕面市は住宅都市として発展するかたわら、先人たちの尽力により、東西に横たわる山なみや田園風景などの豊かなみどりを維持し続けてきました。大切に育まれた景色を守るため、現在でも本市では、市民、事業者及び市が協力して様々な取り組みを進めており、多くの市民に本市の自然環境に魅力を感じていただいているところです。

この景色は将来に亘り保全すべき本市の貴重な財産であり、今後さらに一人一人が意識して環境問題に取り組んでいただけるよう啓発活動を継続し、自然環境保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、より一層発展されることを心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

守口市長 瀬野 憲一

守口市は、大阪平野のほぼ中央部、淀川の左岸に位置しており、貴重な自然環境が享受できる水辺空間の淀川河川公園、緑と水に親しむ空間として鶴見緑地や西三荘ゆとり道があります。

本市では、持続可能でよりよい世界を目指し、市民・事業者・行政等のあらゆる主体が環境問題に関心を持ちながら、脱炭素・循環型社会の構築と良好な環境の保全に向けた取り組みを推進してまいります。

永きにわたり、貴会が取り組んでおられる水環境の保全をはじめとした様々な活動は、環境へ配慮した循環型社会を実現させる上で必要不可欠であり、これまでのご尽力に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

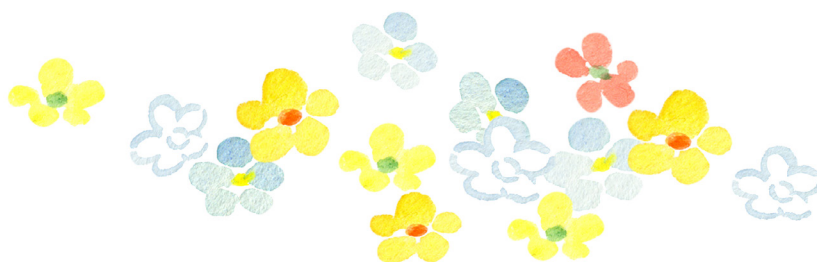
シャボン玉月間に寄せて

八尾市長 大松 桂右

八尾市は大阪府の中央部東寄りに位置しており、豊かな水辺空間が広がるとともに、東に生駒山系を臨む自然豊かなまちです。市内河川の水質については改善傾向にあり、環境基準を達成している状況が続いています。

ここ数年コロナ禍で実施できなかった河川の清掃イベントについても、実施できるようになり、年々関心が高まる海洋プラスチックごみの問題など、市民の方々にさらに環境保全に関する意識を持っていただけるよう、引き続き、イベント等をはじめとした様々な取り組みを進めてまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全に向けた活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。



● 兵庫県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

兵庫県知事 齋藤 元彦

兵庫県は、今年5月に内閣府が推進する「SDGs 未来都市」に選ばれました。全国に先駆けた“豊かな海づくり”の取組に加え、海藻類を活用した「ブルーカーボン」の検討、環境に配慮した生分解性プラスチックの活用促進、また、SDGsの達成に取り組む中小事業者の支援なども積極的に進めています。

このような中、せっけん運動ネットワーク会員団体の皆様が、せっけんの推奨活動などを通じて、水環境の保全に取り組んでおられることを心強く感じています。持続可能な地域をつくり、次世代へと繋いでいくため、これからもともに取り組んでまいりましょう。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

明石市長 丸谷 聡子

明石市は、明石海峡を望む風光明媚な海岸線や田畑、ため池などを有し、豊かな自然と水環境に恵まれたまちです。この明石の財産である貴重な自然環境を次世代へ引き継いでいくことは、我々の重大な使命であります。

貴会の今年の合言葉「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」が示すように、この美しい地球を次世代へ引き継いでいくため、市民、事業者の皆様とともに環境に配慮した取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

長年にわたり、生活者の視点から水環境保全活動に取り組んでおられる貴会に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

芦屋市長 高島 峻輔

芦屋市では六甲山の山々、芦屋川や海浜など豊かな自然に恵まれた特性を活かしながら、花と緑あふれる良好な住宅街のまちなみや文化的資源の保全を図ってきました。深刻化する環境問題の解決に向け、本市におきましても温室効果ガス排出量の削減を進めており、公益灯のLED化や再エネ・省エネ設備の導入に加え、令和3年6月にはゼロカーボンシティを表明し、市民・事業者・行政が一緒になって、地域全体で脱炭素社会の実現を目指しています。「世界一住み続けたいまち・芦屋」を実現するため、地域の環境と地球の環境双方を豊かにするための施策を進めてまいります。

結びに、貴会の環境保全活動に対し深く敬意を表し、運動の更なる広がりを祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

尼崎市長 松本 眞

尼崎市は、戦後、工業都市として急速に発展を遂げた一方、長く公害問題に苦しんできました。尼崎市の環境は、市民・事業者・行政が連携し、粘り強く取組を進めたことにより大きく改善されました。このような歴史や経験は、市民や事業者の皆様の高い環境意識として引き継がれ、2021年、地球温暖化による危機を乗り越えるために「尼崎市気候非常事態行動宣言」を表明し、2050年までに脱炭素社会を実現することを目標に、市民や事業者の皆様とともに取り組んでいるところです。

貴会の長年にわたる環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

伊丹市長 藤原 保幸

伊丹市は、東部に猪名川、西部に武庫川という大きな川が市内を流れ、昆陽池公園や端ヶ池公園、伊丹緑地等の自然緑地が整備された水と緑の自然資源の豊かなまちです。これまで市民とともにこうした自然資源を保全してきた結果、ヒメボタルやオニバスの生息、アオバズクが飛来する等、生物多様性の観点からも恵まれた環境が構築されてきました。

こうした自然環境の再生とともに今年3月に「伊丹市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し世界的な課題である地球温暖化対策に実効性を持って取り組むこととしました。

貴会のせっけんを入口とした未来につなぐ環境保全の活動に敬意を表しますとともに、せっけん運動の輪が広がることを心から祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

猪名川町長 岡本 信司

猪名川町は一級河川猪名川の源があり、緑豊かな山林に育まれ、阪神間のベッドタウンとして周囲の自然環境と調和しながら発展してきました。こういった豊かな自然を守っていくためには一人ひとりの日常生活における環境への配慮が大きな効果を発揮いたします。

そのような中で、貴会の環境に優しいせっけんを広める運動は、大変意義深いものと考えております。最後に貴会の美しい自然環境を未来に引継ぐための長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、貴会の活動を通じて環境保全への取り組みの輪が広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

石けん使おう！ 7月はシャボン玉月間」に寄せて

加古川市長 岡田 康裕

加古川市は、一級河川「加古川」をはじめ、北部の豊かな緑、南部の播磨灘や数多くのため池など、うるおいとやすらぎに恵まれたまちです。私たちは、美しく多様な自然をこれからも次代に引き継いでいかなければいけません。

本市では、令和4年2月に「加古川市ゼロカーボン

シティ宣言」を表明しました。重点的に進めていく施策の一つである、森林をはじめとした里山、川、海の豊かな自然を保全する取組は、貴会が進めるSDGsの「14. 海の豊かさを守ろう」の活動に通じるものであり、今後も環境先進都市の実現に向け、さらなる取組を進めてまいります。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

川西市長 越田 謙治郎

川西市は、兵庫県の南東部に位置し、南北に貫くように猪名川が流れています。北部には、一庫ダム、知明湖、「日本一」と言われる黒川周辺の里山、猪名川溪谷など、自然を身近に感じられる環境があります。

本市は、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、自然がもたらす恩恵を将来世代に引き継ぐべく、「市民」「事業者」「行政」が一体となって取り組んでおります。

貴会の「せっけん運動」における次世代にきれいな水と豊かな自然を残すための活動は、非常に意義深い活動であると認識しており、今後もこの活動の輪がますます広がり、美しい自然環境が守られることを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

神戸市長 久元 喜造

神戸は、市街地から近い場所に六甲山や里山農村地域が広がり、瀬戸内海に面した豊かな自然環境に恵まれています。この特長を最大限に活かし、持続可能なまちづくりを進めていくため、昨年12月、SDGsの考え方を取り入れ、「海と山が育むグローバル貢献都市」をテーマとした「神戸2025ビジョン」を策定しました。

特に、近年、のりの色落ちや漁獲高の減少等の課題がある瀬戸内海については、周辺自治体とも連携して「豊かな里海づくり」に向けて取り組みを進めており、本市では、地球温暖化対策の新しい選択肢としても注目されているブルーカーボンを推進しています。

最後に、貴会が進めるSDGs達成に向けた活動の輪が益々広がることを祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

高砂市長 都倉 達殊

高砂市は、兵庫県内最大の加古川の下流と播磨灘に面しており、その水利は優れた景観、肥沃な土地となり、大きな恩恵を受けてきました。

本市では、未来へより良い環境をともにつくるため、ゼロカーボンを推進しており、デジタル技術を活用した「たかさご未来資産を貯めようプロジェクト」をはじめ、大規模海浜清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」など、豊かな水環境を保ち、住みやすい生活環境を次世代に引き継ぐための事業を、市民とともに取り組んでおります。

貴会の手洗い活動や水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、潤いと安心な暮らしがあるまちづくりのため、活動の輪がますます広がりますことを心からご祈念いたします。

2023 年シャボン玉月間によせて（宝塚市）

宝塚市長 山崎 晴恵

宝塚市は、長尾山系及び六甲山系の緑に囲まれた南部地域、里地里山の田園風景が広がる北部地域、地域の中央を流れる武庫川といった、豊かな自然環境を有するまちです。

本年は、本市の無形民俗文化財である西谷ちまきが、文化庁の100年フードに認定されました。西谷ちまきには、昔から北部地域の水辺に生えるヨシと里山に育つナラガシワが組み合わされて使われていますが、今も豊かな水辺と里山が保全されているあかしといえます。

今後とも、市民の皆さんと行政が協力して良質な水辺環境の保全に努めてまいります。

引き続き新型コロナウイルス感染症などの感染拡大防止策として、石けんを使用しての手洗いが広く普及し、貴会の活動が今後ますます発展されますことを心より祈念いたします。

「シャボン玉月間に寄せて」

西宮市長 石井 登志郎

西宮市は夙川の桜並木や緑豊かな六甲の山並み、また砂浜の残る甲子園浜や香櫨園浜など多くの自然を有しております。

本市では、この恵まれた自然環境を守るために、平成15年、全国に先駆けて「環境学習都市宣言」を行い、より良い地球環境を目指して、今日まで環境学習の施策を進めてまいりました。

今年、同宣言から20年という節目の年を迎えます。先代から引き継いだ豊かな自然を維持・継承していくために、PRTR法を踏まえ、今後も多様な主体とのパートナーシップを通じ、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がり、大きな成果を得られますことをお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三木市長 仲田 一彦

三木市は、兵庫県の南東に位置し、加古川の支流、美嚢川が中央部を南西に流れ、美嚢川周辺には平野部が広がり、それを囲むなだらかな丘陵地と台地で構成された緑豊かな自然に恵まれているまちです。

本市では、三木市環境総合計画において定めた「生物多様性に配慮した自然と共生するまち」の実現に向け、子どもたちが自然とふれあうことができるジオトープを設置し、市民団体等と連携して環境学習を行うなど、恵まれた自然環境の保全に取り組んでいます。

「せっけん運動」を通して環境保全を推進している貴会の活動に敬意を表するとともに、この活動を通じて多くの方々に環境保全への関心がますます高まることを心より御祈念申し上げます。

● 岡山県

「せっけん使おう！シャボン玉月間」に寄せて

赤磐市長 友寛 武則

赤磐市は、岡山県南東部に位置しており、岡山県内三大河川の一つ吉井川が流れ、「肥沃な大地」と瀬戸内海特有の「温暖な気候」、「豊かな日照量」という気温と湿度が安定している地域です。

市内ではこの豊かな気候を利用し、果樹栽培やワイン、酒造りが盛んに行われています。

この恵まれた自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、今後も海や河川環境美化活動、食品ロス削減やごみの分別による資源循環などによる環境保全活動を実施し、また、公共下水道等整備を推進し、水質の保全に努めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる『せっけん運動』を通しての取組みに敬意を表しますとともに、今後の皆様方の活動の輪がさらに広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

浅口市長 栗山 康彦

浅口市は、北の遙照山系から南の瀬戸内海まで多様であり、気候は温暖小雨で過ごしやすく自然に恵まれた地域です。

本市では、「第2次浅口市環境基本計画」を策定し、5つの基本目標と12の環境施策を示し、行政・市民・事業者・市民団体が連携して、良好な生活環境の形成に向け、取組を推進していきます。

地球規模での環境問題は深刻化しており、地球温暖化対策として脱炭素社会の実現や資源を最大限に有効活用する持続可能なまちづくりが求められています。

貴団体の、「せっけん運動」に敬意を表すとともに、運動のさらなる発展を心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

岡山市長 大森 雅夫

岡山市には、吉備高原に連なる北部の丘陵地から瀬戸内海に面した平野部まで広大な市域があり、変化に富んだ地形に多くの野生生物が生息・生育する自然環境が存在しており、私たちは豊かな水と緑をはじめとした自然のめぐみを享受しながら四季折々の暮らしを営んできました。

この自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継いでいくため、本市では、「岡山市生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性の保全とまちの発展の両立をめざして取り組んでいます。

長年にわたり水環境を保全する運動に取り組まれている貴会の活動に敬意を表しますとともに、豊かな自然を守っていくため、今後の活動がますます発展することを祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鏡野町長 山崎 親男

鏡野町は、岡山県の北部に位置し、中国山地を成す山々に囲まれています。本町と鳥取県三朝町の県境に整備したトレッキングコース「高清水トレイル」では、その山並みと豊かな自然を楽しむために多くの人が訪れます。また、一級河川吉井川の源流があり、初夏には町内各所でホタルが飛び交う美しい光景を見ることができます。

今年度、最重点施策として循環型社会の形成について、ごみの減量化・ごみの発生抑制・再資源化等に取り組むとともに、地域住民に意識の高揚を図ることに努めています。

長年にわたり貴会が取り組まれている水質保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「シャボン玉月間に寄せて」

笠岡市長 小林 嘉文

笠岡市は、瀬戸内海に面し、風光明媚でありながら日本遺産に認定されている石材産業を有する笠岡諸島など、自然と歴史文化が調和した魅力的な自然環境を有しております。

本市では、この豊かな自然環境を保全し、SDGsの目標の一つである「住み続けられるまちづくり」を目指すとともに、第3次笠岡市環境基本計画に、「自然豊かで安心してくらせるまち“かさおか”」を望ましい環境像とし、その実現に向けた様々な施策を、市民や事業者と一体となって取り組んでいるところであります。

長年にわたり貴会が取り組まれております水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後益々その輪が広がることをご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

吉備中央町長 山本 雅則

岡山県のだ真ん中に位置する吉備中央町は、岡山県のへその町と称され、その中心に吉備高原都市を有し、ブッポウソウを町のシンボルとした自然豊かな町です。

初夏には、ゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交い、なかでも豊岡川では、ひときわ多くのホタルが川面を乱舞し、幻想的な光景を見せてくれます。

豊かな自然と深い関わりのある本町では、水環境保全の大切さを理解し、コシヒカリ、円城の白菜、ピオーネなどの生産に活用されています。この良好な環境を次の世代へ引き継いでいくため、環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の活動に対し心から敬意を表しますとともに、石けん運動の益々のご発展を願い、メッセージとさせていただきます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

里庄町長 加藤 泰久

里庄町は岡山県南西部に位置し、緑あふれる自然豊かな町で、古くから交通の要衝として経済・文化の交流があり、時代の流れとともに姿を変えながら発展してきました。多くの自治体で人口減少が進行している中、人口1万人台を20年以上維持しています。

本町では、下水道整備・合併浄化槽等の普及促進による環境保全への取り組みを行っています。

貴団体が「せっけん運動」を通じた長年にわたる水環境の保全活動に取り組まれていることに心より敬意を表しますとともに、今後一層、取組の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

瀬戸内市長 武久 顕也

瀬戸内市は、西端に一級河川吉井川が流れ、西部は平野部が広がり、南東部は瀬戸内海に面した丘陵地となっており、南東部、牛窓地域周辺の海はその美しさから、「日本のエーゲ海」と呼ばれています。そしてその美しい海は、多様な海洋生物の生息地となっています。本市では、その豊かな自然環境を守るため、市民の皆様に海岸清掃にご協力をいただき、市民と行政が協力しながら水質の保全に努めています。また、市民団体が廃食用油を再利用した石けんを作り、古紙回収へのお礼としてお渡しする取り組みを支援しており、循環型社会の推進もしています。

これからも次世代を担う子どもたちをはじめ市民が安全に暮らせるよう、市民と共に、環境の取組を推進してまいります。

貴団体の活動に敬意を表しますとともに、今後さらに活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

総社市長 片岡 総一

総社市は岡山県南に位置しており、市の中心部を岡山三大河川の一つである高梁川が流れています。本誌は高梁川とその支流の豊富な水の恩恵にあずかっており、その水の恵みを受けている私達が、水環境を守ることは当然です。そのために、私たち一人ひとりが「水」という限りである資源に対し、今できることは何かを考えていくべき時が来ていると思います。水環境の保全を通じ、水の大切さを次世代へ引き継ぐことも私達の使命であり、責務は重大だと思っています。

貴団体が「せっけん運動」を通じ、長年、水環境の保全活動に取り組まれていることに敬意を表しますとともに、今後さらに取組の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

津山市長 谷口 圭三

津山市は、岡山県北東部に位置し、北部を中国山地に接し南部を岡山県三大河川の一つである吉井川が東西に貫流する、豊かな水と緑に恵まれた自然豊かな地域です。

本市では、吉井川流域を中心として、毎年6月に河川清掃を実施しており、河川敷のごみを取り除くなど、水環境の保全に取り組んでいます。本年度は約1400名の方々にご参加いただきました。

また、小学生を対象に体験型の環境学習「水の学校」「森の学校」を開催し、幼い頃から地域の自然環境に触れる機会を場を設けています。

貴団体の美しい環境を未来世代へ繋ぐ取り組みに敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

備前市長 吉村 武司

備前市は、岡山県の南東に位置し、島々に囲まれた水資源豊かな土地です。その豊かな水資源を守るために地元の関係者を中心に、幼魚などが集まる海の保育

場としての役割を果たすアマモ場再生活動を約35年以上前から地道に取り組んでおり、12ヘクタールまで減少していたアマモ場が、約250ヘクタールまで回復しています。

貴会の推奨するせっけんによる手洗いは、地球環境・生活環境保全に大変有意義であり、「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」の合言葉のもと、この取り組みが広がっていくことを願っています。

最後に貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」活動によせて

真庭市長 太田 昇

真庭市は、岡山県の北部に位置しており、北は鳥取県に接し、南北約50km、東西約30kmと県下で最も大きな自治体です。市内中心部を蒜山高原を源流として旭川が流れており、市域の8割が森林面積が占めています。市内には、豊かな自然や歴史遺産など多彩な資源があります。本市では、この豊かな自然環境を守り、未来に繋げるため、「SDGs 未来杜市真庭」「ゼロカーボンシティまにわ」宣言など、市民・事業者・行政が連携して様々な環境保全活動に取り組んでいます。これまでの貴団体の活動に敬意を表しますとともに、今後の「せっけん運動」の取組がより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

美咲町長 青野 高陽

美咲町では、「こどもの笑顔は みんなの幸せ」をキャッチフレーズに、まちを挙げて子育て支援を高めています。

この子供たちの未来に、美しい自然環境を引き継いでいくため、ごみ減量化や3Rを推進し、環境保全に取り組んでいます。

また、瀬戸内海へ続く河川上流域の町として、海ごみ発生抑制に積極的に取り組んでまいります。

長年にわたる貴団体の「せっけん運動」の取り組みがより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

美作市長 萩原 誠司

美作市は、岡山県北東部の東は兵庫県、北は鳥取県との県境に位置します。市北部には、氷ノ山後山那岐山国定公園に指定されている後山があり、後山から湧き出るわき水は市を南北に流れる吉野川に注がれています。

市の大半は山林に囲まれている中山間地域であり、この恵まれた環境を守るため、下水道は、市内ほぼすべての地域で普及を終え、河川水質の保全に努めています。

ごみ問題にも積極的に取り組んでおり、資源ごみは20種類以上の分別を市民にお願いし、環境に対する意識を高めることに努めています。

貴団体の「せっけん運動」には深く敬意を表するとともに、環境保全の取り組みがますます広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

和気町長 太田 啓補

岡山県南東部に位置する和気町は、三大河川である吉井川とその支流河川など水に恵まれた環境にあり平野部に広がる農地では水稲や野菜、果樹の生産が行われております。また、古くは高瀬舟などで繁栄した街であり水との関係は深く、現在にいたっています。

本町では、平成9年に下水普及率100%を達成し、またごみの減量化対策として町内協力店でのレジ袋有料化を平成21年度から独自に実施するなど、地域の方々の協力のもと環境対策を進めてきました。

今後においても環境に配慮した施策を実施し、環境にやさしいまちづくりの実現を目指していきます。

貴団体の活動に心より敬意を表するとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

● 広島県

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大竹市長 入山 欣郎

大竹市は、豊かな自然に恵まれた都市であります、大規模工場が立地する臨海工業都市でもあります。

かつて水質汚濁などの公害が問題となった時期があったものの、昨今では大きく改善しておりますが、今後も市民・事業者・市が協力し合い、環境保全へ取り組んでいくことが重要であると考えています。

当市では、次代を担う子どもたちに向けた環境学習により、温暖化防止や水質保全の重要性といった環境対策への興味・関心を育成するとともに、市内企業と連携した環境保全への取り組みも進めております。

貴会の「せっけん運動」も同じく環境保全に資するものとして心より敬意を表するとともに、活動の輪がより広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

呉市長 新原 芳明

呉市は市域に島々が多く点在し、広島県内の瀬戸内海国立公園の陸地部面積の4割強を占める等、優れた景観や歴史的風土に所在しています。

漁業が盛んで、美しく恵み豊かな海の環境を有する一方、海洋プラスチック問題など、水環境に関する課題がございます。

このため、昨年度策定いたしました第3次呉市環境基本計画においても、水環境の保全に積極的に取り組むこととしております。

貴組合が長年にわたり継続されておられる水環境の保全活動は非常に心強いものであり、深く敬意を表するものでございます。

今後とも、貴組合の活動が更に発展するよう御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

廿日市市長 松本 太郎

廿日市市は、北は中国山地、南は瀬戸内海に至る自然豊かなまちです。世界遺産を擁する宮島は、原生林の残る自然豊かな島であり、絶滅危惧種ミヤジマトンボの生息する湿地は、ラムサール条約に登録されています。

本市は、令和4年6月に「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを表明し、令和5年4月18日には環境省の「ゼロカーボンパーク」に宮島地域が登録され、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、一人ひとりが暮らしの中で実践できる身近な環境保全活動として大変意義深いものであり、長年にわたる御尽力に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がり、美しい自然が次代へと引き継がれることを切に願います。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

東広島市長 高垣 廣徳

東広島市は、緑溢れる山々から瀬戸内海まで豊かな自然環境に恵まれております。また、その豊かな自然からもたらされる地下水の恩恵を受け、日本有数の銘醸地としても知られております。

この豊かな水環境を次世代に引き継ぐため、本市では公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置を推進するほか、環境学習や出前講座といった啓発活動など、市民・事業者と連携しながら、環境保全活動に取り組んでいるところです。

他団体とも連携した「せっけん運動ネットワーク」による取り組みなど、貴組合の長年にわたる環境保全活動へのご尽力に、同じ未来を目指すパートナーとして敬意を表しますとともに、今後益々、活動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

広島市長 松井 一貴

広島市は、太田川河口デルタを六つの川が流れ、南側の瀬戸内海に注いでおり、市民が気軽に水辺に親しむことができる、「水の都ひろしま」と呼ばれています。

本市では、環境面から目指すべき都市像として、「第3次広島市環境基本計画」において、「将来にわたって、豊かな水と緑に恵まれ、かつ、快適な都市生活を享受することができるまち」を掲げ、生活排水対策や水辺の保全活動など「健全な水循環の確保」を進めながら、水と緑を生かした潤いのあるまちづくりを推進しています。

こうした中、貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後、シャボン玉月間を始めとした活動の輪がさらに広がりますことを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

府中町長 佐藤 信治

府中町は、総面積 10.41 k m²に約5万3千人が住み、コンパクトで密度の高い市街地を形成していますが、自然の溪谷を生かした緑豊かな憩いの場、水分峠があるなど、豊かな自然環境を身近に親しむことができる街でもあります。

本町では、令和5年3月に「府中町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。ゼロカーボンに向け、町民・事業所・行政が連携し、地球温暖化対策や環境保全活動などの取り組みを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後も更なる活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

● 山 口 県

「シャボン玉月間」によせて

岩国市長 福田 良彦

岩国市は、北に雄大な中国山地がそびえ、市内には「清流の女王」と呼ばれる鮎が生息する清流錦川が流れるなど、緑と水が共存する自然豊かな街です。

この恵まれた自然環境を次世代へと継承していくためには、私たち市民一人ひとりが環境に対する問題意識をもって行動していくことが何よりも大切であります。

毎年6月の環境月間に開催している「岩国環境フェスタ」では、貴会をはじめとする市内外の団体や企業に出展していただいております、市民が環境問題を考えるきっかけとなっています。

貴会の長年にわたる様々な活動に深く敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がり、持続可能な社会が実現されることを心より期待しております。

シャボン玉月間によせて

宇部市長 篠崎 圭二

宇部市は山口県南西部に位置し、北部には緑豊かで美しい水辺を持つ里地里山が広がり、南部は穏やかな瀬戸内海に面している自然豊かなまちです。

本市では、地域に関わる全ての人々が課題を共有し、共に新しい価値を生み出す「共創」によるまちづくりを進めており、市民、団体、事業者等と共に生物多様性保全活動など、水環境の保全につながる様々な環境対策に取り組んでいます。

コロナ禍において、改めて手洗いの有効性が再認識される中、人と環境にやさしいせっけんの使用を広める「せっけん運動」を通じて水質保全に取り組む貴会の長年にわたる活動に対して敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますことを心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

下松市長 国井 益雄

下松市は山口県の南東に位置し、瀬戸内海に面しています。山や島の豊かな自然に恵まれ、温見（ぬくみ）ダム、末武川ダム（愛称米泉湖）という二つの水資源を持つ住みよいまちです。

本市では、水源の重要性を再認識し、水源地域の環境を保全することを目的としたダム周辺の清掃を地元のボランティア団体と一緒に定期的に行っています。環境を守り次の世代に引き継いでいくために、継続して努力を重ねていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

山陽小野田市長 藤田 剛二

山陽小野田市は山口県の南西部に位置し、市の中央部には北から厚狭川が、東部には北東から有帆川が、それぞれ南流して瀬戸内海（周防灘）に注いでいます。明治維新後、セメントを中心とした化学工業が発展し、現在も県内有数の工業都市として、人と自然と工場が密に調和したまちとなっています。

この豊かな自然を次世代につないでいくために、本市では「水辺の教室」や「環境展」を実施するなど環境保全意識の高揚に努め、市民との協創による自然環境の保全を推進してまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表すとともに、今後ますますのご発展とご活躍を心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

下関市長 前田 晋太郎

下関市は本州最西端に位置し、関門海峡を挟んで、東に周防灘、西に響灘と3方が海に開かれ、木屋川をはじめ大小の河川が市内各所を流れるなど、豊かな自然と水環境に恵まれた風光明媚な景観があります。

この美しく潤いのある自然を未来の世代に引継げるよう、本市では「ゼロカーボンシティしものせき」の宣言を行い、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明いたしました。脱炭素社会の実現に向けて、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

貴会の石けん運動も、環境負荷を低減し、河川の水質を保全する上で、意義深いものであると考えております。今後、活動の輪がさらに大きく広がることを心から祈念しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

周南市長 藤井 律子

周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地、南に瀬戸内海を臨み、臨海部には日本有数の石油化学コンビナートを有する自然と産業が調和したまちです。

現在、世界の共通課題であるカーボンニュートラルの推進に向けて、市では全国のモデルとなるよう市民の皆様と企業・事業所と連携して取り組んでいます。

令和5年度は合併後20周年の節目を迎えます。まちの発展と持続可能性を同時に叶え「輝く未来」につなげるため、これからも地球環境の保全に貢献してまいります。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に深く敬意を表しますとともに、今後も「せっけん運動」の輪がより一層広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

周防大島町長 藤本 浄孝

周防大島町は、山口県東南部に位置し、温暖な気候に恵まれた瀬戸内海の浮かぶ島では3番目の面積を有した自然豊かな島です。

本町では、公衆衛生上並びに新型コロナやインフルエンザなどのウイルス感染症への対策として、石けんの使用による日常生活での手洗いが地域を守り、家族を守り、そして何より自分を守るために欠かせない基本的な行動であると考えております。

貴会の長年にわたる「石けん運動」を通じ石けんの使用を推奨し、環境・衛生活動にご尽力いただいておりますことに、「シャボン玉月間」が更なる環境・衛生の関心につながりますことを心から祈念いたします。

せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

田布施町長 東 浩二

田布施町は、山口県の南東部に位置し、北西部にある山岳地帯を源として中央部を流れる田布施川の土手は、春になると桜が満開となり、多くの人たちで賑わいます。

このすばらしい自然環境を守るため、本町では平成14年度より「美しいまちづくり推進条例」を制定し、住民、事業者及び行政が一体となって、美しいまちづくりを推進しています。

今後もこの豊かな自然を守り、後世に引き継いでいけるよう、地域住民や団体と協働し、河川や海岸の水質保全を推進していきます。

今後、貴会による「せっけん運動」の輪が広がり、人々の水環境への関心がさらに高まることをご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

光市長 市川 熙

光市は、山口県の東南部に位置し、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸や、市民や水鳥の憩いの場である島田川など、水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。

市では、本年3月に「第3次光市環境基本計画」を策定し、「人と自然がゆたかに調和する 持続可能な環境都市 ひかり」を将来像として、美しく素晴らしい自然の保全や共生に市民と協働して取り組むこととしています。

その実現のため、市民総参加で取り組む環境美化活動や、未来を担う子どもたちを対象とした自然体験学習をはじめとする世代に応じた環境学習の場の創出等に努めています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることを心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

平生町長 浅本 邦裕

平生町は、山口県の東南部、室津半島の西に位置し、瀬戸内海国立公園の一端を形成している豊かな自然環境に恵まれた町です。

本町では、第5次平生町総合計画において「安全で快適に暮らせるまちづくり」を目標の一つに掲げています。貴会が長年水環境を守る活動に取り組まれておられますように、本町も美しい自然と快適な生活環境の下で生活できる町を目指し、住民・事業者等との協働による活動を進めております。

貴会の「せっけん運動」による環境保全活動の取り組みに敬意を表するとともに、今後の活動の更なる発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

防府市長 池田 豊

防府市は、山口県の中央部に位置し、瀬戸内海と中国山地に連なる山々に囲まれた平野に一級河川「佐波川」が流れる自然の恵み豊かなまちです。

この防府で生まれ育った、漂泊の俳人と呼ばれる「種田山頭火」は、各地を旅する中で水を詠んだ句を数多く残しています。

あるいて水音のどこまでも
 ころおちつけば水の音
 ふとおもひでの水音ばかり

本市では、山頭火の詠んだ情景を守り、将来の世代に継承するため、毎年7月に開催する「佐波川一斉清掃・市民一斉清掃」をはじめ様々な環境施策に取り組んでいます。

水環境を守るための取組である「せっけん運動」をはじめとする、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪が更に広がりますことを心から祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

柳井市長 井原 健太郎

山口県の南東部に位置する柳井市は、多島美を誇る瀬戸内海に面し、日照時間が長く、温暖な気候に恵まれた自然豊かなまちです。

こうした自然環境を次世代に受け継いでいくため、夏休みには小学生とその保護者を対象とした「親子の水辺の教室」を開催します。多くの親子が参加され、身近な河川の水辺に親しみ、水生生物を採取・観察海や自然環境に与える影響への理解を深め、水質保全の大切さを学習します。

皆様の長年にわたる水環境の保全に向けた活動に敬意を表するとともに、今後も「せっけん運動」の活動の輪が広がっていきますことを心からお祈りいたします。

シャボン玉月間によせて

山口市長 伊藤 和貴

山口市は、樺野川を始め多くの清流を有しており、北部の森林から南部の瀬戸内海に面するまで、豊富な自然環境に恵まれたまちです。

本市は昨年11月に国の脱炭素先行地域に選定され、2050年のゼロカーボンシティの実現に向け、地域脱炭素の取組を進めています。

引き続き、市民・事業者・市が一体となり、本市の地域資源を最大限活用しながら地域脱炭素の取組を進めつつ、環境の基盤となる大気、水などを良好な状態に保持・保全し、自然環境と調和した快適で安全・安心なまちを目指します。

結びに、貴会が長年にわたり推進される「せっけん運動」の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」メッセージ

和木町長 米本 正明

和木町は、山口県の最東端に位置し、小瀬川を挟んで広島県と隣接し、東は瀬戸内海に面した小さな町です。

町内の水環境保全の取り組みでは、和木町生活学校の皆様が、食廃油を石鹼にリサイクルする活動を長年続けておられ、その石鹼は「しらうお石鹼」として多くの方々に愛用されております。

本町は令和5年4月に町制施行50周年を迎えました。これまで町を築き上げてこられた諸先輩方に敬意を表し、また、これからの町民の皆様と共に町づくりをしっかりと進めていくことを再確認したところです。

結びに、貴会の水環境を保全する活動に対しまして、心から敬意を表するとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

● 福岡県

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

赤村長 道 廣幸

赤村は、福岡県の東部に位置しており、英彦山を源流とした今川が流れ、緑豊かな大自然に恵まれた村です。

本村は、県内でも有数の良質米の産地、特に美味しいお米には欠かせない「きれいな水を後世に残す」をキャッチフレーズに、住民の皆様とともに、これまで以上に全力で取り組んで参ります。

全世界的にも、「持続可能な開発」に対する取り組みが活発化している中、貴会の長年に亘る「せっけん使用運動」が本村にとっても欠かせない取り組みであると深く敬意を表するとともに、この活動の輪がさらに広がることと、貴会の今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

朝倉市長 林 裕二

朝倉市は、北部には古処山をはじめとする山々があり、南部には筑後川が流れているほか、市内の黄金川には全国で唯一、絶滅危惧種のスイゼンジノリが自生するなど水と緑の豊かなまちです。

本市では、この豊かな自然を守っていくために地元と共に保全活動を行っています。また、令和4年1月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、今後ともより一層、環境保全に尽力してまいります。

貴会の長年にわたる水環境を守る活動に敬意を表するとともに、今後ますます「せっけん運動」の輪が広がっていくことを心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

芦屋町長 波多野 茂丸

芦屋町は、町の中央を遠賀川が流れ、北側は響灘に面し、美しく変化に富んだ海岸線となっており、毎年多くの方が海水浴や釣り等を楽しまれております。

このような恵まれた水環境を将来に引き継ぐため、町では、「未来へと みんなでまもりみんなでつなぐ美しい芦屋の郷里」を環境像とした「芦屋町環境基本計画」を策定し、町民・事業者・行政の協働により、環境保全の意識を高め、海岸の清掃活動「ラブアース・クリーンアップ」や「町内一斉清掃」などに取り組んでおります。

貴会の長年にわたる、水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

飯塚市長 片峯 誠

飯塚市は、第3次飯塚環境基本計画において「ひと＋自然＋やさしいまち＝いいづか」という将来像を掲げ、うるおいのある快適な生活環境の実現を目指しています。

水環境については、污水处理人口普及率の向上、河川の水質監視など水環境保全へ向けた取組を推進しています。

市民、事業者、行政が一体となって、環境問題に取り組んでいくことが求められる中、貴会が取り組まれている「せっけん使用運動」が環境啓発に多大な貢献を果たしていることに敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

糸島市長 月形 祐二

福岡県西部の糸島半島に位置し、北に玄界灘、南に脊振山系の山々を有する自然豊かな田園都市である本市では、美しい環境を次世代へ受け継いでいくため、SDGsの考え方に対応した地球温暖化対策や自然の保全と共生、快適な生活環境の保全等に積極的に取り組

組んでいます。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

うきは市長 高木 典雄

うきは市は、「うきはテロワール」と名付けた独特の風土からなる自然に恵まれた水と緑とフルーツのまちです。

本市では「人と自然が共生するまち」を目指し、自然環境保全の一環として「うきはテロワール生物多様性調査」を実施しており、昨年度は動植物現況把握調査を行い、市内に育成・生息する動植物を紹介するパンフレットの作成など取り組みを推進しています。

貴会の長年に渡る水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が大きく広がりますことをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

宇美町長 安川 茂伸

宇美町は、面積の約6割を森林が占め、自然豊かな一本松公園（昭和の森）では、年中、多くのキャンパーが来場し、夏場は涼を求め多くの方々が川遊びなどで賑わいを見せます。また、日本遺産認定の「国指定特別史跡 大野城跡」を有するなど、自然と歴史の資源が多い町です。

豊かな自然を次世代へ受け継いでいくため、「ゼロカーボンシティうみ」を宣言し、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにすることを目指すとともに、森林保護、水環境の保全に努めてまいります。貴会の長年にわたる水環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大川市長 倉重 良一

大川市は、福岡県の南西部、筑後川が有明海に注ぐ河口に位置する水と緑の豊かなまちです。また、市内を延べ300キロメートルにもわたるクリークが縦横に走り、独自の景観を有しています。自然豊かな環境を次世代へ繋いでいくため、本市では第6次総合計画中に基本目標の一つとして、「人と自然に調和した都市空間を共創するまち」を掲げ、市民と協働してクリークをはじめとする水辺の環境保全、環境美化に取り組んでいます。

貴会の水環境を守る取り組みとして、「せっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、今後この運動の輪が広がっていきますことをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大木町長 広松 栄治

大木町は町民のみなさんと一体となって、子どもたちが生きる時代に「つけ」を残さない「循環のまちづくり」に取り組み、大きな成果をあげてきました。

その取組のひとつとして、平成16年から食用廃油の分別収集を開始し、収集した食用廃油の一部は石鹼として蘇らせ、農産物直売所「くるるん夢市場」や天然温泉・大木の湯「アクアス」で販売しご好評をいただいております。

貴会の「水環境保全に対するせっけん使用運動」は本町の理念とも通じるものがあり、深く敬意を表しますとともに、この運動の輪がより一層広がりますよう心から祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大任町長 永原 譲二

貴団体の長年にわたる環境問題に対する取組に敬意を表します。

さて、大任町は町の中心部を彦山川が南北に貫流しており、『花としじみの里』として、町おこしを行っています。

1個のしじみが、1日コップ1杯の水を浄化することから、当町では、「しじみ」をクリーンアップシンボルとし、「大任町しじみ育成保護条例」の制定や、町内の小学生による「しじみの放流事業」を実施しています。

また、町民のボランティアによる花植え作業を行うなど、町全体で「日本一の美しい花のまちづくり」を行っています。

豊かな自然環境を次世代に残すため、貴団体の活動に寄与できますよう、これからも水環境保全と緑豊かなまちづくりに尽力して参ります。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

岡垣町長 門司 晋

岡垣町は、北は響灘、南は孔大寺山系に彩られた自然豊かな町です。

町内には6カ所の水源に14本の井戸があり、町の水道水は、水源の85%を井戸からくみ上げられる地下水が占めるなど、おいしい水に恵まれています。

本町ではこの恵まれた水環境を次世代へと引き継ぐため、町内の河川の草刈りや清掃、また海岸線を一斉に清掃する「ラブアース・クリーンアップ」を実施するなど、住民・事業者・行政が一体となって環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の水環境を守る視点到賛同し、本町といたしましても、次世代にきれいな水と豊かな自然を繋いでいくよう、努めてまいります。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

遠賀町長 古野 修

遠賀町は町の東側に遠賀川、中央部を南北に同水系の河川が流れ、町内を水路の巡る豊かな自然環境を有する町です。本町では、おながレガッタやラブアース活動、オニバス再生など水に関わるイベント・事業も多く、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことから、町民の水環境への意識と関心の高まりがさらに期待されているところです。

また、令和4年3月に策定した第2次遠賀町環境基本計画の「笑顔つなぐ 水と緑のまち おなが」を環境像として、引き続き環境保全と継承に向け取り組みを実践しております。

身近にある水がよりよい環境で次世代に引き継がれるためには、行政・町民が一体となった活動の継続と発展が不可欠であります。

貴生協の「水環境保全に対するせっけん使用運動」へ長年の取り組みに敬意を表しますとともに活動の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

小郡市長 加地 良光

平坦な土地に田園風景が一面に広がる自然豊かなまち小郡市、市の南北を貫く宝満川を美しい天の川に見立て、七夕神社を拠点に「七夕の里」として、まちづくりに取り組んでいます。

この宝満川では、多くの市民や団体の皆さまに主体的にご参加いただき、河川美化運動を毎年実施しています。

貴会が長年取り組まれている水環境保全活動に対し敬意を表し、この活動の輪がさらに広がりますよう心からお祈り申し上げます。

応援メッセージ

大牟田市長 関 好孝

大牟田市は福岡県の最南端に位置し、海と山に囲まれた自然豊かなまちです。本市では、「大牟田に住みた

い」と思っていたけよう、安心・安全で魅力的なまちの実現に向けた様々な施策に取り組んでいます。

そのひとつとして、世界共通の課題である温室効果ガスの削減に取り組むことにより「ゼロカーボンシティ」を目指すこととしております。

消費者である自らの暮らし方を見直し、水環境の保全や豊かな循環型社会の実現を目指す貴会の取組に対し、深く敬意を表し、皆様方の今後益々の御活躍を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大野城市長 井本 宗司

大野城市は、御笠川と牛頸川、平野川を有し、古くから川と共に発展を続けてまいりました。この恵まれた水辺環境を次世代へ繋ぐため、河川敷の美化活動である「御笠川・牛頸川・平野川フェスタ」を毎年実施しております。また、令和2年度に「ゼロカーボンシティ大野城」を宣言し、その取組のひとつとして、豊かな自然を育み、多様な生物と共存するまちを目指した活動を行っています。

貴会の長年に渡る「せっけん使用運動」に対し改めまして敬意を表しますとともに、シャボン玉の輪が大きく広がりますよう祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

春日市長 井上 澄和

春日市は、福岡都市圏の中央部に位置しており、筑前三大池の一つである白水大池がある、水と緑あふれる住宅都市です。

本市は、市制50周年を迎えた令和4年度に、脱炭素社会の実現に向け、「春日市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。次の50年に向けて、自然環境の保全や公園の緑化推進等に、住民、行政が一体となって取り組んでいます。

貴会の長年の取り組みに敬意を表しますとともに、今後活動の輪がより一層広がりますことを心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

嘉麻市長 赤間 幸弘

嘉麻市は、福岡県のほぼ中央に位置し、遠賀川の源流を有する、緑に包まれた自然豊かなまちです。

本市では、山田クリーン作戦や I L O V E 遠賀川 i n 嘉穂での河川清掃、合併処理浄化槽の設置にかかる費用を一部補助する事業などを実施し水環境保全活動に取り組んでいます。

今後も、次世代を担う子ども達により良い環境を引き継ぐよう努めてまいります。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」を通じて、水環境保全の理解が深まり、活動の輪がますます広がっていきますよう心からご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

川崎町長 原口 正弘

川崎町は、本町の中央を南から北に中元寺川が流れ、川沿いには美しい田園風景が広がり、自然豊かな町です。この財産を守っていくために、「住みたい、住み続けたい川崎町」を目標に環境衛生の面から水質汚染防止の推進を掲げており、合併処理浄化槽の設置を推進することにより公共水域の水質汚濁を防止し、環境衛生の行き届いた環境づくりに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を始めとした水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がっていくことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

苅田町長 遠田 孝一

苅田町は、産業都市として発展してきましたが、白石海岸、平尾台、広谷湿原など豊かな自然も有しており、その自然環境は多様な生態系を維持し、町民生活に潤いと安らぎを与えてくれています。苅田町では令和3年にSDGs推進本部を立ち上げ、様々な取り組みを行っています。人と自然のつながりを理解し、日々の生活の中で環境保全、自然共生社会を意識した行動を推進

してまいりたいと考えております。貴会の活動により、多くの皆様が水環境に関心を持ち、活動の輪が更に大きく広がりますことを祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

北九州市長 武内 和久

グリーンコープ35周年おめでとうございます。北九州市も今年、節目となる市制60周年を迎えました。北九州市では、かつて公害を市民、企業、研究機関と行政が一体となって克服した経験をいかし、環境分野で先進的な取組を続けています。また、近年では、脱炭素社会の実現に向けて、風力発電や水素等の脱炭素エネルギーの拠点化に取り組んでいます。

水環境を守る「せっけん使用運動」をはじめとする貴会の長きにわたる環境保全運動に敬意を表するとともに、活動の輪がより一層広がることを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

鞍手町長 岡崎 邦博

鞍手町は、福岡県の北部に位置し、町の東部を遠賀川、町のほぼ中央を南北に西川が流れており、自然豊かな町です。

このような自然環境の保全に向けて、第5次総合計画後期基本計画に、「人と地球にやさしい地球環境を目指す」ことを掲げています。

町では、家庭用小型浄化槽の設置に対する補助事業や工場等への町内事業者に向けた水質検査の実施、町内一斉清掃デーの実施などを通じて、住民、事業者、行政が一体となって水環境保全に取り組んでいます。

「せっけん使用運動」を通して、身近な環境問題を考える運動を長年に渡り継続されている貴会に敬意を表しますとともに、今後もこの活動が広がり、水環境への関心が、より一層高まりますように祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

久留米市長 原口 新五

久留米市は、九州一の大河「筑後川」の水の恵みと東西に連なる「耳納連山」の緑の恵みを受けながら、都市と自然がバランスよくとけこんだ街並みが魅力です。

豊かな環境を将来世代にも残していくため、「第2次久留米生物多様性地域戦略～くるめ生きものプラン」を策定し、生物多様性の保全と自然環境の持続可能な利用の施策を進めております。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、多くの皆様が環境問題全体に関心を持ち、さらには生物多様性の保全に対する社会的な関心の高まりへとつながっていくことをご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

桂川町長 井上 利一

桂川町は、福岡県の中央部、筑豊地域の南端部に位置しており、6世紀に造られた国の特別史跡「王塚古墳」を擁し「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」を基本理念として、人と自然が共生する街づくりを推進しています。

町内には穂波川や泉河内川などが流れており、人々の営みを支えています。

本町では、様々な環境施策に取り組んでおり、水環境保全につきましては、家庭用合併浄化槽の整備事業の推進を行い、貴重な環境資源を守り、次世代へと引き継いでいく取り組みをしています。

貴会の「せっけん使用運動」は浄化槽中の微生物、ひいては環境に優しく、豊かな自然環境の維持に期待できます。

この運動の輪がさらに広がっていきますことをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

上毛町長 坪根 秀介

上毛町は福岡県の最東端に位置し、大分県との境界部を流れる山国川と大平山を中心に広がる豊かな自然に囲まれた町です。河川、山林、里山、田園が調和する優れた環境と景観をもち、地域独自の歴史と文化資源を育んできました。この先人が残してくれたかけがえのない環境を守り、「豊かな水と緑の環境共生の町」を築き、今後の世代へと継承していく責任があると考えております。

貴会の長年にわたっての取り組みである「せっけん使用運動」が今後とも益々発展されますことを心から願っております。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

古賀市長 田辺 一城

古賀市は、緑豊かな山々や、白砂青松の美しい海岸線を有する海、さらにこの海に注ぐ大根川、ホテルの舞う薬王寺周辺など豊かな自然に恵まれた魅力あふれる都市です。

地域住民主導で年に2回行われる川の一斉清掃には、毎回300人以上が参加するなど、環境に対する意識が高い市民が多く、多様な主体が一体となって、持続可能で豊かな環境の保全と継承に取り組んでいます。

「水環境」を守る視点を切り口に、持続可能で豊かな循環型社会を目指しておられる貴会の取組は、本市の理念とも通じるものがあり、長年の取組に敬意を表しますとともに、この運動をきっかけとした多くの方々の環境意識の向上につながることをご祈念申し上げます。



「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

篠栗町長 三浦 正

篠栗町は、森林が約7割を占め、町の中央を多々良川が横たわる水と緑の豊かな町です。2009年には森林セラピーの認定を受け、心と体を癒す森林セラピー事業を展開しており、2021年にはゼロカーボンシティを宣言し、地球温暖化防止に取り組んでいます。これからも、いつまでもきれいな川を後世に伝えるため、地域一体での清掃活動や公共下水道や浄化槽の普及・推進などをおして、水環境の保全に努めてまいります。「せっけん使用運動」は、本町のみならず、世界にとっても大変有意義なものです。今後も貴会の取り組みがさらに発展し、この運動がより充実したものになることを心から祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

志免町長 世利 良末

「みんなで未来をつくるまち」を将来像に掲げている志免町は、福岡都市圏のほぼ中央に位置し、人口密度が全国の町村では1位となった賑やかな町です。

町では、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするため、町民・事業者・行政が一体となり、環境にやさしく快適に暮らせるまちを目指して「ゼロカーボンシティしめ」を宣言しました。今後も、貴会が取り組まれています「水環境保全に対するせっけん使用運動」が、ますます広まりますことを心よりご祈念申し上げます。



「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

新宮町長 桐島 光昭

新宮町は、玄界灘と立花山の自然美に囲まれた、都市機能と豊かな自然の調和が魅力のまちです。

この貴重な財産である自然環境と、誰もが安心して暮らせる生活環境を持続させるため、住民、事業者、行政が一体となり「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指す町として「ゼロカーボンシティ」を宣言し、環境問題に全力で取り組んでいます。

長年に渡る貴会の取組は本町の理念と通じるものがあり、この運動の輪がより一層広がることを心から祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

添田町長 寺西 明男

添田町は、日本三大修験山である英彦山を有する自然豊かなまちです。彦山川・今川・中元寺川の主要三水系は、住民の生活用水や農業用水の水源として活用されており、「添田町第6次総合計画」において水環境の保全を重要施策として掲げ、合併浄化槽の普及促進や河川環境保護活動に取り組んでいます。

貴会の「せっけん使用運動」の取り組みが、多くの方々の環境意識の向上や水環境の保全に貢献されておりますことに敬意を表しますとともに、より一層の活動の広まりをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

田川市長 村上 卓哉

田川市は、神輿と11台の豪華で色鮮やかな山笠が水しぶきをあげながら彦山川を渡る「川渡り神幸祭」が行われるまちとして広く知られています。本市では、生活排水処理対策の取組として、合併浄化槽への転換推進を図るため、市独自の補助制度を令和元年度から開始し、令和4年度までの転換件数は669基に及んでいます。貴会が長年、環境負荷の地減を目指し取り組まれている「水環境保全に対するせっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

太宰府市長 楠田 大蔵

太宰府市は、「令和の都さらに羽ばたく太宰府～課題解決先進都市を目指して～」を掲げ、観光おもてなし美化活動を通して住まう人も訪れる人もともに慶びを分かち合える美しいまちづくりを推進しております。

また、水環境保全のために御笠川において市民団体が主体となって河川の清掃活動を定期的実施するなど、生きものがすみやすく、人が親しみやすい美しい良好な令和の都だざいふの水辺づくりにも取り組んでいます。

貴会が長年にわたり水環境保全の一翼を担って来られました「せっけん使用運動」に対し敬意を表しますとともに、今後皆様方の活動がますます発展し、より一層その理想の輪が広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大刀洗町長 中山 哲志

大刀洗町は、福岡県の中南域を占める筑後平野の北東部、筑後川の中流域に位置し、米や麦、葉物野菜を中心とした農業を中心に発展してきました。

本町では、「第5次大刀洗町総合計画」を令和元年度よりスタートし、「町民が美しい自然環境と衛生的な環境の中で暮らすこと」を目標の姿として、環境保全の取組や啓発活動を実施しております。

貴会の「せっけん使用運動」は、環境問題への人々の意識向上に大きく寄与されており、美しい水環境を次世代へと継承する大変有意義な活動であります。これまでの貴会の活動に深甚なる敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

筑後市長 西田 正治

筑後市では、毎年5月に市内全域で「川と水を守る運動」として地域住民や団体、事業者等が一丸となって河川や水路等の清掃活動を行っております。始まりから44年目を迎えますが、継続したことで市内の河

川や水路等の水質浄化につながっています。

これからも筑後の美しい自然や水環境を次の世代へ引き継いで持続可能な筑後市を目指してまいります。

貴会が長年取り組まれている水環境保全の活動に心から敬意を表しますとともに、皆様の今後の益々のご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に関するせっけん使用運動」応援メッセージ

筑紫野市長 平井 一三

筑紫野市は、「第三次筑紫野市環境基本計画」において「みんなでつくる みどり輝くふるさと 筑紫野」という環境像を掲げて、自然と都市機能が調和するまちの実現を目指しています。

本市の水と緑の豊かな自然を後世に受け継いでいくためにも、下水道整備による公共下水道の普及促進や、河川の水質調査を行うとともに、次世代を担う子どもたちの水環境に対する意識を高めることを目標に市内河川での生き物観察会を開催するなどの取り組みを行っております。

貴会が永年にわたり取り組まれている「せっけん運動」は大変有意義な活動であり、皆様の努力に心から敬意を表しますとともに、更なるご活躍をご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

築上町長 新川 久三

築上町は福岡県東部に位置しており、南側は大分県に隣接し山間部が広がります。そこを源とする多くの河川が北の平野を潤しながら、波穏やかな周防灘に注ぎます。

本町では“自然と歴史・文化を育む”心と体の健康を求めた「豊かな生活の場」づくりに向けて、公共下水道の整備や浄化槽の設置補助、浄化槽汚泥や汲み取りし尿の液肥化の取り組みにより水環境保全を推進しています。

貴会の「せっけん使用運動」を通じた水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後の活動が更に発展していくことを心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

東峰村長 眞田 秀樹

きれいな川に、森閑とした山々。澄んだ空に瞬く星と地上でやさしく光るホタル。東峰村は、そんな自然の生命力に満ち溢れています。平成17年の合併以降、村では地域の特色を活かした地域活性化を行っています。

また、小石原川ダム水源地の村としても水環境の保全は重要な課題と考えております。

貴団体の長年にわたる「せっけん使用運動」に深く敬意を表すとともに今後のさらなる発展を祈念申し上げます。

「せっけん運動」応援メッセージ

那珂川市長 武末 茂喜

那珂川市は、福岡県の西部に位置し、市の中央部を那珂川が流れており、市の南部は九千部・脊振山系からなる自然に恵まれた豊かな市です。

本市では、2050年までに温室効果ガス排出量の実質0を目指し「ゼロカーボンシティ那珂川」を宣言し、那珂川市環境基本計画の見直しを進めています。本計画でも引き続き目指す環境像の実現に向けて、市民や関係団体・業者の皆様と協働しながら取り組みを進めていきます。

また、本市のシンボルでもある那珂川・梶原川の水環境保全の取り組みとして、毎年、アユの放流や「海の日」に市民・事業者・行政が一体となった河川清掃活動などを実施しております。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

中間市長 福田 健次

中間市は、「人、水、緑、みんなであつたえよう なかま」を目指すべき環境像として定め、環境保全体制・生活環境・自然環境・快適環境・地域環境の5つの分野に

おいて、取り組みを推進しています。

また、庁舎内では無添加せっけんを使用する等、環境負荷低減に向けた取り組みも積極的に行っています。

貴会が「せっけん使用運動」をはじめ環境保全運動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、更なるご活躍を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

直方市長 大塚 進弘

直方市は、福智山や中心部を南北に流れる遠賀川、彦山川など水と緑の自然に恵まれたまちです。SDGs未来都市のおがたは、SDGsの14番目の目標「海の豊かさを守ろう」の一環として水環境の保全に取り組んでいます。身近な水環境を守り後世に引き継いでいくため、公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置の推進のほか、市民や企業、団体と連携した河川清掃活動も行っています。地球規模で環境を守っていくためには、様々な関係者が多様な取り組みを行っていくことが重要だと思います。

貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

せっけん使用運動への応援首長メッセージ

久山町長 西村 勝

久山町は、豊かな森林と蛍飛び交う清流が暮らしの身近にある町です。SDGsの鍵とも言えるこの美しい自然環境を将来世代にも継承すべく、2022年3月、「カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ」を宣言し、産官学民連携のもと、生態系も含む持続的な環境保全の仕組みづくりの構築を目指して取り組みを推進しています。

貴会の長年にわたる「せっけん使用運動」に敬意を表するとともに、より良い未来に向けて共に挑戦してまいります。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

広川町長 氷室 健太郎

広川町は、流域の肥沃な土地と温暖な気候に恵まれた豊かな自然環境の中で、八女茶、いちご、ぶどう、梨などの農作物や、電照菊、ガーベラなどの花卉の生産地として、全国での認知度があります。

昨年12月に「ゼロカーボンニュートラル」宣言を行いました。脱炭素への実現にむけて町民・事業者・行政が一体となり取り組むことはもちろんですが、貴会が取り組まれている様々な運動は、一人ひとりが水環境について考え、豊かな自然を守り、次世代に継承していく大変意義深い活動だと思えます。

この活動の輪がさらなる広がりとなることを心よりご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福智町長 黒土 孝司

福智町は福岡県の中中部から北東よりに位置しており、町の中央部を流れる彦山川と中元寺川、標高901メートルの秀麗な福智山など、豊かな自然に彩られながら、これらの魅力を生かしたまちづくりを展開しています。

本町では、「田川郡東部地域 循環型社会形成推進地域計画」に基づき、住民・事業者・行政が一体となって、地域環境ならびに命の源である水や森を守る環境づくりに取り組んでいるところです。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、美しい自然を次世代へ引き継ぐ環境活動の輪がますます広がっていくことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

福岡市長 高島 宗一郎

福岡市は「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざし、人と地球にやさしい、持続可能な都市づくりにチャレンジしています。

私たちの生活は生物多様性の恵みに支えられていますが、生きものの絶滅速度が飛躍的に高まるなど生物多様性の損失は続いており、令和5年3月に策定された「生物多様性国家戦略2023-2030」では、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる『ネイチャーポジティブ（自然再興）』が目標に掲げられました。

本市でも、ネイチャーポジティブの実現に向け、生物多様性の認識の社会への浸透や積極的な環境保全活動につながる取組みを、多様な主体と連携し推進してまいります。

長年、環境保全活動に取り組まれている貴会に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福津市長 原崎 智仁

私たちのふるさと福津市は、令和7年1月24日で市政20周年を迎えます。東部は里山、西部は玄海国定公園を含む全長22kmの美しい海岸線に面した本市は、市民共働で歩んできたまちであり、市民による海岸清掃や松林清掃などによって美しい自然が守られています。この幸せなふるさとをよりよく次世代へ引き継いでいくことを目指した「SDGs未来都市」でもあり、ふるさとを離れても、ずっと心の中で温かい存在であり続けられるよう、今後も市民とともに歩んでまいります。今後も『人と自然も未来につながるまち福津』を推進していきながら「せっけん運動」をはじめ、貴会と連携、共働してまいりますことを願っております。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

豊前市長 後藤 元秀

S D G s というワードが目につくようになっていきます。S は持続可能な、D は開発、G はゴール、s は複数のそれぞれ英語の頭文字ですね。S D G s は世界にある環境や差別、貧困などの問題を17の開発目標を立てて2030年までに解決しようという「運動」です。これらの問題を地域や個人が解決するために行動に移すと言ったほうがいいのかもかもしれません。

持続可能という言葉には、今が良ければ、私たちの住む今の時代さえよければ、という考え方ではなく、未来を担う子どもたちの時代にも今の時代の「ツケ」を遺さない考え方、生き方を「持続可能」という言葉に込めているようです。

では、私たちが世界を動かし、変えていく、何ができるのか。頭が混乱するような大テーマです。が、出来ることは限られています。どこかの大統領さんならいざ知らず、私たち個人には世界をひっくり返すことはできません。

未来につなげる、小さなことでいいから生き方、暮らし方の中から見つけるとしたら、この覧をお読みのみなさんが取り組んでいるせっけんを使って、水を地球を汚さない、ではないでしょうか。毎日の暮らしの中で、やる気があればだれにでもできることです。S D G s 達成に向けて自ら、水から取り組みましょう。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

水巻町長 美浦 喜明

水巻町は、遠賀川流域北部に位置する自治体です。町内には、遠賀川をはじめ、堀川や曲川などが流れ、住民の生活、文化と深い結びつきを持っています。この豊かな水環境の保全のために、便利さのみを優先しない環境にやさしい生活様式に取り組み、資源循環型社会の実現を推進しているところです。

貴団体の長年に渡る「せっけん使用運動」に深い敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

みやま市長 松嶋 盛人

みやま市は、資源循環のまちづくりに取り組む福岡県の南部に位置するまちです。令和3年、全国の自治体で初となる「ワンヘルス推進宣言」を表明しました。人と動物の健康および環境の健全性はひとつのものと、というワンヘルスの理念のもと、人と豊かな自然とが共に育んでいくことで、将来の世代の暮らしが輝くような持続可能なまちづくりを目指しています。

貴会の長年の取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後もこの活動がますます広がっていきますよう心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

宮若市長 塩川 秀敏

宮若市は、福岡県北部に位置し、犬鳴川と八木山川が流れる豊かな水と緑のまちです。

この豊かな自然環境を守るため、市民・企業・行政の協働による河川一斉清掃や環境クリーン作戦、公共下水道及び浄化槽の普及促進など水環境の保全に努めています。また、令和4年度より「第二次宮若市環境基本計画」の策定に取り組んでいるところです。

貴会の水環境を守る長年の「せっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

宗像市長 伊豆 美沙子

宗像市では2022年に、世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が登録5周年を迎えました。先人たちが千年以上に渡り、大切に守り継いできた「宗像の海」を、次の世代を担う子どもたちへ残していくため、持続的に海を守る取組を展開しています。

“Save the Sea”（海を守ろう）を合言葉に、海の環境保全活動に積極的に取り組んでいる本市といたしましても、「せっけん使用運動」の想いに共感し、本活動の輪がより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

柳川市長 金子 健次

柳川市は、福岡県南部、筑後平野の西南部に位置し、北西は筑後川、南東は矢部川という一級河川が流れ、南部は有明海に面しています。

また、市内にはおよそ930kmに及ぶ掘割がめぐり、独特な景観を醸し出し、特に水郷柳川の川下りは、四季折々の風情があり観光客に楽しんでいただいています。このように柳川市は、良好な水資源が欠かせないまちであり、水環境の保全は生活、農漁業、観光などすべてにおいての重要な政策となっております。

貴会が市民生活者として水環境を守る活動に精力的に取り組まれておられますことは本市にとっても非常にありがたいことであります。

今後とも貴会の取組がさらに発展し、活動の輪がひろがりますよう祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

八女市長 三田村 統之

本市は福岡県の南部に位置しており、緑深い山々の連なり、矢部川に育まれた豊富な農産物や伝統文化と歴史等、美しい自然に恵まれた地域資源が多数あります。

R3年に策定した第5次八女市総合計画の中で「美しいふるさとづくり」を掲げており、市民・事業者・行政が一体となり市の財産であるきれいな森林・河川等を守っていくよう様々な保全活動の取り組みを進める所存です。

貴会が「せっけん使用運動」をはじめ環境保全運動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

行橋市長 工藤 政宏

行橋市は、東は周防灘（すおうなだ）、西はカルスト台地で知られる平尾台などの山々に囲まれた、大小26の河川が流れる田園都市です。豊かな自然に恵まれた本市ですが、これまでに幾度となく渇水に見舞われた経験があることから、「水」に関しては切実な想いがあります。

かけがえのない水環境を守り、次世代に伝えることが私たちに託された大きな使命です。

持続可能な社会の実現に向け活動なさっている貴会の理念に賛同し、「せっけん使用運動」を心から応援します。

● 鹿児島県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鹿児島県知事 塩田 康一

鹿児島県は、南北約 600 キロメートルに及ぶ広大な地域に、国内で初めて国立公園に指定された霧島、世界自然遺産の屋久島、奄美大島・徳之島など亜熱帯に至る島々、ラムサール条約湿地に登録されている蘭牟田池、屋久島永田浜及び出水ツルの越冬地など、多様で豊かな自然を有しております。

このかけがえのない自然環境を守り育てるため、当県では、各地域の住民団体等が実施している水質保全活動を支援するなど、環境の保全及び適正利用に向けた施策を積極的に推進しております。

「せっけん運動」を通して水環境の保全に尽力されている貴会の長きにわたる活動に深く敬意を表しますとともに、その活動の輪が一層拡大することを期待いたしております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

伊佐市長 橋本 欣也

伊佐市は、北に熊本県、東に宮崎県と県境を接する鹿児島県本土最北の内陸部にあります。川内川とその支流が市内中央部を流れ、これらの水系を中心として広大な水田が開けており、伊佐米で知られる県内屈指の米どころです。

住みやすい豊かな環境を守り、次世代に引き継ぐことは大変重要なことであり、本市では、多様な環境問題に対応するための指針となる「伊佐市環境基本計画」を策定し、この計画に基づき、河川の浄化や清流の保全などに取り組んでいます。

結びに、貴会のご活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大崎町長 東 靖弘

「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」を合言葉に、町全体でごみを 27 品目に分別し、リサイクル率日本一 14 回を達成している大崎町です。

SDGs の理念のもと持続可能な町を目指し、環境に優しい取り組みを実践しております。

本町では、美しい地球を次の世代に残すため、家庭で使用した天ぷら油を廃食油として回収し、ごみ収集車の燃料として利用するだけでなく、回収した廃食油で石けんを作り、自然や人体にやさしい石けん『菜の花エコ石けん「そおプ」』を販売し住民の皆様に使って頂いています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後の「せっけん運動」の取組がより一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鹿児島市長 下鶴 隆央

鹿児島市は、雄大な桜島や波静かな錦江湾、郊外に広がる田園風景や清らかな川など素晴らしい自然に恵まれています。この豊かな美しい自然環境を守り、良好な状態で将来の世代に引き継ぐことは、今を生きる私たちの責務です。

本市では、「自然と共生し ゼロカーボンを進めるまちかごしま」を望ましい環境像に掲げ、「脱炭素」・「資源循環」・「自然共生」の各分野の取組を市民、事業者、行政など多様な主体と協働・連携しながら積極的に進めています。

皆様方の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

南さつま市長 本坊 輝雄

南さつま市は、鹿児島県薩摩半島の南西部に位置し、坊野間県立自然公園と吹上浜金峰山県立自然公園を有する海と山に囲まれた四季折々の豊かな自然を感じることができる住みよい環境に恵まれております。

この素晴らしい自然環境を後世に引き継いで行くために、平成30年3月に「南さつま市環境基本計画」を策定し、市民や事業者、市が協力して環境問題の解決に向けて様々な取組を進めております。

こうした中、貴会の「せっけん運動」を通じ、「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」を合言葉に、より多くの人々が自然環境への関心を持ち、環境保全の意識が高まっていくことを心よりご期待申し上げます。



● 佐賀県

シャボン玉月間に寄せて

嬉野市長 村上 大祐

嬉野市は「日本三大美肌の湯」で知られる名湯・嬉野温泉に恵まれ、霧深い山々には茶畑が連なり、初夏の水辺には蛍が群れ飛ぶまちです。こうした豊かな自然環境に恵まれ、ともに生きるまちとして、水環境の保全と人々のお肌にやさしい製品の推奨に努める貴団体の活動理念に心から共感し、敬意を表します。

嬉野市が誇る特産の「うれしの茶」は全国茶品評会で、優良産地に贈られる「産地賞」に「蒸し製玉緑茶の部」と「釜炒り茶の部」の2部門で選ばれる品質日本一の産地です。そのお茶の味を決めるのも「水」で、市内で採取した水をペットボトルにした「うれしの水」も市民・観光客に人気を博しています。

貴会の益々の発展を心より祈念します。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

基山町長 松田 一也

基山町は、「未来へつなぐ豊かな自然と住みよい暮らし お還りのまち基山を目指すべき環境の将来像として掲げまちづくりを行っています。秋光川をはじめ5本の河川が流れ、豊かな水と緑を感じることができる自然を有する本町では、公共下水道事業の推進や浄化槽の普及に努め、町民の協力で毎年河川清掃活動を行っています。また、町内の小学生と水生生物の調査を行い、水質保全に対する関心を高めています。これらの活動が水環境を考え直し、水環境の保全へとつながる大きな一歩となると考えております。

貴団体の長年にわたる環境にやさしい活動の積み重ねに深く敬意を表すとともに、今後ますますのご発展をご期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

佐賀市長 坂井 英隆

佐賀市は、北部には脊振・天山山系の緑あふれる山間地、中部には長大なクリークが張り巡らされた田園地帯、そして、南部には希少生物が多く生息し、日本一の数の渡り鳥が渡来する有明海の干潟が広がる、多様で豊かな自然に恵まれたまちです。

このかけがえのない自然環境を未来の世代に引き継ぐために、本市では、多くの市民や企業が参加する河川の一斉清掃や生きものや自然に親しむ活動に取り組んでいます。

これからも市民、地域、団体や事業者などの皆様と一緒に環境保全の取組を進めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が今後さらに拡大することを心より祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鳥栖市長 向門 慶人

鳥栖市は、九州の主要都市に通じる高速道路、鉄道が交わる交通の要衝という特性を生かし、発展してまいりました。

一方で、市街地の近くに豊かな自然があるのが本市の特徴です。水と緑に恵まれており、ダムや河川プール、桜や紅葉の名所など豊かな自然がたくさんあります。

この自然環境を未来の世代に引き継ぐために、多くの市民や企業が参加できる河川の清掃、生き物や自然に親しむ活動に取り組んでいます。

これからも市民、地域、団体等と連携を図りながら、環境保全の取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

貴会のこれまでにわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、ますますのご発展を心より祈念申し上げます。

● 長 崎 県

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大村市長 園田 裕史

本市は、長崎県のほぼ中央に位置し、多良山系を東に仰ぎ、西に波静かな大村湾を臨む、自然豊かなまちです。

本市では、水環境保全活動に対する意識の向上を目的として「リバーウォッチング」「大村湾ウォッチング」などの子ども向け体験型イベントをはじめ、事業者やボランティア団体との協働による「大村湾沿岸一斉清掃」「空き缶等回収キャンペーン」などを実施しています。

また、近年の社会情勢の変化や課題に対応し、より具体的で実効性のある環境行政を推進するために令和5年3月に「第三次大村市環境基本計画」を策定し、「自然と共生し住み続けたいまち おおむら」の実現を目指し、市民・事業者・行政が一体となった「オール大村」での取り組んでいくこととしています。

貴会の長年にわたる活動に心から敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

佐世保市長 宮島 大典

佐世保市は、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定を受けた九十九島湾や、リアス海岸と大小の島々からなる西海国立公園九十九島など、豊かな自然に囲まれた街です。

本市では、SDGs やカーボンニュートラルの実現など、環境に関する社会情勢の変化に対応するため「佐世保市環境基本計画」の見直しを行いました。

また、「自然と快適な生活が共存するまち」を目標に掲げ、豊かな自然環境を守り育て、美しい景観を次世代の子どもたちに継承していくさまざまな取り組みを行っております。

せっけんを通して水環境保全活動に取り組んでおられる貴会の活動に心から敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

島原市長 古川 隆三郎

島原市は長崎県の南東部に位置し、西は雲仙普賢岳、東に有明海を望む風光明媚なまちです。

市内には70か所を超える地点で水が湧き出ており、豊かな水は市民の生活を潤すだけでなく農業にも活用され、農作物の一大生産地となっています。

近年、水質の悪化や湧水量の減少など水を取り巻く環境に変化がみられますが、この水と緑あふれる豊かな自然環境を後世に引き継ぐため、市民・事業者・行政が一体となり環境保全に取り組んでまいります。

貴会が長年取り組まれている水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展、ご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

時津町長 吉田 義徳

時津町は長崎県南部に位置しており、町の中心部には国道206号および国道207号が交差し、内陸交通の要衝の地として賑わう一方、大村湾に面し、鳴鼓岳や崎野自然公園などの山々に囲まれた自然豊かな町です。

本町では、この豊かな自然を次世代へ引き継いでいくため、町内一斉清掃をはじめ、漁業組合やNPO団体と協働で海岸清掃を行うとともに、大村湾へ流入する5河川の水質調査を毎年実施し、自然環境の保全に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

長崎市長 鈴木 史朗

長崎市は、山と海に囲まれた恵み豊かな自然環境と異国情緒あふれる文化遺産が魅力の街です。5月には各地でホテル観賞を楽しみ、夏には山川海の自然の中で遊ぶことができます。

近年、地球温暖化への対応が急務とされるなかで、このような自然豊かな街を将来へ引き継ぐため、本市では2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言しました。市民、事業者、行政が一丸となった取組みを加速させるとともに、エコが「楽しい」「得する」「かっこいい」「当たり前」となるような取組みを推進していくことで、「ゼロカーボンシティ長崎」の実現を目指してまいります。

貴会が取り組まれる活動とともに、自然環境の保全と市民の笑顔の輪が広がることを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

長与町長 吉田 慎一

長与町は、町の中心を走る長与川沿いと丘陵に立ち並ぶ団地、さらにその周りを山々と大村湾に囲まれた、自然豊かな町です。

本町では、訪れたい、住んでみたいと思える町を創るためには、豊かな自然や美しい景観といった資源を最大限に活かし、町の活性化と魅力向上を図ることが必要であるという考えのもと、第10次総合計画に沿って、快適で持続可能な生活環境づくりを進めています。町民が一丸となって取り組む町民一斉清掃をはじめ、大村湾一斉清掃や長与川清掃といった活動を通して、豊かな自然環境や自然景観を町の財産として保全しております。

貴会の長年に渡る活動に深く敬意を表しますとともに、益々の御発展を祈念申し上げます。

『シャボン玉月間』に寄せて

南島原市長 松本 政博

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全活動に敬意を表します。

南島原市は、島原半島の南東部に位置し、雲仙天草国立公園をはじめ、戸の隅の滝、鮎歸りの滝、谷水棚田、白浜・前浜海水浴場など水と緑豊かな美しい自然環境を有しており、きれいな水を使った「島原手延べそうめん」の産地としても全国に知られています。

市では、美しい自然環境を守り育てるため、地元小中高校生・海岸保全団体と連携した海岸清掃活動や河川・湖沼の水質浄化を目的とした環境浄化地域づくり事業を実施するなど市民と一体となった活動を展開しております。

末筆でございますが、貴会の益々の御発展と活動の輪が広がりますよう心より祈念申し上げます。



● 熊 本 県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

天草市長 馬場 昭治

天草市は、雲仙天草国立公園や日本初の海中公園である牛深海域公園に指定されている自然豊かな地域で、イルカやアマクササンショウウオなど多種多様な生物が生息しています。

市民が本市の豊かな自然に誇りと愛着を持ち、後世に継承していくことができるよう、今ある自然環境を守り続けていくことが私たちの使命だと考えています。

コロナ禍において、感染防止対策として手洗いの重要性が再認識されましたが、せっけん運動は、市民が日々の生活の中で簡単に取り組むことのできる身近な環境保全活動ではないかと思っています。この活動が水資源や環境の保全を考えるきっかけとなり、一人でも多くの人たちに広がっていくことを期待しています。

貴団体の長きにわたる活動に対して敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍ご発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

荒尾市長 浅田 敏彦

荒尾市は、東に小岱山、西にラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟がある自然豊かなまちです。

荒尾干潟の学習拠点施設である水鳥・湿地センターでは、きれいな干潟環境を次世代へ繋ぐため、海岸清掃やマイクロプラスチックに関する啓発活動を行うとともに、干潟に及ぼす生活排水の影響は大きいことから、浄化槽設置補助なども実施しております。

水環境に負荷をかけない石けん使用の取り組みは、日々の生活の中で一人一人が実践できる素晴らしい取り組みであると考えており、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

宇土市長 元松 茂樹

宇土市は、熊本県のほぼ中央部、広大な熊本平野の南部に位置し、南には宇土半島の山々を、西には有明海を、北には緑川河口域の肥沃な土地が広がる自然豊かな都市です。

本市には、国内現役最古の上水道「轟泉水道」があり、日本名水百選に選定されている「轟水源」から石造の水道管を使用し、総延長4.8kmにわたって現在でも生活用水として市民に利用されています。

このように水と共に長年歩んできた本市にとって、水環境保全活動は、行政のみならず市民と共同で次世代へつないでいくことが私たちの使命であると考えております。

貴会の「せっけん運動」はコロナ禍における手洗いの大切さを改めて感じるのことができる運動であります。長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後もこの活動がますます発展していきますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大津町長 金田 英樹

大津町は、世界有数のカルデラを有する阿蘇の玄関口として、豊かな水資源や田園地帯、美しい森林に囲まれた自然豊かな町です。町のすべての水源は、大自然にはぐくまれた良質な地下水を豊富に蓄えた地下水プールによって賄われています。

町周辺では開発が加速していますが、豊かな水環境を守るため、住宅への雨水貯留タンクや浸透ます設置への助成、転作前や稲刈り後の冬場の水田に水を張る湛水事業への協力を行うなど、町では年間を通じて地下水涵養の取り組みを行っております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、貴会の益々の発展と環境問題への関心及び保全活動の輪が一層広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

上天草市長 堀江 隆臣

上天草市は、熊本県の南西、天草諸島の入口に位置し、九州自然歩道からの眺望は景勝地として四季折々に美しい表情を見せる自然豊かなまちです。

本市では、昨年6月に上天草市「ゼロカーボンシティ」を宣言し市民・事業者・行政が一体となりCO2削減に取り組んでいます。

また、水環境保全をはじめとする豊かな自然環境の保全に取り組み、本市が目指すべき環境像、「人と海が触れあうまち上天草～美しい海と環境にやさしいまちを未来の子供たちへ～」の実現に努めているところで

す。貴会の「せっけん運動」を通じた、長きに渡る水環境保全に対する取り組みに深く敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

菊池市長 江頭 実

菊池市は、菊池溪谷や菊池温泉など、豊かな自然に恵まれた都市です。豊富な水資源が肥沃な大地を育み、農林畜産業の発展につながっています。

恵まれた自然環境を守るため、河川監視活動や水質検査に取り組んでいます。令和3年度にはSDGs未来都市に認定され、カーボンニュートラルや地域の活性化の実現に向けて取り組んでおります。さらに、子ども達に地球温暖化を防止する環境教育を進めており、先人からつながれた自然環境を未来につなげていくよう今後も取り組んでまいります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の活動が、より良好な環境の創出につながりますようご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

菊陽町長 吉本 孝寿

菊陽町は阿蘇から流れる白川の中流域に位置し、阿蘇山の噴火で堆積した水を浸透しやすい土台により、地下には豊富な地下水が存在する水環境に恵まれた町です。水資源の恩恵を受け、本町では多様な農産物が栽培され、また多数の国際的企業が立地しております。この安全で良質な水環境を保全するため町民の皆様にご協力をいただき、河川の清掃活動や節水意識の高揚に努め、雨水浸透枳や雨水タンクの購入には補助金を交付しています。今後も水のありがたさを認識し、熊本之宝である「地下水」の保全に取り組んでまいります。

最後になりますが、貴会の活動の輪がこれからも広がり、ますますご発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

熊本市長 大西 一史

熊本市は、74万市民の水道水源の100%を地下水で賄う、水環境に恵まれた「日本一の地下水都市」です。本市では、この豊かな地下水を後世へ確実に引き継いでいくため、長年にわたり、市民や事業者の皆様、そして行政が一丸となって地下水保全活動に取り組んでまいりました。2022年4月に本市で開催しました「第4回アジア・太平洋水サミット」では、こうした取組を世界に向けて発表し、改めて高く評価いただいたところです。本市では、引き続き、この豊かな水環境の保全に全力で取り組んでまいります。

貴会の水環境保全への取組を通して、より多くの皆様が環境保全に関心を持ち、活動の輪が更に広がりますことを心から祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

玉東町長 前田 移津行

玉東町は、熊本市と玉名市の間に位置する人口5千人程の町です。みかんをはじめとするフルーツの栽培が盛んで、特に“幻のすもも”と呼ばれる「ハニーローザ」が日本一の生産量を誇ります。

町では、昨年「2050年ゼロカーボンシティ」の宣言を行い、持続可能な未来に向けて様々な環境保全の取り組みを推進しています。

主な取組としては、町民と共同で取り組む廃油回収や、河川一斉清掃等があげられます。また、河川の水質汚濁の原因である生活排水対策として、合併浄化槽の普及促進も行っているところです。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後とも貴会の活動がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

合志市長 荒木 義行

せっけんの利用促進を通じ、環境を守る取組みを推進される貴団体に敬意を表します。

さて、本市には、北に菊池川の支流である上生川や塩浸川、南には坪井川支流の堀川が流れており、廃油せっけんのPRや河川清掃活動などによる水環境の保全に取り組んでいるところです。

また、塩浸川では例年ホタルの飛翔が見られています。

このように、豊かな水環境に恵まれており、これを次世代へ繋げていくことが私たちの使命であると考えています。

今後とも、貴団体の活動の輪がますます広がり、「せっけん運動」がさらに発展されますよう心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

玉名市長 藏原 隆浩

石けんの利用促進運動を通じ、美しい環境づくりに努めておられます貴団体の活動に心から敬意を表します。

玉名市では、天水地区に石けん加工施設を設置しています。この石けん加工施設は、一般の方も利用可能であり、廃油石けん作りなどが行われています。施設を利用していただくことを通じて、水環境の大切さをより身近に感じてもらうことができればと考えています。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」を通して一人ひとりが環境を意識し、暮らしを見なおすきっかけとなることを願っています。

今後も貴団体のより一層のご活躍に心からご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

長洲町長 中逸 博光

長洲町は熊本県北西部に位置し、有明海に面した自然豊かで、造船業やサッシ業等の企業を有する工業の町であり、全国有数の金魚の町でもあります。

この自然と産業が融和した環境を未来へ残すため、当町では、福岡大学と熊本北部漁協と連携して干潟再生への取り組みを行うなど、有明海などの水質保全を図っております。また下水道普及率は県内有数の約96%であり、生活排水の適正な処理による、保健・衛生の向上に努めております。

貴会が推進されておりますせっけん運動は、新型コロナウイルス感染症などに有効であり、大変重要な活動だと認識しております。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

和水町長 石原 佳幸

和水町は、菊池川と緑の山々、江田船山古墳や田中城跡などの歴史的資源を有しています。また、初夏には町内の各所でホタルを鑑賞することができる豊かな自然に恵まれた町です。

このふるさとを次世代の子ども達に大切に受け継ぐため、町内一斉清掃や河川清掃等の環境活動には町全体で取り組んでおり、和水町の自然や環境に感謝し、体感することを目的とする「山太郎祭」を開催しています。

このような中、貴会の「せっけん運動」は、身近な環境活動として大変有意義であり、この運動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

南関町長 佐藤 安彦

石けんの利用促進運動を通じ、美しい環境づくりに努めておられます貴団体の活動に心から敬意を表します。

さて、南関町は福岡県との県境であり、関川・諏訪川という県を跨ぐと河川名が変わるという珍しい川がある町です。当町では、ホタルの里百選に2か所選出されており、例年ホタルの飛翔が見られます。この良好な水環境を守っていくため、町民と共同で食用油の回収や河川一斉清掃、河川パトロール等の取り組みをおこなっています。また環境学習や水生生物教室などを通じ町民の環境意識を高めながら、水環境の保全に努めてまいります。

今後もより多くの方々に、活動の輪が広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

氷川町長 藤本 一臣

氷川町は、熊本県の中央部に位置し、中山間地域から平野部には町名の由来にもなっている清流氷川が流れており、豊かな水資源の恩恵を受けて発展して参りました。

この豊かな水資源を次世代に引き継ぐための取り組みの一つとして、EM発酵液の普及・啓発活動に取り組んでおり、町内の全小・中学校を始め、地区の老人会や子ども会等の地域団体や農家でも使用され、町全体で水環境の保全を図っているところです。

当町の下水道普及率は87.7%と高い水準にあり、下水道対象区域外でも、合併処理浄化槽設置補助等の活用による生活排水対策を推進し、水環境の保全に取り組んで参ります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに深く敬意を表すとともに、貴会の益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

益城町長 西村 博則

益城町は約33,800人が暮らす農業を主体とした町です。熊本県のほぼ中央北寄りに在り、県庁所在地熊本市の東隣りに接しています。また、空の玄関口である阿蘇くまもと空港が立地しています。

阿蘇山水系からの水資源を享受する益城町において、この美しい水質を保全することは非常に重要です。

私たちは利便性を優先し、プラスチック製容器に入れた液体せっけんに慣れてしまっていますが、新たなプラスチックごみ問題を起こし、それを解決できぬまま、ずっと引きずっています。

そのことから、かつては普通であった固形せっけんにもう一度立ち返る必要があり、行政としとしても、住民にせっけん使用を勧めていくことが大切であると考えます。

最後に、貴会の長年にわたる「水環境保全活動」への取り組みに敬意を表すとともに、益々のご活躍を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

美里町長 上田 泰弘

美里町は、熊本県のほぼ中央に位置し、総面積の4分の3を占める森林地域の一部は九州中央山地国定公園にも指定されています。また、町を貫流する緑川やその支流など、豊富な水資源と美しい棚田が広がる自然豊かな町です。

町の大切な水資源である緑川は、13市町村、流域人口約54万人の生活を支える一級河川であり、その上流部に位置する美里町では、緑川の清流を下流部、そして将来へ引き継いでいくため、公共浄化槽等整備推進事業、緑川流域清掃活動、河川及び地下水の水質検査を実施し水環境の保全に努めています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心から祈念申し上げます。

2023せっけん使おう！7月シャボン玉月間 首長メッセージ

南阿蘇村長 吉良 清一

南阿蘇村は、熊本県北東部、阿蘇山南部の南阿蘇地域（南郷谷）に位置し、豊かな自然に恵まれた村です。村内には、環境省の「名水百選」や「くまもと緑の百景」にも選定された白川水源や竹崎水源などの湧水群があり、四季折々に変化をみせる風景は訪れた人々の心を和ませてくれます。

村としても良い自然環境を維持し、次世代に引き継ぐためには、行政をはじめ住民、事業者が共に力を合わせて取り組むことが重要であります。

これからも阿蘇地域の草原維持による地下水の安定化、自然の保全に積極的に取り組み、豊かな自然環境を村の財産とし環境保全に取り組んで参ります。

今後も貴会の活動の発展と環境問題意識向上の取り組みの輪の広がることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

南小国町長 高橋 周二

南小国町は、九州の中央部に位置し、九州最大の河川である筑後川の源流が流れる豊かな自然に囲まれた町です。

今年の「シャボン玉月間」の合言葉は、「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」とお聞きしました。

本町も未来に向けて、水質検査や清掃活動等、水環境の保全に日々努めている状況です。

新型コロナウイルスにより大きく生活様式も変化しましたが、私たちは自分自身のこれからの生活や活動について深く配慮し、環境に優しい社会づくりをしたいと考えています。

結びに、貴会の長年にわたる水環境を守る活動に対し敬意を表しますとともに、環境保全に資する活動の環が全国各地に広がっていきますよう、祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

御船町長 藤木 正幸

御船町は、九州のほぼ中央に位置し、3つのインターチェンジを有する交通アクセスに優れた町です。また「くまもと名水100選」に選定された「吉無田水源」を有する自然豊かな町です。

この豊かな自然を未来に残すため、御船町では町内の小学生を対象に「わくわく環境教育教室」を実施し、ごみの処分・リサイクルの方法や、節水意識の向上への取組など環境保全について学習をする機会を設けています。

貴会の「せっけんを使おう」の取組は、水環境の保全だけでなく、コロナ禍でもその重要性が確認されています。この取組が将来にわたり大きく広がることを祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

八代市長 中村 博生

本市は、九州のほぼ中央に位置し、日本三急流の一つである球磨川がもたらす豊富な水資源の恩恵を享受しながら、農業や製造業を中心に発展してきました。

この豊かな水環境を次世代に受け継いでいくため、これまで水質調査や清掃活動等の保全活動に取り組んできました。貴会のせっけん運動は、このような水環境の保全はもとより、コロナ禍の経験を踏まえた感染症対策の観点からも意義深いものと考えます。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が広がることを心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

山鹿市長 早田 順一

山鹿市は豊かな水資源や緑深い山々に恵まれた自然環境、装飾古墳や豊前街道に代表される歴史環境、各地に湧出する温泉や四季を彩る祭りといった生活環境等、誇るべき環境資源に恵まれております。

この豊かな環境の源は、市内中心部を流れる菊池川とその支流であり、古代から続くストーリーは《米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稻』物語～》として日本遺産に登録されております。このような環境資源をよりよい形で次世代に引き継ぐため、今後も生活排水対策や水環境を保全するための意識向上に努めてまいります。

貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、せっけん運動の輪がより一層広まることを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

山都町長 梅田 穰

山都町は九州のほぼ中央（九州の「へそ」）に位置し、一級河川である緑川と五ヶ瀬川の源流域を有する自然豊かな地域です。特に緑川支流には、国指定名勝「五郎ガ瀧・聖り瀧」をはじめ、多くの瀑布があり、悠久の昔に思いを馳せることができます。

また、昭和40年代から全国に先駆けて「有機農業」に取り組んでおり、農薬不使用・減農薬などにより自然環境保全の一翼を担っています。

貴会が43年にわたり取り組まれてこられた、身近な水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、取り組みの輪がより一層広がりますことをご祈念申し上げます。

● 大 分 県

「シャボン玉月間」によせて

宇佐市長 是永 修治

大分県の北部に位置する宇佐市は、穏やかな豊前海と広大な宇佐平野、九重山系に通じる山林、それらを繋ぐ駅館川などの清流を有しており、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

その豊かな自然環境の中で育まれた麦と清らかな水を原料に醸造された麦焼酎は、出荷量日本一を誇るとともに、世界で最高峰の蒸留酒品評会で金賞を受賞する商品も生み出されており、多くの方に嗜まれています。

その源である清らかな水を守り次世代に継承するため、水環境をはじめ豊かな自然環境の保全に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動へのご尽力に敬意を表しますとともに、今後ともますます活動の輪が広がることを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

臼杵市長 中野 五郎

臼杵市は大分県東南部に位置し豊後水道に面しており、国宝臼杵石仏や城下町のたたずまいを今も残し、豊かな自然環境を生かした農業や漁業、醸造業、造船業、半導体製造業が盛んなまちです。

一昨年には、これまで築き上げた多彩な食文化が評価され、ユネスコ創造都市ネットワークの食文化部門に加盟が認められました。

また、本市では、臼杵市環境基本計画において「環の心で 自然と共生するまち うすき」を将来めざす姿とし、その実現に向けた総合的かつ計画的な施策を策定し、取り組みを進めております。

貴会の長きにわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、今後、活動の輪がより一層広がりますよう心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

大分市長 足立 信也

大分市は、緑深き山々や県下二大河川である大分川・大野川、別府湾・豊後水道に面した風光明媚な海岸線など、豊かな自然に恵まれています。このかけがえない財産である自然環境を将来の世代へより良い状態で継承していくことが、私たちに託された責務です。

本市では、大分市環境基本計画（第三次）に基づき、市民・事業者・行政が連携して良好な環境の保全と創造に向けた取り組みを進めているところです。

貴会の長年にわたる環境にやさしい石けんの使用運動に深く敬意を表しますとともに、この活動の輪がより多くの方々に広がりますことを心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

杵築市長 永松 悟

杵築（きつき）市は、瀬戸内海に面した九州北東部にある城下町です。また、別府湾と近接する守江湾の干潟には生きた化石と呼ばれるカブトガニの生息地があり、河川清掃の美化活動に取り組む団体があるなど、市民の環境意識は非常に高いと思っています。

当市には、廃食用油を原料とする石鹸づくりに取り組む団体「山香石鹸工房」があり、市内のスーパーなどで販売するほか、啓発教育の一環として各種行事や学校などで配布をすることで、環境を守る取組を実践しています。

今後も、貴会の活動により「せっけん運動」など環境保全活動の輪が広がることを心から祈念いたします。



「シャボン玉月間」に寄せて

佐伯市長 田中 利明

佐伯市は、温暖な気候の下、祖母傾国定公園の一角をなす森林地域、日豊海岸国定公園に指定されたリアス式海岸地域及び九州有数の清流である番匠川水系等に育まれた田園地域からなり、903km²の九州一広大な面積を有しています。当市では「さいきオーガニックシティエコプラン」（第2次佐伯市環境基本計画）において、「人と環境が共生し、豊かな自然を未来に引き継ぐまち・佐伯」を望ましい環境像とし、環境を『自然、生活、快適、地球環境分野及び環境学習・3者（市民、事業者、行政）協働』の5つの分野に分け、環境施策を展開しています。貴会の長年に渡る活動に深く敬意を表しますとともに、水環境保全活動の輪がさらに広がることを心より御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

竹田市長 土居 昌弘

竹田市は、大分県内を流れる大野川の源流に位置しており、南は祖母・傾山系、北はくじゅう山系に囲まれた自然豊かな地域です。それぞれの山々が育む湧水は日本名水百選にも選ばれ、その恵みを活かした農業や観光が基幹産業となっています。また、そこに息づく生き物は多様性に富み、国立公園内には絶滅危惧種をはじめ希少な動植物が生息しています。

この豊かな自然環境を守り、次の世代に引き継ぐために、環境を守る活動を一層推進していかなければならないと考えます。貴会のこれまでの活動に心から感謝を申し上げますとともに、活動の輪がさらに広がることを心底から念願申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

津久見市長 川野 幸男

津久見市は、豊後水道に面した津久見湾を囲うようにして伸びるリアス海岸と、山地斜面のみかん栽培の段々畑、市街地には、石灰の岩肌がむきだしになった採掘場跡や鉱山など独特な景観を有しています。

本市では、「第2次津久見市環境基本計画」において、「美しい津久見の環境を次世代につなぐまち」を望まし

い環境像に掲げ、その実現に向けて、市民・事業者・行政が連携し環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の長年の活動に敬意を表しますとともに、貴会が取り組む「せっけん運動」の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

中津市長 奥塚 正典

中津市は大分県の北西部に位置し、海にそそぐ水量豊富な山国川、その河口に広がる多種多様な生物が生息する中津干潟、緑豊かな耶馬溪の山々があり自然の恵みを存分に感じられるまちです。

本市では「中津市環境基本計画」に基づき、市民・事業者・行政が一体となって協働しながら自然と人がいきいきと暮らす「環境共生都市なかつ」のまちづくりに取り組んでおります。

活動のひとつとして、家庭で使用された廃食油を原料にした廃油せっけん製作があり、清掃イベントなどで無料配布しご利用いただき、日常生活の中から水環境保全への意識醸成につなげています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動のご尽力に深く敬意を表しますとともに、今後もますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

日出町長 本田 博文

日出町は、大分県の鹿鳴越連山を背に別府湾を臨む、海と山に囲まれた自然にめぐまれた町です。

とくに遠浅が続く、糸が浜海浜公園は、海水浴やサップを楽しめるだけでなく、キャンプ場やパークゴルフ場も整備されており、自然に囲まれながら色々な遊びを楽しめる公園として県内外から多くの方々が訪れています。

このような美しい場所を守り、人と自然が共生する緑豊かな美しいまちづくりのため地域や家庭において適切なゴミ出しや分別に取り組み環境保全に努めています。

結びに、貴会の長年にわたる取り組みに敬意を表すとともに、活動の大切さが多くの人々に理解され、活動の輪がますます広がっていくことをお祈りいたします。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

日田市長 原田 啓介

日田市は大分県の西部に位置し、周囲を阿蘇、くじゅう山系や英彦山系の美しい山々に囲まれた盆地のまちです。これらの山々で育まれた豊富な水に恵まれていることから「水郷（すいきょう）ひた」と呼ばれています。

本市は、この豊かな水資源を次世代に引き継いでいくため、令和3年4月に「水郷ひた河川を美しくする条例」を施行し、河川に対する市民意識の向上に努めています。今後も、公共下水道への接続促進や浄化槽の普及促進など、生活排水処理対策を積極的に進め、河川環境や水質の向上に向け取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊後大野市長 川野 文敏

豊後大野の大地は、およそ9万年前に起きた阿蘇火山の巨大噴火により火砕流に埋め尽くされましたが、長い年月をかけて、そこに水が流れ、命が生まれ、彩り豊かな大地によりみがえりました。

この大地から生み出された「緒方川と緒方盆地の農村景観」が、人々の生活や生業の経過がわかる景観として評価をいただき、本年3月に国の重要文化的景観に選定されました。

当市では、このような豊かな自然と大地や、そこから生み出される様々な産物を守り保全していくために、今後も「豊かな自然・地域を未来へつなげる」まちづくりに取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水質保全活動に敬意を表し、これからもこの活動の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊後高田市長 佐々木 敏夫

豊後高田市は、大分県の北東部に位置しており、国の登録記念物（名勝地関係）である「真玉海岸」や、花とアートの岬「長崎鼻」などの美しい景観を持つ海岸があり、また国の重要文化的景観に選定された「田染荘小崎の農村景観」では、クヌギ林が適切に管理され、涵養された水源が水田農業や多様な生態系を育んでおり、里山と農村の美しい景観を形成しています。

この豊かで美しい自然を未来につなぐため、「豊後高田市環境基本計画」に基づいた持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みを進めているところです。

貴会の水環境を守る活動に敬意を表しますとともに「せっけん運動」の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

由布市長 相馬 尊重

由布市は、豊後富士と言われる由布岳をはじめ、たくさんの緑豊かな山々、その山々からの清流、日本名水百選に選ばれた男池湧水群や由布川峡谷など豊かな水と緑が織りなす優れた自然環境に囲まれています。

本市では、未来に美しい環境を引き継ぐため、小・中学校・公民館にて環境学習に特に力を入れております。

自然環境の現状を知り、力を合わせ、改善に向けて取り組むことは、将来にきれいな環境を残していくことにも繋がってまいります。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、自然環境保護活動として大変意義深く、心から敬意を表するとともに、今後益々のご発展と環境保全活動の輪がさらに広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

● 宮 崎 県

シャボン玉月間によせて

国富町長 中別府 尚文

国富町は、宮崎県のほぼ中央部に位置し、町中心部の南側には清流本庄川、北側には山紫水明な法華嶽地域から流れ出る深年川のふたつの一級河川があり、清らかで豊富な水が人々の生活や産業を支えています。

本町では、この恵まれた水環境を良好な状態で次世代に引き継ぐため、「国富町河川をきれいにする条例」を制定し、公共下水道への加入促進や合併処理浄化槽設置推進などの施策を進めているほか、町内の団体が参加するクリーン国富事業では河川の清掃活動を実施するなど、水環境の保全に取り組んでいます。

貴会の運動が拡大し、水環境の保全に対する人々の関心が更に高まり、目的が達成されますことを心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

高原町長 高妻 経信

高原町は、宮崎県の南西部、霧島錦江湾国立公園を境に鹿児島県と接する静かな山間に位置しています。霧島連山からの豊富な水、活火山との共生、高原の神舞など「神武の里」伝説が数多く残る町です。

本町では、「町民の誰もが住み続けながら、豊かさと幸せを実感できる町づくり」を推進し「第4次高原町生活排水対策総合基本計画」や「高原町地下水保全条例」を制定し、水環境を次世代に引き継ぐために合併処理浄化槽設置の推進や町民一体となり「クリーンアップ活動」等を行い環境整備に取り組んでいます。

長年にわたり水環境活動の保全にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

小林市長 宮原 義久

小林市は、宮崎県の南西部に位置し、雄大な霧島連山からもたらされる湧水は、「名水百選」にも選ばれたほどの、清らかで良質な湧水の恵みを受ける自然豊かなまちです。

この豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために、本市では、「水資源保全条例」を制定し、貴重な財産である水資源の保全に努めています。また、家庭から出る廃食用油のリサイクル回収や女性団体による廃油石けん作りなど、市民の皆様にも環境に配慮した取り組みにご協力いただいております。

長年にわたり、水環境の保全にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」メッセージ

日南市長 高橋 透

日南市は、九州の小京都といわれる飫肥城下町や国内でもめずらしいジャカランダが群生するなど歴史と自然あふれる観光の街です。

また、本年、3月25日に「清武南～日南北郷」の区間が開通したことにより、観光振興などに大きく寄与するものであります。

本市では、「未来につなぐ恵み豊かな自然と人々が共生するまち にちなん」を目指して、第二次日南市環境基本計画を策定しています。

この計画に基づき、公共下水道等の整備や合併処理浄化槽への転換促進とともに、小中学校を対象に水辺学習を行うなど河川環境の啓発活動にも取り組んでいます。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」メッセージ

延岡市長 読谷山 洋司

延岡市は、工業都市でありながらも、31年連続スギ生産日本一の宮崎県の中で最も森林面積の広い「森のまち」であり、その豊かな森に囲まれユネスコエコパークの山々から市中心部に流れている五ヶ瀬川の水質は、9年連続日本一、さらにその清流が太平洋に注ぐことで、全国7位の漁獲高を誇っており、政府から「SDGs 未来都市」にも選ばれています。

この豊かな環境を守り、市の環境基本計画で掲げる「おいしい空気ときれいな水に包まれるまち」を実現すべく、本市は公共下水道や浄化槽による生活排水対策とともに、多様な生物を育む森林・里山・水辺の保全にも皆様と一緒に取り組んでまいりますので、益々のご協力をお願い申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

三股町長 木佐貫 辰生

宮崎県の南西部に位置する三股町は、大淀川水系の沖水川が町の中央を流れ、「花と緑と水のまち」をキャッチフレーズに美しい自然と調和した良好な住環境により発展してきました。

本町の豊かな自然環境を未来へ引き継いでいくため、昨年10月に「三股町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会の実現をはじめとした環境問題に町を上げて取り組んでいくこととしています。また、町民が一体となって河川周辺などの清掃活動を行う「クリーンアップみまた」や、子どもたちに環境学習を実施するなど、様々な環境保全活動に取り組んでいます。

貴会の長年の取組に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

都城市長 池田 宜永

霧島山系や鰐塚山系に囲まれた本市は、その中央を流れる大淀川とその支流を中心に、多様で豊かな自然環境を有しており、様々な種類の動植物が生息・生育しています。

また、本市の地下水は、生活用水や農業用水のほか、焼酎の蒸留、味噌や醤油の製造などにも利用されており、地域の産業にも豊かな恵みを与えています。

本市では、このような豊かな自然環境を保全するため、令和5年4月に第2次都城市環境基本計画を策定して、環境資源を利用した持続可能な地域づくりのため取り組みを進めています。

貴会におかれましては、せっけん運動を通じて水環境保全や市民の環境意識向上に寄与されており、長年の御尽力に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることを御期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

宮崎市長 清山 知恵

宮崎市は、太陽と水と緑に囲まれた、自然豊かで温暖な都市です。

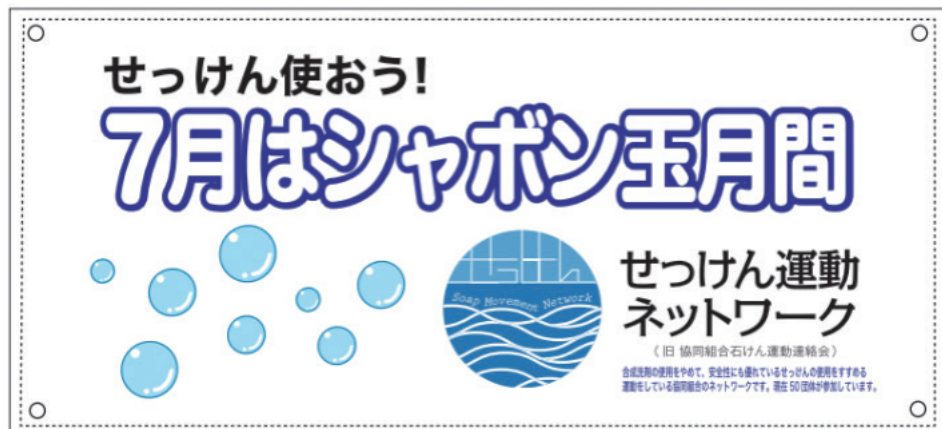
市の中心には、母なる川「大淀川」が流れ、市民生活と深い関係があり、また、本市発展に重要な役割を担ってきました。

本市では、河川浄化等推進員による河川パトロールや、子どもたちを対象に環境学習を実施するなど、あらゆる生命の源である「水」が循環し、その恵みを将来につなぐことができるよう、水資源を守る取組を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

今年も私たちの配達トラックはこのマスクをつけて
シャボン玉月間を地域にアピールしました。

※マスクには、非塩ビ素材を使用しています。



「せっけん使おう！ 7月 is シャボン玉月間」に後援・協賛
をいただきました。

協 賛

【埼玉県】小鹿野町、皆野町

後 援

【北海道】北海道、札幌市、石狩市、岩見沢市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、釧路市、釧路町、当別町、南幌町、古平町、厚岸町、中標津町、長沼町

【宮城県】宮城県、石巻市、岩沼市、大崎市、大郷町、大衡村、女川町、加美町、栗原市、塩竈市、七ヶ浜町、仙台市、多賀城市、富谷市、登米市、名取市、東松島市、松島町、丸森町、美里町、山元町、涌谷町、亘理町

【埼玉県】朝霞市、伊奈町、小鹿野町、小川町、桶川市、越生町、加須市、北本市、秩父市、鶴ヶ島市、ときがわ町、長瀬町、滑川町、新座市、蓮田市、日高市、深谷市、ふじみ野市、皆野町、三芳町、毛呂山町、横瀬町、寄居町、嵐山町、和光市

【東京都】狛江市、多摩市、三鷹市

【神奈川県】神奈川県、大井町、大磯町、開成町、寒川町、茅ヶ崎市、中井町、平塚市、藤沢市、南足柄市、松田町、山北町

【大阪府】河内長野市、泉南市、太子町、千早赤阪村、阪南市、岬町